

ANNUAL REPORT 2013-2014, UGSAS, TOTTORI UNIV.

# 年 報

平成 25 年度



TOTTORI  
UNIV.



SHIMANE  
UNIV.



YAMAGUCHI  
UNIV.

平成 26 年 12 月

鳥取大学大学院連合農学研究科

# 目 次

## 第1部 教育活動

### 第1章 学生定員と受入状況

1 学生の在籍状況（全体）	1
2 外国人留学生在籍状況	1
3 社会人学生在籍状況	2
4 学生名簿	3

### 第2章 学生の研究活動

1 公表論文等	
（1）生物生産科学専攻	6
（2）生物環境科学専攻	14
（3）生物資源科学専攻	20
（4）国際乾燥地科学専攻	28

### 第3章 学位授与者

1 入学者に対する在学3年間での学位取得者数及び学位取得率	32
2 課程修了者	33
3 論文提出者	35

### 第4章 就職状況

1 学位取得者の就職先	
（1）課程修了者	36
（2）論文提出者	37

### 第5章 共通セミナー

1 セミナー日程表	
（1）平成25年度（2013）前期連合一般ゼミナール日程表	38
（2）平成25年度（2013）後期連合一般ゼミナール日程表	39
（3）平成25年度各専攻特論日程表	40
（4）平成25年度「科学コミュニケーション」日程表	41

## 第2部 教員の研究活動

### 第1章 公表論文

（1）生物生産科学専攻	43
（2）生物環境科学専攻	49
（3）生物資源科学専攻	55
（4）国際乾燥地科学専攻	62

第2章 招待講演	
(1) 生物生産科学専攻	68
(2) 生物環境科学専攻	69
(3) 生物資源科学専攻	70
(4) 国際乾燥地科学専攻	71
第3章 学術賞等の受賞	73
第4章 研究助成	75
第5章 その他の教育研究活動	82

### 第3部 組織・運営

第1章 主指導教員の教育研究分野一覧	87
第2章 委員会	
1 研究科委員会（委員及び審議事項）	89
2 代議委員会（委員及び審議事項）	91
第3章 平成25年度連合農学研究科教員	
1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覧	96
2 担当教員を補助する教員（助教）一覧	97
第4章 その他	
1 組織	98
2 予算規模	99
3 行事	100
第4部 在学生へのアンケート	101

「学生及び教員の研究活動」の掲載基準	114
--------------------	-----

# 第 1 部 教育活動

# 第1部 教育活動

## 第1章 学生定員と受入状況

### 1 学生の在籍状況（全体）

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学	合計
生物生産科学	農業生産学	2	4	10	16
	森林資源学	4	4	0	8
	経済・経営学	11	0	0	11
生物環境科学	生産環境工学	1	2	0	3
	環境科学	10	7	2	19
	国際乾燥地農学	4	0	0	4
生物資源科学	生物機能科学	5	9	2	16
	資源利用化学	3	4	0	7
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	14	3	0	17
合計		54	33	14	101

(注) ※101名には、25年9月修了者12名及び25年10月入学者8名を含む。

※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

### 2 外国人留学生在籍状況

専攻	生物生産科学						生物環境科学						生物資源科学			国際乾燥地科学	合計													
	農業生産学		森林資源学		経済・経営学		生産環境工学		環境科学		国際乾燥地農学		生物機能科学		資源利用化学	国際乾燥地科学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計										
	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	鳥取大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	鳥取大学	島根大学	山口大学	計										
中国		1		1				1	2				1			1				7	3	0	10							
バングラデシュ		2												2	2	1	1				1	5	2	8						
タイ						2			2												4	0	0	4						
インドネシア																					0	0	0	0						
エジプト			1														1				1	0	1	2						
スーダン													1				1				2	0	0	2						
韓国																		1			0	1	0	1						
スリランカ																					0	0	0	0						
ミャンマー																					0	0	0	0						
パキスタン																					0	0	0	0						
モンゴル																					0	0	0	0						
マレーシア																					0	0	0	0						
オマーン																					0	0	0	0						
モーリタニア																					0	0	0	0						
ヴェトナム				1																	1	0	0	1						
エチオピア						2															2	0	0	2						
モザンビーク																					0	0	0	0						
ネパール										1											0	1	0	1						
エルサルバドル																					0	0	0	0						
フィリピン																					0	0	0	0						
ケニア																					0	0	0	0						
ナイジェリア																					1	0	1	1						
コロンビア																					0	0	0	0						
ボリビア																					0	0	0	0						
ジンバブエ																					0	0	0	0						
ウガンダ																					1	0	0	1						
エクアドル										1											1	0	0	1						
ギニア						2															2	0	0	2						
マラウイ																					1	0	0	1						
キューバ																						1	0	1						
ラオス						1																1	0	1						
小計	0	3	1	2	0	8	0	0	0	1	0	5	1	0	1	0	0	1	3	2	1	1	0	6	3	0	24	12	3	39
計	4		2		8		1		6		1		6		2	9					39									
合計	14						8						8			9					39									

※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

### 3 社会人学生学籍状況

構成大学	生物生産科学			生物環境科学			生物資源科学		国際乾燥地科学	合計
	農業生産学	森林資源学	経済・経営学	生産環境工学	環境科学	国際乾燥地農学	生物機能科学	資源利用化学	国際乾燥地科学	
鳥取大学	0	1	2	0	1	1	1	0	1	7
島根大学	1	1	0	1	5	0	1	0	0	9
山口大学	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合計	7	2	2	1	6	1	2	0	1	22

※生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

## 4. 学生名簿

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配属大学	主 指 導 教 員 名	備 考
農業生産学	2 0	★原田 陽子	山口大学	山本 晴彦	
	2 1	田中 颯子	鳥取大学	福田 善通	
	2 2	馬 杰	島根大学	青木 宣明	私費留学生
	2 2 後	★ASADUZZAMAN MD	島根大学	浅尾 俊樹	国費留学生
	2 3	黒木 克翁	鳥取大学	田村 文男	
	2 3 後	橘田 浩二	山口大学	山内 直樹	社会人学生
	2 3 後	平山 耕三	山口大学	山本 晴彦	社会人学生
	2 4	平田 翔	山口大学	執行 正義	
	2 4 後	大畑 和也	島根大学	板村 裕之	社会人学生
	2 4 後	若生 忠幸	山口大学	執行 正義	社会人学生
	2 4 後	MD. FUAD MONDAL	島根大学	浅尾 俊樹	国費留学生
	2 4 後	MOSTAFA ABDELWAHED NOURELDEIN ABDELRAHMAN	山口大学	執行 正義	国費留学生
	2 5	小林 夏樹	山口大学	山本 晴彦	社会人学生
	2 5	鎌田 英一郎	山口大学	高橋 肇	
	2 5 後	池尻 明彦	山口大学	高橋 肇	社会人学生
2 5 後	渡邊 美貴子	山口大学	高橋 肇	社会人学生	
森林資源学	2 1	栞畑 恭介	島根大学	伊藤 勝久	
	2 2	岡田 憲和	鳥取大学	山本 福壽	
	2 2	千布 拓生	鳥取大学	日置 佳之	社会人学生
	2 3	小菅 良豪	島根大学	伊藤 勝久	社会人学生
	2 3	都 日 娜	鳥取大学	長澤 良太	私費留学生
	2 3 後	DO THI VIET HUONG	鳥取大学	長澤 良太	私費留学生
	2 5	橋本 沙優	島根大学	小池浩一郎	
	2 5	大津 裕貴	島根大学	小池浩一郎	
経済・経営学	2 0	☆福山 豊	鳥取大学	小林 一	社会人学生
	2 2	DUANGKAMON SUWANNARIT	鳥取大学	小林 一	私費留学生
	2 2	★周 雪ケイ	鳥取大学	能美 誠	私費留学生
	2 2	田立 紀子	鳥取大学	能美 誠	
	2 3	☆久保 雄生	鳥取大学	小林 一	社会人学生
	2 4	BAYSА, ASRES ELIAS	鳥取大学	能美 誠	国費留学生
	2 4	BALDE BOUBACAR SIDDIGHI	鳥取大学	小林 一	国費留学生
	2 5	TOLNO EMMANUEL	鳥取大学	小林 一	国費留学生
	2 5	YOHANNES MICHAEL FESSEHA	鳥取大学	松田 敏信	国費留学生
	2 5 後	SILIPHOUTHONE INPONG	鳥取大学	古塚 秀夫	国費留学生
	2 5 後	UTARANAKORN PANATDA	鳥取大学	小林 一	国費留学生
生産環境工学	2 3	☆周藤 将司	鳥取大学	緒方 英彦	社会人学生
	2 4	梶原 靖子	島根大学	青柳 里果	社会人学生
	2 4	張 丹	島根大学	喜多威知郎	国費留学生

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配属大学	主 指 導 教 員 名	備 考
環境科学	2 0	水戸 鼓	島根大学	荒西 太士	社会人学生
	2 1	安藤 洋子	鳥取大学	前川二太郎	
	2 1	木戸 健一朗	島根大学	佐藤 利夫	社会人学生
	2 2	彌永 このみ	鳥取大学	前川二太郎	
	2 2 後	★ THARNRAT KAEWGRAJANG	鳥取大学	児玉基一朗	私費留学生
	2 3	☆ 田中 智美	島根大学	荒西 太士	
	2 3	鴛海 智佳	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4	LUIS LENIN GALARZA ROMERO	鳥取大学	児玉基一朗	私費留学生
	2 4	高尾 和実	鳥取大学	児玉基一朗	
	2 4	RADHA DEVKOTA ADHIKARI	島根大学	井藤 和人	国費留学生
	2 4	細澤 豪志	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4	今田 潔	山口大学	伊藤 真一	
	2 4	佐々木 一紀	山口大学	伊藤 真一	
	2 4 後	森 明寛	島根大学	國井 秀伸	社会人学生
	2 4 後	YI RUI QIN	鳥取大学	中島 廣光	国費留学生
	2 5	SUTTHIKHAMPASURASIT	鳥取大学	會見 忠則	国費留学生
	2 5	仲野 翔太	鳥取大学	霜村 典宏	
	2 5 後	田中 計実	鳥取大学	石原 亨	社会人学生
	2 5 後	ZHU GANG	鳥取大学	會見 忠則	私費留学生
	国際乾燥地農学	1 7	九鬼 貴弘	鳥取大学	山本 定博
1 8		西野 俊一郎	鳥取大学	恒川 篤史	
1 9 後		★ 徐 冉	鳥取大学	藤山 英保	私費留学生
2 0		鶴田 博人	鳥取大学	藤山 英保	
資源生物科学	1 9 後	北 実	鳥取大学	森 信寛	社会人学生
	2 2	☆ 喜多 知	島根大学	尾添 嘉久	
	2 2	★ 田中 優史	島根大学	中川 強	
	2 2 後	藤光 洋志	鳥取大学	森 信寛	
	2 2 後	★ KARIM MOHAMMAD MINNATUL	山口大学	阿座上弘行	国費留学生
生物機能科学	2 3	☆ MOHAMED MUTASIM ELTAYEB ELEBEID	鳥取大学	有馬 二郎	国費留学生
	2 3 後	森山 大輔	島根大学	川向 誠	社会人学生
	2 3 後	MOHAMMAD SHAHIDUR RAHMAN	島根大学	石川 孝博	私費留学生
	2 3 後	MOHAMMAD MOSTAFIZUR RAHMAN	島根大学	尾添 嘉久	国費留学生
	2 4	丸山 麻理弥	鳥取大学	東 政明	
	2 4	布施 利紀	島根大学	尾添 嘉久	
	2 4 後	玉木 峻	島根大学	石川 孝博	
	2 4 後	松野 景	島根大学	松崎 貴	
	2 5	磯田 佳孝	鳥取大学	有馬 二郎	
	2 5 後	LIU GENYAN	島根大学	尾添 嘉久	国費留学生
	2 5 後	BISWAS MD. SANALLAH	山口大学	真野 純一	国費留学生

連 合 講 座	入 学 年 度	氏 名	配 属 大 学	主 指 導 教 員 名	備 考
資源利用化学	2 2 後	秋田 知己	島根大学	山本 達之	
	2 3 後	FERDOUS KHAN	島根大学	横田 一成	国費留学生
	2 4	美藤 友博	鳥取大学	渡邊 文雄	
	2 4	滝上 俊平	島根大学	山本 達之	
	2 4	竹澤 圭太	島根大学	山本 達之	
	2 5	岸本 勝也	鳥取大学	山崎 良平	
	2 5	藤 飛	鳥取大学	渡邊 文雄	私費留学生
国際乾燥地科学	2 2	松本 法子	鳥取大学	藤山 英保	社会人学生
	2 2	☆ 佐藤 敏雄	鳥取大学	山本 定博	
	2 2 後	★ KALEMELAWA FRANK	鳥取大学	山本 定博	私費留学生
	2 2 後	★ RUMANA YEASMIN	鳥取大学	山本 定博	国費留学生
	2 3	☆ 安西 俊彦	鳥取大学	北村 義信	
	2 3	LI RUI	鳥取大学	恒川 篤史	国費留学生
	2 3	☆ MOHAMMED YASIR SERAG ALNOR	鳥取大学	辻本 壽	国費留学生
	2 3	松本 裕史	鳥取大学	山本 定博	
	2 3	☆ ALARIMA CORNELIUS IDOWU	島根大学	増永 二之	国費留学生
	2 3 後	ABDEL HAMED ABDEL HAK HASSAN MAHMOUD	鳥取大学	北村 義信	国費留学生
	2 4	KUMBUYO CHISOMO PATRICK	鳥取大学	北村 義信	国費留学生
	2 4	梶原 真悟	鳥取大学	藤山 英保	
	2 4	蕪木 絵実	鳥取大学	藤山 英保	
	2 5	加藤 敦司	鳥取大学	辻本 壽	
	2 5	飯田 拓生	鳥取大学	山本 定博	
2 5	金 多慧	島根大学	一戸 俊義	私費留学生	
2 5	MARQUES FONG JUAN DAMIAN	島根大学	増永 二之	国費留学生	

- (注) 1. 「入学年度」欄の「後」は、後期(10月)入学者を示す。  
2. 「氏名」欄の「★」は平成25年度9月修了者、「☆」は平成26年3月修了者を示す。

## 第2章 学生の研究活動

### (1) 生物生産科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

田中顕子 (Tanaka, Akiko) 平成 21 年度入学 (主指導教員: 福田善通)

学会発表

国際学会

- 1) Tanaka-Kawasaki, A., Fukuta, Y.: Diversity of rice germplasm for resistance and pathogenicity of blast fungus in Japan (Poster). 7th International Rice Genetic Symposium, Abstract pp. 327-328, Manila, the Philippines (Nov., 2013)
- 2) Hayashi, H., Inthapanya, P., Thiravong, K., Xangxayasan, P., Kawasaki-Tanaka, A., Fukuta, Y.: Diversity analyses in Mini Core Collection of rice blast fungus isolates in Laos (Poster). International Rice Blast Conference. Abstract P140, (Aug., 2013)
- 3) Koide, Y., Tanaka-Kawasaki, A., Odjo, T., Obara, M., Yanagihara, S., Fukuta, Y.: Identification of QTLs for days to heading in an upland new rice for Africa (NERICA) variety (Poster). 7th International Rice Genetic Symposium, Abstract pp. 431-432, Manila, the Philippines (Nov., 2013)

黒木克翁 (Kuroki, Katsuo) 平成 23 年度入学 (主指導教員: 田村文男)

学会発表

国内学会

- 4) 黒木克翁\*・丸森啓紀・尾形祐輔・竹村圭弘・松本辰也・田村文男: セイヨウナシ花粉の受粉がニホンナシの低温条件下での結実および果実品質に及ぼす影響 (口頭). 平成 25 年度秋季園芸学会 (岩手大学) (2013 年 9 月)
- 5) 黒木克翁\*・丸森啓紀・竹村圭弘・向後智陽・松本和浩・田村文男: リンゴ花粉の発芽特性の品種間差異 (ポスター). 平成 26 年度春季園芸学会 (筑波大学) (2014 年 3 月)
- 6) 丸森啓紀\*・黒木克翁・尾形祐輔・池田隆政・松本辰也・竹村圭弘・田村文男: ニホンナシ自家和合性品種の自家結実性の品種間差異と花粉管伸長との関係 (ポスター). 平成 26 年度春季園芸学会 (筑波大学) (2014 年 3 月)
- 7) 志田曜司\*・黒木克翁・丸森啓紀・竹村圭弘・田村文男: ナシ台木種及びその交雑種の耐乾性の差異 (ポスター). 平成 26 年度春季園芸学会 (筑波大学) (2014 年 3 月)

##### 【島根大学】

馬 杰 (Ma, Jie) 平成 22 年度入学 (主指導教員: 松本真悟)

Asaduzzaman Md 平成 22 年度 10 月入学, 平成 25 年 9 月修了 (主指導教員: 浅尾俊樹)

大畑和也 (Ohata, Kazuya) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員: 板村裕之)

公表論文

その他

- 1) これからの果樹管理「かき」．島根の果樹．（2013年5. 7. 9. 11月）

学会発表

国内学会

- 1) 大畑和也\*・内田吉紀・倉橋孝夫・板村裕之：西日本におけるブルーベリー果実の品種特性と適応品種の選定（口頭）．園芸学会平成25年度秋季大会（岩手県盛岡市）（2013年9月）
- 2) 大畑和也\*・内田吉紀：葉面散布剤を用いたカキ‘西条’の着色向上効果（口頭）．農業生産技術管理学会平成25年度大会（島根県松江市）（2013年10月）
- 3) 大畑和也\*・山根一佳・中尾知樹・永田義明・櫻井直樹・板村裕之・内田吉紀：1-MCP処理によるカキ‘西条’の貯蔵性向上と果実品質の推移（口頭）．園芸学会平成26年度秋季大会（茨城県つくば市）（2013年9月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 西条柿の発芽不良および樹上軟化等の生理障害防止対策について．島根県果樹研究同志会かき部会平成25年度研修会（松江市および益田市）（2013年6月および9月）
- 2) スモモ斑入果病の発生状況と生育および果実品質．平成25年度島根県農業技術センター試験研究成果発表会（出雲市）（2013年7月）

Md. Fuad Mondal 平成24年度10月入学（主指導教員：浅尾俊樹）

公表論文

学会誌等

- 1) Asaduzzaman, M., Mondal, M.F., Ban, T. and Asao, T.: Selection of ideal succeeding crops after asparagus, taro and beans replanting field in seedling growth bioassay. *Allelopathy Journal*, **32**: 1-22 (June, 2013)
- 2) Asaduzzaman, M., Kobayashi, Y., Mondal, M.F., Ban, T., Matsubara, H., Adachi, F. and Asao, T.: Growing carrots hydroponically using perlite substrates. *Scientia Horticulturae*, **159**: 113-121 (June, 2013)
- 3) Mondal, M.F., Asaduzzaman, M., Kobayashi, Y., Ban, T. and Asao, T.: Recovery from autotoxicity in strawberry by supplementation of amino acids. *Scientia Horticulturae*, **164**: 137-144 (Dec., 2013)
- 4) Asao, T., Asaduzzaman, M., Mondal, M.F., Tokura, M., Adachi, F., Ueno, M., Kawaguchi, M., Yano, S. and Ban, T.: Impact of reduced potassium nitrate concentrations in nutrient solution on the growth, yield and fruit quality of melon in hydroponics. *Scientia Horticulturae*, **164**: 221-231 (Dec., 2013)

学会発表

国内学会

- 1) Mondal, M.F.\* , Kobayashi, Y., Takubo, Y., Asaduzzaman, M., and Asao, T.: Production of low potassium content strawberry through adjusting calcium nitrate in the culture solution under fluorescence light（ポスター）．園芸学会平成25年度秋季大会（岩手大）（2013年9月）
- 2) Asaduzzaman, M.\* , Kobayashi, Y., Mondal, M.F., Isogami, K., Tokura, M., Ueno, M. and Asao, T.: Production of low potassium content melon fruits through quantitative management of nutrient solution potassium in soilless hydroponics using perlite substrate（ポスター）．園芸学会平成25年度秋季大会（岩手大）（2013年9月）

【山口大学】

原田陽子（Harada, Yoko）平成20年度入学,平成25年9月修了（主指導教員：山本晴彦）

公表論文

## 著書

- 1) 金子奈々恵・山本晴彦・岩谷 潔・原田陽子・園山芳充：白色 LED 照明の暗期照射がイネ品種「コシヒカリ」の開花誘導遺伝子 Hd3a 発現に及ぼす影響. 照明学会誌, **97(5)**: 263-268 (2013 年)
- 2) 原田陽子・山本晴彦・岩谷 潔・金子奈々恵・園山芳充：発光制御を行った混合 LED 夜間照射がイネ出穂に及ぼす影響. 照明学会誌, **97(8A)**: 442-446 (2013 年)
- 3) 原田陽子・山本晴彦・岩谷潔・金子奈々恵：イネ光害回避型照明の視認性評価. 照明学会誌, **97(8A)**: 436-441 (2013 年)

## その他 (特筆すべき事項)

- 1) 特許登録 特許 5258044 号. 「植物葉の水分ストレスを推定する方法、植物葉の水分ストレスを推定するための装置及び植物葉の水分ストレスを推定するためのプログラム」(2013 年 5 月 2 日)
- 2) 表彰式の出席. 平成 25 年度研究奨励賞受賞, 平成 25 年度照明学会全国大会 (愛知県) (2013 年 9 月 6 日)

## 平山耕三 (Hirayama, Kozo) 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員: 山本晴彦)

### 公表論文

#### 学会誌等

- 1) 平山耕三・糸原義人・山本晴彦：TPP 参加と黒毛和種肥育経営の技術対応について一長崎県を事例として一. 農業経営研究, **51(2)**: 55-60 (2013 年 9 月)

## 橘田浩二 (Kitsuda, Koji) 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員: 山内直樹)

### 学会発表

#### 国内学会

- 1) 橘田浩二\*・松島さゆり・下川陽大・執行正義・山内直樹：数種ナス果実の品種特性と収穫時期の相違によるその変化 (口頭). 日本食品保蔵科学会第 6 2 回大会 (山形大学農学部) (2013 年 6 月)

## 平田 翔 (Hirata, Sho) 平成 24 年度入学 (主指導教員: 執行正義)

### 学会発表

#### 国内学会

- 1) 平田 翔\*・堂之下歩美・嘉本絵梨・光永拓司・篠原裕尚・福光優子・藤田淳史・山内直樹・執行正義：山口県育成小輪系ユリ品種における球根貯蔵糖可給態化と休眠打破の関係 (口頭). 園芸学会平成 25 年度秋季大会 (岩手県盛岡市) (2013 年 9 月)
- 2) 平田 翔・A, Mostafa・山内直樹・執行正義\*：サポニンの量的および質的な変化からみたニンニク遺伝資源の多様性評価 (ポスター). 園芸学会平成 25 年度秋季大会 (岩手県盛岡市) (2013 年 9 月)
- 3) 平田 翔・執行正義\*・辻本 壽：ニンニクにおける耐乾性系統の探索とその育種利用 (ポスター). 鳥取大学乾燥地研究センター平成 25 年度共同研究発表会 (鳥取県鳥取市) (2013 年 12 月)

若生忠幸 (Wako, Tadayuki) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員 : 執行正義)

Mostafa Abdelwahed Noureldein Abdelrahman 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員 : 執行正義)

公表論文

学会誌等

- 1) Abdelrahman, M., Sudisha, J., El-Sayed, M., Ito, S., Ikeda, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Aginoside saponin, a potent antifungal compound, and secondary metabolite analyses from *Allium nigrum* L.. *Phytochemistry Letters*, **6**: 274–280 (May, 2013)

学会発表

国内学会

- 1) Hirata, S., Abdelrahman, M., Yamauchi, N. and Shigyo, M.\*: Diversity evaluation based on quantitative and qualitative variations of saponins in garlic germplasm (Poster). Autumn meeting of the Japanese Society for Horticultural Science, 2013. Iwate, Japan (Sep., 2013)

小林夏樹 (Kobayashi, Natsuki) 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 山本晴彦)

鎌田英一郎 (Kamada, Eiichiro) 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 高橋肇)

公表論文

学会誌等

- 1) 鎌田英一郎・高橋 肇・金岡夏美・荒木英樹・丹野研一：山口県での早播栽培による秋季の生育初期における温度が秋播性程度の異なるコムギ3品種の二重隆起期と頂端小穂分化期に及ぼす影響. 日本作物学会紀事, **82**: 150-155 (2013年4月)
- 2) 鎌田英一郎・池尻明彦・高橋 肇・前岡庸介・内山亜希・金子和彦・中司祐典・金岡夏美・荒木英樹・丹野研一：裸麦品種トヨノカゼの収量および登熟生理に及ぼす穂肥窒素の影響. 日本作物学会紀事, **83**: 1-8 (2014年1月)

学会発表

国内学会

- 1) 鎌田英一郎\*・高橋 肇・内田早耶香・池尻明彦・内山亜希・金子和彦・荒木英樹・丹野研一：穂肥の増施による春まさり型栽培が裸麦品種トヨノカゼの穂数を増加させる機作(口頭). 日本作物学会第237回講演会(千葉)(2014年3月)
- 2) 内田早耶香\*・高橋 肇・鎌田英一郎・金岡夏美・神野裕信・西村 努・荒木英樹・丹野研一：山口と北海道で栽培した着粒数を制限したコムギ品種の葉身除去処理が一粒重ならびに物質生産に及ぼす影響(口頭). 日本作物学会第237回講演会(千葉)(2014年3月)
- 3) 荒木英樹\*・鎌田英一郎・高橋 肇：コムギの登熟不良と根系機能の関係(口頭). 日本作物学会第237回講演会(千葉)(2014年3月)
- 4) 内田早耶香\*・高橋 肇・金岡夏美・鎌田英一郎・神野裕信・西村 努・荒木英樹・丹野研一：北海道と山口で栽培した北海道育成の新旧コムギ品種と九州育成コムギ品種ダイチノミノリとの収量性(口頭). 日本作物学会第236回講演会(鹿児島)(2013年9月)
- 5) 鎌田英一郎\*・高橋 肇・内田早耶香・荒木英樹・丹野研一：秋播性程度が等しいコムギ品種「イワイノダイチ」と「キヌヒメ」を山口県で早播栽培した場合の発育についての品種間差異(口頭).

日本作物学会第 236 回講演会（鹿児島）（2013 年 9 月）

- 6) 鎌田英一郎\*・高橋 肇・内田早耶香・荒木英樹・丹野研一：裸麦品種トヨノカゼは 9 月に早播きすると 10 月に播種したものより遅れて開花する（口頭）．平成 25 年度日本作物学会中国支部大会（広島）（2013 年 7 月）

渡邊美貴子（Watanabe, mikiko） 平成 25 度 10 月年度入学（主指導教員：高橋肇）

学会発表

国内学会

- 1) 船附稚子\*・谷中美貴子・高田兼則：西日本の小麦品種・系統における穂発芽抵抗性 QTL の保存性（口頭）．第 18 回穂発芽研究会（北海道）（2014 年 1 月）

池尻明彦（Ikejiri, Akihiko） 平成年 25 度 10 月入学（主指導教員：高橋肇）

## 2) 森林資源学連合講座

### 【鳥取大学】

岡田憲和（Okada, Yoshikazu） 平成 22 年度入学（主指導教員：山本福壽）

千布拓生（Chibu, Takuo） 平成 22 年度入学（主指導教員：日置佳之）

都日娜（Dorna） 平成 23 年度入学（主指導教員：長澤良太）

公表論文

学会誌等

- 1) Durina., Nagasawa, R., and Boonrak, P.,: Urbanization and its Influences on the Suburban landscape Changes in Bangkok Metropolitan Region, Thailand. システム農学会（J.JASS）, 29(2): 29-39 (2013 年 4 月)
- 2) 都日娜, 長澤良太: 景観指数を用いた上海市における都市緑地の時空間ダイナミクスに関する研究. 環境情報科学学術研究論文集, 27: 181-186 (2013 年 11 月)

学会発表

国内学会

- 1) 都日娜\*, 長澤良太: 景観指数を用いた上海市における都市緑地の時空間ダイナミクスに関する研究（口頭）．第 27 回環境情報科学学術研究論文発表会（東京）（2013 年 12 月）

Do Thi Viet Huong 平成 23 年度 10 月入学（主指導教員：長澤良太）

公表論文

その他

- 1) Huong D.T.V., Nagasawa R.: Flood risk assessment and mapping using Remote sensing and GIS: a case study at Hoa Chau Commune, Hoa Vang District in Central of Viet Nam. Proceeding of the 34<sup>th</sup> Asian Conference on Remote sensing Indonesian Remote Sensing Society and Asian Association on Remote

Sensing, SC05: 13-18 (Oct., 2013)

学会発表

国際学会

- 1) Huong, D.T.V.\*, and Nagasawa, R.: Flood risk assessment and mapping using Remote sensing and GIS: a case study at Hoa Chau Commune, Hoa Vang District in Central of Viet Nam (Poster). The 34<sup>th</sup> Asian Conference on Remote Sensing Indonesian Remote Sensing Society and Asian Association. Bali, Indonesia (Oct., 2013)

国内学会

- 1) Huong, D.T.V.\*, Tsutsui, K., and Nagasawa, R.: A Capital-based Approach for Assessing Community Resilience to Flood Disasters in Hoa Vang Rural District of Da Nang city, Vietnam (Oral). Academic Conference of the Human Geography Society of Japan, Osaka City University, Japan (Nov., 2013)

### 【島根大学】

栗畑恭介 (Kuwahata, Kyosuke) 平成 21 年度入学 (主指導教員: 伊藤勝久)

小菅良豪 (Kosuga, Yoshitake) 平成 23 年度入学 (主指導教員: 伊藤勝久)

橋本沙優 (Hashimoto, Sayu) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 小池浩一郎)

大津裕貴 (Otsu, hirotaka) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 小池浩一郎)

### 3) 経済・経営学連合講座

#### 【鳥取大学】

福山 豊 (Fukuyama, Yutaka) 平成 20 年度入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員: 小林 一)

公表論文

学会誌等

- 1) 福山 豊・小林一・松村一善: 農産物直売所における新規顧客のリピーターへの育成—T 県における新規の観光地立地型直売所を対象として—農林業問題研究, **49**(2): 374-380 (2013 年 9 月)
- 2) 福山 豊・小林一・糸原義人・松村一善: 農産物直売所の主力品目における出荷会員の組織化—小規模出荷会員地域を対象として—, 農業生産技術管理学会誌, **20**(2): 45-52 (2013 年 6 月)

学会発表

国内学会

- 1) 福山 豊・小林一・松村一善: 農産物直売所における非計画購買の要因に関する一考察 (口頭発表). 地域農林経済学会 (岡山県岡山市) (2013 年 10 月)

Duangkamon, Suwannarit 平成 22 年度入学 (主指導教員: 小林 一)

周 雪琼 (Zhou, Xueqiong) 平成 22 年度入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員: 能美 誠)

田立紀子 (Tadate, Noriko) 平成 22 年度入学 (主指導教員 : 能美 誠)

学会発表

国内学会

- 1) 田立紀子\*・能美 誠 : 家庭の廃食油供給の協力意向に関する要因分析—山口県長門市を対象として— (口頭) . 地域農林経済学会第 63 回大会 (岡山県岡山市) (2013 年 10 月)

久保雄生 (Kubo, Takeo) 平成 23 年度入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員 : 小林 一)

公表論文

学会誌等

- 1) 久保雄生・山本彰治・砂川ちなみ・糸原義人 : 他出子弟の出身集落との繋がりと不在地主問題の解消に向けた農地管理上の役割. 農業経営研究, **51**(1): 15-27 (2013 年 6 月)
- 2) 久保雄生・糸原義人 : 他出子弟の出身地区との関わりと農地活用上の課題. 農林業問題研究, **49**(2): 342-346 (2013 年 9 月)
- 3) 久保雄生・糸原義人 : 農業者及び不在地主の農地管理に対する意識差と不在地主対策上の問題. 農林業問題研究, **49**(2): 231-240 (2013 年 9 月)
- 4) 久保雄生 : 集落営農法人における後継者の就業実態と代表就任意向の規定要因. 農業経営研究, **51**(2): 12-22 (2013 年 9 月)
- 5) 久保雄生 : 集落営農法人の組織形態と後継者の育成に向けた課題. 農村計画学会誌, **2**: 317-322 (2013 年 12 月)

その他

- 1) 久保雄生・同前浩司・高橋一興 : 山口らしい法人経営の発展、安定化に関する研究. 山口県農林総合技術センター研究報告, **5**: 1-14 (2014 年 3 月)

学会発表

国内学会

- 1) 久保雄生 : 山口県集落営農法人における担い手確保の現状と課題 (口頭) . 地域農林経済学会中国支部大会 (山口県山口市) (2013 年 8 月)
- 2) 久保雄生\*・高橋一興・永久栄作 : 集落営農法人における後継者の就業上の課題と能力に対する評価 (口頭) . 第 63 回地域農林経済学会大会 (岡山県岡山市) (2013 年 10 月)
- 3) 久保雄生 : 集落営農法人の組織形態と後継者の育成に向けた課題 (口頭) . 農村計画学会 2013 年度秋季大会学術研究発表会 (鹿児島県鹿児島市) (2013 年 12 月)

学会等招致講演

国内学会

- 1) 久保雄生 : 集落営農法人アンケート調査結果について. 平成 25 年度大分県集落営農法人会総会基調講演 (大分県大分市) (2013 年 4 月)

Baysa, Asres Elias 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 能美 誠)

公表論文

学会誌等

- 1) Asres Elias, Nohmi, M., Yasunobu, K. and Ishida, A.: Effect of agricultural extension program on smallholders' farm productivity: Evidence from three peasant associations in the highlands of Ethiopia. *Journal of Agricultural Science*, **5**(8): 163-181 (June, 2013)

- 2) Asres, Elias., Nohmi, M., Yasunobu, K., Ishida, A. and Arega, D. Alene.: The effect of agricultural extension service on the technical efficiency of teff (*Eragrostis*) producers in Ethiopia. *American Journal of Applied Sciences*, **11**(2): 223-239 (Jan., 2014)

Balde Boubacar Siddighi 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 小林 一)

公表論文

学会誌等

- 1) Balde, B. S., Kobayashi, H., Nohmi, M., Ishida, A., Matsumura, I., Esham, M. and Tolno, E.: Socio-Economic Analysis of Small-Scale Salt Production Techniques in the Coastal Area of Guinea: As an Alternative for Improving Livelihood Status and Sustainable Mangrove Forest Management. *International Journal of Research in Engineering, IT and Social Sciences*, 3(9): 1-23 (Sep., 2013)
- 2) Balde, B. S., Kobayashi, H., Matsumura, I., Nohmi, M., Esham, M. and Tolno, E.: Present Status and Determinants of Mangrove Rice Production in Dubreka prefecture in Guinea. *Japanese Journal of Farm Management*, **51**(3): 97-102 (Dec., 2013)

Tolno Emmanuel 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 小林 一)

学会発表

国内学会

- 1) Tolno, E., Kobayashi, H., Ichizen, M., Balde, B. S.: Determinant of Smallholder Farmers' Potato Production and Supply to Market in Guinea (Oral). The 13<sup>th</sup> annual conference of the Farm Management Society of Japan, Chiba, Japan (Sep., 2013)

Yohannes Michael Fesseha 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 松田敏信)

Siliphouthone Inpong 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 古塚秀夫)

学会発表

国内学会

- 1) Siliphouthone, I.\* and Yasunobu, K.: Rural Household Coping's Strategies and Food Insecurity in the Upland Areas, Sekong Province, Lao PDR (Oral). The 13th Symposium of the Farm Management Society of Japan, Chiba University, Japan (Sep., 2013)
- 2) Siliphouthone, I.\* and Yasunobu, K., Ishida, A.: Analysis of Food Security among Rainfed Lowland Rice Farming Households in Laos "A Daily Calorie Intake Approach" (Oral). The 90th Anniversary Agricultural Economics Society of Japan (AESJ) Conference 2014, Kobe University, Japan (Mar., 2014)

Utaranakorn Panatda 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 小林 一)

学会発表

国内学会

- 1) Utaranakorn, P. and Yasunobu, K.: Farm managerial competency level of farmers in Northeastern Thailand: A case study on farmers in Khon Kaen province (Oral). The'13 Study Conference of the Farm Management Society of Japan, Chiba, Japan (Sep., 2013)
- 2) Utaranakorn, P. and Yasunobu, K.: The impact of group activities on farmers' managerial abilities (Oral).

2013 Conference of Japanese Society of Regional and Agricultural Development, Aomori, Japan (Nov., 2013)

## (2) 生物環境科学専攻

### 1) 生産環境工学連合講座

#### 【鳥取大学】

周藤将司 (Suto, Masashi) 平成 23 年度入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員: 緒方英彦)

#### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) 周藤将司・緒方英彦・石神暁郎・佐藤 智: 凍害劣化した RC 開水路におけるひび割れ注入工法による内部変状の評価, コンクリート工学年次論文集, **35**: 919-924 (2013 年 7 月)
- 2) 山岸俊太郎・鈴木哲也・緒方英彦・周藤将司: 凍害損傷したコンクリートの圧縮強度特性評価に関する研究, コンクリート工学年次論文集, **35**: 385-390 (2013 年 7 月)

#### 学会発表

##### 国際学会

- 1) Suto, M., Ogata, H., Hyodo, M., Ishigami, A., Sato, S., Kaneta, T. and Takata, R.: Difference of Electromagnetic Wave Rader Reflection Image Due to Presence of Absence of Internal Deformation in RC Open Channel. Proceedings of the 23th International Offshore (Ocean) and Polar Engineering, Anchorage, Alaska, USA, 1235-1240 (June, 2013)

##### 国内学会

- 1) 緒方英彦\*・周藤将司・兵頭正浩: 凍結融解作用により劣化したコンクリートの共鳴振動法による動ポアソン比の評価 (口頭). 平成 25 年度農業農村工学会大会講演会 (東京都世田谷区) (2013 年 9 月)
- 2) 周藤将司\*・緒方英彦・石神暁郎・佐藤 智・鈴木哲也・山岸俊太郎: 凍害劣化した開水路側壁コンクリートの注入工法による力学性能改善効果 (口頭). 平成 25 年度農業農村工学会大会講演会 (東京都世田谷区) (2013 年 9 月)
- 3) 石神暁郎\*・佐藤 智・蒔苗英孝・西田真弓・周藤将司・緒方英彦: 衝撃弾性波法によるコンクリート開水路側壁の内部変状調査 (口頭). 平成 25 年度農業農村工学会大会講演会 (東京都世田谷区) (2013 年 9 月)
- 4) 山岸俊太郎\*・鈴木哲也・緒方英彦・周藤将司・佐藤 智・石神暁郎・森井俊広・河合隆行: 画像解析データのセミバリオグラム処理に基づく損傷コンクリートの変形特性評価 (口頭). 平成 25 年度農業農村工学会大会講演会 (東京都世田谷区) (2013 年 9 月)
- 5) 周藤将司\*・緒方英彦・兵頭正浩・浅田勇輝: 非破壊による薄肉部材のコンクリートの動弾性係数推定フローに関する検討 (口頭). 第 68 回農業農村工学会中国四国支部講演会 (香川県高松市) (2013 年 10 月)
- 6) 緒方英彦\*・周藤将司・兵頭正浩: 小型起振機を用いた共鳴振動法によるコンクリートの一次共鳴振動数の評価 (口頭). 第 68 回農業農村工学会中国四国支部講演会 (香川県高松市) (2013 年 10 月)

## 【島根大学】

張 丹 (Zhang, Dan) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 喜多威知郎)

## 2) 環境科学連合講座

## 【鳥取大学】

田口智康 (Taguchi, Tomoyasu) 平成 20 年度 10 月入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員 : 中島廣光)

安藤洋子 (Ando, Yoko) 平成 21 年度入学 (主指導教員 : 前川二太郎)

彌永このみ (Yanaga, Konomi) 平成 22 年度入学 (主指導教員 : 前川二太郎)

Tharnrat Kaewgrajang 平成 22 年度 10 月入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員 : 児玉基一朗)

公表論文

学会誌等

- 1) Kaewgrajang, T., Sangwanit, U., Iwase, K., Kodama, M. and Yamato M.: Effect of ectomycorrhizal fungus *Astraeus odortous* on *Dipterocarpus alatus* seedlings. Journal of Tropical Forest Science, **25**: 200-205 (Apr., 2013)
- 2) Kaewgrajang, T., Sangwanit, U., Kodama, M. and Yamato M.: Ectomycorrhizal fungal communities of *Dipterocarpus alatus* seedlings introduced by soil inocula from a natural forest and a plantation. Journal of Forest Research, (DOI:10.1007/s10310-013-0408-z3) (June, 2013)

Luis Lenin Galarza Romero 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 児玉基一朗)

学会発表

国内学会

- 1) Galarza, L.\* , Akagi, Y., Takao, K., Kim, C.S., Maekawa, N., Peralta, E.L., Santos O.E., and Kodama, M: Identification of *Trichoderma* species isolated in Ecuador and their potential as biocontrol agents against several phytopathogens in Ecuador and Japan. (Oral presentation) The Phytopathological Society of Japan Annual meeting. Gifu, Japan (Mar., 2013)
- 2) Galarza, L.\* , Akagi, Y., Takao, K., Kim, C.S., Maekawa, N., Peralta, E.L., Santos O.E., and Kodama, M: *Trichoderma* Species Isolated in Ecuador and Their Potential as Biocontrol Agents Against Several Phytopathogens in Japan and Ecuador. (Oral presentation) The Phytopathological Society of Japan Annual meeting. Okayama, Japan (Sep., 2013)

高尾和実 (Takao, Kazumi) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 児玉基一朗)

学会発表

国際学会

- 1) Takao, K\*., Akagi, Y., Tsuge, T., Nanba, E. and Kodama, M.: *AaLAEA*, a methyltransferase gene homolog, controls biosynthesis of secondary metabolites and pathogenicity in the multi pathotypes of *Alternaria alternata* (Poster). 10th International Congress of Plant Pathology. Beijing, China (Aug., 2013)

#### 国内学会

- 1) 高尾和実\*・赤木靖典・播本佳明・柘植尚志・児玉基一郎： *Alternaria alternata* 病原菌の宿主特異的毒素生産における global regulator *LaeA* ホモログの関与 (口頭). 平成 25 年度日本植物病理学会大会 (岐阜県岐阜市) (2013 年 3 月)
- 2) 高尾和実\*・赤木靖典・石原亨・柘植尚志・難波栄二・児玉基一郎： *Alternaria alternata* 植物病原菌の宿主特異的毒素生産における global regulator *LaeA* ホモログの関与 (ポスター). 日本マイコトキシン学会, 第 73 回学術講演会 (大阪府堺市) (2013 年 9 月)
- 3) 高尾和実\*・赤木靖典・柘植尚志・児玉基一郎：非病原性 *Alternaria alternata* における宿主特異的 AAL 毒素生成遺伝子クラスター導入菌株の作出と解析 (口頭). 平成 25 年度日本植物病理学会関西西部会 (岡山県岡山市) (2013 年 9 月)
- 4) 高尾和実\*・赤木靖典・播本佳明・石原亨・柘植尚志・難波栄二・児玉基一郎：植物病原性 *Alternaria alternata* における global regulator *LaeA* の機能解析 (ポスター). 第 13 回糸状菌分子生物学コンファレンス (茨城県つくば市) (2013 年 11 月)

#### その他 (特筆すべき事項)

- 1) 日本学術振興会特別研究員 (DC1)
- 2) 日本植物病理学会学生優秀発表賞 (2013 年 4 月 13 日)

#### Yi Rui Qin 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員名 : 中島廣光)

##### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) Yi, R., Ogaki, A., Fukunaga, M., Ichiyangi, T.: Synthesis of 4,5-disubstituted-3-deoxy-D-manno-octulosonic acid (Kdo) derivatives. *Tetrahedron*, **70**: 3675-3682 (Apr., 2014)

##### 学会発表

##### 国際学会

- 1) Ichiyangi, T.\*, Shimada, M. and Yi, R.: Synthesis of glycoconjugate containing in the inner-core oligosaccharides expressed in LPS/LOS. 17th European Carbohydrate Symposium (Poster), Tel-Aviv, Israel (July, 2013)
- 2) Yi, R.\*, Shimada, M. and Ichiyangi, T.: Synthesis of 4,5-di-O-substituted-3-deoxy- D-manno-octulosonic acid (Kdo) derivatives. The 5th annual conference for Asian Communications of Glycobiology and Glycotechnology (Poster). Khon Kaen, Thailand (Oct, 2013)

##### 国内学会

- 1) Yi, R.\*, Shimada, M. and Ichiyangi, T.: Synthesis of 4,5-di-O-substituted -3-deoxy-D-manno-octulosonic acid (Kdo) derivatives. The 32th Japanese Society of Carbohydrate Research (Poster). Osaka, Japan (Aug., 2013)
- 2) 田坂瑞葵\*・門脇拓哉・蟻 瑞欽・一柳 剛 : 分子内グリコシド結合形成反応を利用する Kdo2 糖の合成研究 (ポスター). 日本農芸化学会 2014 年度大会 (神奈川県川崎市) (2014 年 3 月)

#### Sutthikhampa surasit 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 會見忠則)

#### 仲野翔太 (Nakano, Shota) 平成 25 年度入学 (主指導教員 : 霜村典宏)

##### 公表論文

## その他

- 1) 仲野翔太:海外レポート. 第7回アジアきのこ学会議(The 7th Meeting of Asia for Mushroom Science) 報告～自身初の国際会議を終えて～, 日本きのこ学会誌, **21**: 184-185 (2014年1月)

## 学会発表

### 国際学会

- 1) Nakano, S. \*, Sawada, K., Katsura M., Aimi, T. and Shimomura, N.: NaCl sensitivity in homokaryotic and heterokaryotic mycelia of ectomycorrhizal fungus *Rhizopogon roseolus*. The 7th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral). Shanghai, China (Oct., 2013)
- 2) Matsuda, M., Ariyoshi, K., Aimi T. and Shimomura, N. \*: Artificial cultivation of the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus*: modifications of the inoculation method and outplanting of ectomycorrhizal seedlings in a field. The 7th Meeting of Asia for Mushroom Science (Oral). Shanghai, China (Oct., 2013)
- 3) Nakano, S. \*, Sawada, K., Aimi, T. and Shimomura, N.: Variations in mycelial growth under NaCl-stress condition in an ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus* (= *R. rubescens*). International Symposium on AFELS in Asia 2013 (Oral). Miyazaki, Japan (Nov., 2013)
- 4) Matsuda, M., Ariyoshi, K., Aimi, T. and Shimomura, N. \*: Artificial cultivation of the ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus*: strain selection and new inoculation method using surfactant. International Symposium on AFELS in Asia 2013 (Oral). Miyazaki, Japan (Nov., 2013)

### 国内学会

- 1) 仲野翔太\*・桂 美尋・沢田清美・会見忠則・霜村典宏: NaCl ストレス条件下における外生菌根菌ショウロの菌糸体成長の変異(口頭). 日本きのこ学会第17回大会(広島県広島市)(2013年9月)
- 2) 佐藤竜太\*・仲野翔太・会見忠則・霜村典宏: ショウロの菌糸体成長と菌根形成力を促進する界面活性剤および植物油の選抜(ポスター). 日本きのこ学会第17回大会(広島県広島市)(2013年9月)
- 3) 仲野翔太\*・山田 智・笹本佳裕・会見忠則・霜村典宏: NaCl ストレス条件下におけるショウロ-クロマツ菌根共生苗の成長とナトリウム, リンの吸収(口頭). 日本森林学会第125回大会(埼玉県大宮市)(2014年3月)

## その他(特筆すべき事項)

- 1) 第124日本森林学会学生ポスター賞(2013年4月8日)
- 2) 平成25年度鳥取大学大学院エンカレッジファンド受賞(2014年2月5日)

田中計実(Tanaka, Keijitsu) 平成25年度10月入学(主指導教員:石原 亨)

## 公表論文

### 学会誌等

- 1) Tanaka, K., Ishihara, A., and Nakajima, N.: Isolation of anteiso-C17, iso-C17, iso-C16, and iso-C15 bacillomycin D from *Bacillus amyloliquefaciens* SD-32 and their antifungal activities against plant pathogens. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **62**: 1469–1476 (Jan., 2014)

朱 剛 (Zhu, Gang) 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員: 會見忠則)

### 【島根大学】

水戸 鼓 (Mito, Tsudzumi) 平成 20 年度入学 (主指導教員: 荒西太士)

木戸健一郎 (Kido, Kenichiro) 平成 21 年度入学 (主指導教員: 佐藤利夫)

田中智美 (Tomomi, Tanaka) 平成 23 年度入学, 平成 26 年 3 月修了 (主指導教員: 荒西太士)

鴛海智佳 (Oshiumi, Chika) 平成 23 年度入学 (主指導教員: 國井秀伸)

Radha Devkota Adhikari 平成 24 年度入学 (主指導教員名: 井藤和人)

細澤豪志 (Hosozawa, Takesi) 平成 24 年度入学 (主指導教員名: 國井秀伸)

森 明寛 (Mori, Akihiro) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員名: 國井秀伸)

### 【山口大学】

今田 潔 (Imada, Kiyoshi) 平成 24 年度入学 (主指導教員: 伊藤真一)

公表論文

学会誌等

- 1) Teshima, Y. Ikeda, T., Imada, K., Sasaki, K., El-Sayed, M., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Identification and biological activity of antifungal saponins from shallot. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 7440-7445 (July, 2013)

学会発表

国際学会

- 1) Imada, K. \*, Tanaka, S. and Ito, S.: Photodynamic inactivation of plant pathogenic fungi by 405 nm light. 5<sup>th</sup> International Conference on Environmental, Industrial and Applied Microbiology, BioMicroWorld 2013 (Poster). Madrid, Spain (Oct., 2013)

国内学会

- 1) 今田 潔\*・境 昭二・鍛冶原寛・田中秀平・伊藤真一: 酸化マグネシウムナノ粒子の抗菌性および植物抵抗性誘導作用 (口頭). 日本植物病理学会大会 (北海道札幌市) (2014 年 3 月)
- 2) 今田 潔\*: 酸化マグネシウムの抗菌性および植物免疫活性化作用 (口頭). 山口県病害虫研究会 (山口県山口市) (2013 年 12 月)

佐々木一紀 (Sasaki, Kazunori) 平成 24 年度入学 (主指導教員: 伊藤真一)

公表論文

学会誌等

- 1) Teshima, Y. Ikeda, T., Imada, K., Sasaki, K., El-Sayed, M., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Identification

and biological activity of antifungal saponins from shallot. Journal of Agricultural and Food Chemistry, **61**: 7440-7445 (July, 2013)

学会発表

国際学会

- 1) Sasaki, K., Tanaka, S. and Ito, S.: Genetic diversity and pathogenicity of *Fusarium oxysporum* f. sp. cepae isolated from Japanese bunching onion and white onion in Japan. 5<sup>th</sup> International Conference on Environmental, Industrial and Applied Microbiology, BioMicroWorld 2013 (Poster). Madrid, Spain (Oct., 2013)

国内学会

- 1) 佐々木一紀・田中秀平・伊藤真一：タマネギ乾腐病菌における SIX 遺伝子ホモログの解析（口頭）．日本植物病理学会大会（北海道札幌市）（2014年3月）

### 3) 国際乾燥地農学連合講座

【鳥取大学】※旧カリキュラム

九鬼貴弘（Kuki, Takahiro） 平成 17 年度入学（主指導教員：山本定博）

西野俊一郎（Nishino, Shun-ichiro） 平成 18 年度入学（主指導教員：恒川篤史）

公表論文

その他

- 1) 西野俊一郎：黄土高原における退耕還林政策および梯田（テラス）の利用について．沙漠研究 23-1, 25-29（2013）

魚住保幸（Uozumi, Yasuyuki） 平成 19 年度入学,平成 26 年 3 月修了（主指導教員：藤山英保）

公表論文

学会誌等

- 1) Uozumi, Y., Yamada, S., Masunaga, T., Hioki Y. and Fujiyama, H.: Effect of N, P and K levels in the medium on growth and N metabolisms in *Carex foliosissima* and *Polygonum cuspidatum*.日本砂丘学会誌, **60**: 97-114（2014年3月）

徐 冉（Xu, Ran） 平成 19 年度 10 月入学,平成 25 年 9 月修了（主指導教員：藤山英保）

鶴田博人（Tsuruta, Hiroto） 平成 20 年度入学（主指導教員：藤山英保）

学会発表

国内学会

- 1) 益崎 望・鶴田博人\*・山田 智：塩及び乾燥ストレスがキュウリの AsA 輸送と抗酸化応答に与える影響（口頭）．日本土壌肥料学会 2012 年度名古屋大会（2013 年 9 月）
- 2) 興座朝成・鶴田博人・山田 智：キュウリにおける 14C-アスコルビン酸輸送に及ぼす乾燥ストレスの影響-抗酸化酵素活性との関連性-（口頭）．日本土壌肥料学会 2012 年度名古屋大会（2013

年 9 月)

### (3) 生物資源科学専攻

#### 1) 資源生物科学連合講座

【鳥取大学】※旧カリキュラム (H23 年度入学より生物機能科学連合講座)

北 実 (Kita, Makoto) 平成 19 年度 10 月入学 (主指導教員: 森 信寛)

藤光洋志 (Fujimitsu, Hiroshi) 平成 22 年度 10 月入学 (主指導教員: 森 信寛)

#### 【島根大学】

喜多 知 (Kita, Tomo) 平成 22 年入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員: 尾添嘉久)

公表論文

学会誌等

- 1) Kita, T., Ozoe, F., Azuma, M. and Ozoe, Y.: Differential distribution of glutamate- and GABA-gated chloride channels in the housefly *Musca domestica*. *Journal of Insect Physiology*, **59**: 887-893 (Sep., 2013)
- 2) Ozoe, Y., Kita, T., Ozoe, F., Nakao, T., Sato, K. and Hirase, K.: Insecticidal 3-benzamido-N-phenylbenzamides specifically bind with high affinity to a novel allosteric site in housefly GABA receptors. *Pesticide Biochemistry and Physiology*, **107**: 285-292 (Nov., 2013)
- 3) Kita, T., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Expression pattern and function of alternative splice variants of glutamate-gated chloride channel in the housefly *Musca domestica*. *Insect Biochemistry and Molecular Biology*, **45**: 1-10 (Feb., 2014)

学会発表

国内学会

- 1) 高島麻都花\*・旭 美穂・喜多 知・野村和希・尾添富美代・中平国光・尾添嘉久: Fipronil 低感受性 GABA レセプターに対する fluralaner (A1443) の作用 (口頭). 日本農薬学会第 39 回大会 (京都府京都市) (2014 年 3 月)
- 2) 喜多 知\*・尾添富美代・尾添嘉久: イエバエグルタミン酸作動性クロロイオンチャネルのアンタゴニスト感受性 (口頭). 日本農薬学会第 39 回大会 (京都府京都市) (2014 年 3 月)

田中優史 (Tanaka, Yuji) 平成 22 年入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員: 中川 強)

#### 【山口大学】

Karim Mohammad Minnatul 平成 22 年 10 月入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員: 阿座上弘行)

公表論文

学会誌等

- 1) Karim, M. M., Hisamoto, T., Matsunaga, T., Asahi, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and Azakami, H: LuxS affects biofilm maturation and detachment of the periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens*. *Journal of Bioscience and Bioengineering*, **116**:313-318. (Sep., 2013)
- 2) Karim, M. M., Nagao, A., Mansur, F.J., Matsunaga, T., Akakabe, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and

Azakami, H.: The periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens* produces an autoinducer-2-inactivating enzyme. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **77**:1080-1085 (May, 2013)

#### 学会発表

##### 国際学会

- 1) Mansur, F.J.\*, Karim, M. M., Noiri, Y., Ebisu, S. and Azakami, H.: *Eikenella corrodens* produces an autoinducer-2-inactivating enzyme (Poster). Nobel Conference on Biofilm formation, its clinical impact and potential treatment, Stockholm, Sweden (Aug., 2013)
- 2) Karim, M. M.\*, Mansur, F. J., Hisamoto, T., Matsunaga, T., Asahi, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and Azakami, H.: LuxS affects biofilm maturation and detachment of the periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens* (Poster). Nobel Conference on Biofilm formation, its clinical impact and potential treatment, Stockholm, Sweden (Aug., 2013)
- 3) Azakami, H. \*, Karim M. M., Mansur, J., Noiri, Y. and Ebisu, S.: The Periodontopathogenic Bacterium *Eikenella corrodens* Produces an Autoinducer-2-Inactivating Enzyme (Poster). Gordon Conference (Bacterial Adhesion & Signal Transduction), Newport, USA (July, 2013)

##### 国内学会

- 1) 阿座上弘行・Mansur Jasin\*・Karim Minnatul・野杻由一郎：歯周病原性細菌の可溶性ポーリンがオートインデューサーを不活化する？（ポスター）．日本生物工学会（広島県広島市）（2013年9月）
- 2) Azakami, H.\*・Mansur Jasin・Karim Minnatul・Kato, A.：歯周病原性細菌の可溶性ポーリンが細菌間コミュニケーションを変化させる？（口頭）．日本農芸化学会三支部合同大会（広島県広島市）（2013年9月）
- 3) 阿座上弘行・Karim Minnatul\*・Mansur Jasin・野杻由一郎・恵比須繁之：歯周病関連細菌 *Eikenella corrodens* の AI-2 不活化酵素の精製と解析．Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会（東京都文京区）（2013年7月）

その他（特筆すべき事項）

- 1) 2013年度農芸化学会中四国支部学生奨励賞受賞

## 1-2) 生物機能科学連合講座 \*平成23年度より新カリキュラム

### 【鳥取大学】

Mohamed Mutasim Eltayeb Elebeid 平成23年度入学,平成26年3月修了（主指導教員：有馬 二郎）

#### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) Eltayeb, M. M., Mohamed Ahmed, I. A., Arima, J. and Mori, N.: Identification of residues essential for the activity and substrate affinity of L-carnitine dehydrogenase. *Molecular Biotechnology*, **55**: 268-276 (Nov., 2013) (June, 2013)
- 2) Eltayeb, M. M., Arima, J. and Mori, N.: Alanine scanning mutation approach for classification of the roles of conserved residues in the activity and substrate affinity of L-carnitine dehydrogenase. *Biotechnology Letters*, **36**: 309-317 (Feb., 2014)

#### 学会発表

国内学会

- 1) Eltayeb M.M.\*, Arima, J. and Mori, N.: Residues involved in the activity and substrate affinity of L-carnitine dehydrogenase (ポスター). 2013 年度日本生物工学会全国大会 (広島県広島市) (2013 年 9 月)

丸山麻理弥 (Maruyama, Mariya) 平成 24 年度入学 (主指導教員: 東 政明)

学会発表

国内学会

- 1) 丸山麻理弥\*・神原広平・東 政明: カイコの卵形成期に出現する 2 つの水選択的アクアポリンの動態. 蚕糸・昆虫機能利用学術講演会～日本蚕糸学会第 84 回大会 (神奈川県藤沢市) (2014 年 3 月)
- 2) 東 政明\*・丸山麻理弥: ドウガネブイブイ幼虫のアクアポリンのクローニングと昆虫アクアポリンファミリーの中での特徴付け. 蚕糸・昆虫機能利用学術講演会～日本蚕糸学会第 84 回大会 (神奈川県藤沢市) (2014 年 3 月)

磯田佳孝 (Isoda, Yoshitaka) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 有馬 二郎)

公表論文

学会誌等

- 1) Arima, J., Isoda, Y., Hatanaka, T. and Mori, N.: Recombinant production and characterization of an N-acyl-D-amino acid amidohydrolase from *Streptomyces* sp. 64E6. *World Journal of Microbiology and Biotechnology*, **29**: 899-906 (May, 2013)

学会発表

国内学会

- 1) 磯田佳孝\*・森 信寛・有馬二郎: D-Trp-L-Phe を基軸とする抗菌活性ジペプチド類縁体 (ポスター). 2013 年度日本生物工学会全国大会 (広島県広島市) (2013 年 9 月)
- 2) 恒原由佳\*・磯田佳孝・田村 丹・森 信寛・有馬二郎: 機能物質探索ツールとしての D-アミノペプチダーゼ: 反応の効率化と生成物の網羅的解析 (口頭). 2014 年度日本農芸化学会全国大会 (神奈川県川崎市) (2014 年 3 月)
- 3) 磯田佳孝\*・森 信寛・有馬二郎: グラム陽性細菌に対して抗菌活性を有する酵素合成 D-ホモジペプチド: D-Trp-D-Trp (口頭). 2014 年度日本農芸化学会全国大会 (神奈川県川崎市) (2014 年 3 月)

**【島根大学】**

森山大輔 (Moriyama, Daisuke) 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員: 川向 誠)

学会発表

国内学会

- 1) 森山大輔\*・戒能智宏・鷺田元久・難波弘憲・川向 誠: 分裂酵母でのコエンザイム Q10 の高生産 (口頭). 日本農芸化学会 2014 年度大会 (2014 年 3 月)

Mohammad Shahidur Rahman 平成 23 年度 10 月入学（主指導教員：石川孝博）

Mohammad Mostafizur Rahman 平成 23 年度 10 月入学（主指導教員：尾添嘉久）

学会発表

国内学会

- 1) Rahman, M.M., Nomura, K., Takashima, M., Furuta, K., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Synthesis of 1,3,4-trisubstituted iminopyridazines and their antagonistic activity against insect GABA receptors (Oral). 日本農薬学会第 39 回大会（京都府京都市）（2014 年 3 月）

布施利紀（Fuse, Toshinori）平成 24 年度入学（主指導教員：尾添嘉久）

玉木 峻（Tamaki, Shun）平成 24 年度 10 月入学（主指導教員：石川孝博）

学会発表

国際学会

- 1) Tamaki, S.\*, Maruta, T., Sawa, Y., Shigeoka, S. and Ishikawa, T.: Functional analysis of peroxiredoxin isoforms in *Euglena gracilis* (Poster). 11<sup>th</sup> International POG Conference-Reactive Oxygen and Nitrogen Species in Plants, Warsaw, Poland (July, 2013)

国内学会

- 1) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：*Euglena gracilis* におけるペルオキシレドキシンの機能解析（ポスター）. 平成 26 年度マリンバイオテクノロジー学会（那覇）（2013 年 6 月）
- 2) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：ユーグレナチオレドキシシレダクターゼの同定と機能解析（口頭）. 日本農芸学会関西・中四国・西日本支部，日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区 2013 年度合同広島大会（広島）（2013 年 9 月）
- 3) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：ユーグレナにおけるチオレドキシシレダクターゼの同定と機能解析（口頭）. ユーグレナ研究会第 29 回研究集会（筑波）（2013 年 11 月）
- 4) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：*Euglena gracilis* におけるチオレドキシシシステムの生理機能解明（ポスター）. 第 10 回クラミドモナス研究会（岡崎）（2013 年 11 月）
- 5) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：ユーグレナチオレドキシシレダクターゼの機能解析（ポスター）. 第 36 回日本分子生物学会（神戸）（2013 年 12 月）
- 6) 玉木 峻\*・丸田隆典・澤 嘉弘・重岡 成・石川孝博：ユーグレナにおけるチオレドキシシシステムの生理機能解明（口頭）. 第 55 回日本植物生理学会年会（富山）（2014 年 3 月）

松野 景 (Matsuno, Kei) 平成 24 年度 10 月入学 (主指導教員 : 松崎 貴)

Liu Genyan 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 尾添嘉久)

### 【山口大学】

Biswas Md. Sanullah 平成 25 年度 10 月入学 (主指導教員 : 真野純一)

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【鳥取大学】

美藤 友博 (Bito, Tomohiro) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 渡邊文雄)

公表論文

学会誌等

- 1) Bito, T., Ohishi, N., Nakahata, Y., Takenaka, S., Nishihara, E., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Production and characterization of cyanocobalamin-enriched lettuce (*Lactuca sativa* L.) grown using hydroponics. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 3852-3858 (Apr., 2013)
- 2) Watanabe, F., Yabuta, Y., Tanioka, and Bito, T.: Biologically active vitamin B<sub>12</sub> compounds in foods for preventing deficiency among vegetarians and elderly subjects: a review. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 6769-6775 (June, 2013)
- 3) Bito, T., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Miniaturized HPTLC of vitamin B<sub>12</sub> compounds in foods. *Chromatographia*, **76**, 1333-1337 (Oct., 2013)
- 4) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Vitamin B<sub>12</sub>[*c*-lactone], a biologically inactive corrinoid compound, occurs in cultured and dried lion's mane mushroom (*Hericium erinaceus*) fruiting bodies. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **62**, 1726-1732 (Feb., 2014)
- 5) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Takenaka, H., Yamaguchi, Y., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Characterization of corrinoid compounds in the edible cyanobacterium *Nostoc flagelliforme* the hair vegetable. *Food and Nutrition Sciences*, **5**: 334-340 (Feb., 2014)
- 6) Watanabe, F., Yabuta, and Bito, T.: Tetrapyrrole compounds of cyanobacteria. *Studies in Natural Products Chemistry*, **42**: 341-351 (Feb., 2014)

学会発表

国内学会

- 1) 美藤友博\*・大塚賢二・藪田行哲・一柳 剛・河野 強・渡邊文雄：ビタミン B<sub>12</sub> ドデシルアミン誘導体が線虫(*Caenorhabditis elegans*)のビタミン B<sub>12</sub> の生理機能に及ぼす影響 (口頭) . 日本ビタミン学会第 65 回大会 (東京都・一橋大学一橋講堂) (2013 年 5 月)
- 2) 藪田行哲\*・三崎太平・美藤友博・河野 強・渡邊文雄：線虫(*Caenorhabditis elegans*)におけるビタミン B<sub>12</sub> 欠乏による酸化ストレス障害の解析 (口頭) . 日本ビタミン学会第 65 回大会 (東京都・一橋大学一橋講堂) (2013 年 5 月)
- 3) 前川由紀奈\*・今井恵美・美藤友博・藪田行哲・河野 強・渡邊文雄：ビタミン B<sub>12</sub> が線虫

- (*Caenorhabditis elegans*)の体内葉酸レベルに及ぼす影響 (口頭) . 日本ビタミン学会第 65 回大会 (東京都・一橋大学一橋講堂) (2013 年 5 月)
- 4) 膝 飛\*・美藤友博・藪田行哲・河野 強・石川孝博・渡邊文雄: ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏が線虫(*C. elegans*)のコラーゲンタンパク質量に及ぼす影響 (口頭) . 日本ビタミン学会第 65 回大会 (東京都・一橋大学一橋講堂) (2013 年 5 月)
  - 5) 渡邊文雄\*・大石典治・美藤友博・宮本恵美・竹中重雄・作野えみ・藪田行哲: 椎茸(*Lentinula edodes*)に含まれるビタミン B<sub>12</sub> 化合物の特性とその起源 (口頭) . 日本ビタミン学会第 65 回大会 (東京都・一橋大学一橋講堂) (2013 年 5 月)
  - 6) 膝 飛\*・美藤友博・藪田行哲・河野 強・石川孝博・渡邊文雄: ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏が線虫(*C. elegans*)のコラーゲンとビタミン C 含量に及ぼす影響 (口頭) . 第 67 回日本栄養・食糧学会大会 (愛知県・名古屋大学東山キャンパス) (2013 年 5 月)
  - 7) 美藤友博\*・松永洋平・藪田行哲・河野 強・渡邊文雄: ビタミン B<sub>12</sub> が線虫(*Caenorhabditis elegans*)のポリアミン代謝に及ぼす影響 (口頭) . 第 67 回日本栄養・食糧学会大会 (愛知県・名古屋大学東山キャンパス) (2013 年 5 月)
  - 8) 美藤友博\*・三崎太平・藪田行哲・河野 強・渡邊文雄: ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏線虫(*Caenorhabditis elegans*)における記憶・学習障害について (口頭) . 日本農芸化学会中四国支部第 36 回講演会 (島根県・島根大学) (2013 年 6 月)
  - 9) 美藤友博\*・藪田行哲・一柳 剛・河野 強・渡邊文雄: 線虫(*Caenorhabditis elegans*)を用いたビタミン B<sub>12</sub> ドデシルアミン誘導体のビタミン B<sub>12</sub> 細胞内代謝の阻害機構の解明 (口頭) . 日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部, 日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区 2013 年度合同広島大会 (広島県・県立広島大学広島キャンパス)
  - 10) 前川由紀奈\*・美藤友博・藪田行哲・河野 強・渡邊文雄: 線虫(*C. elegans*)を用いた葉酸過剰症の解析 (口頭) . 日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部, 日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区 2013 年度合同広島大会 (広島県・県立広島大学広島キャンパス)
  - 11) 美藤友博\*・藪田行哲・河野 強・渡邊文雄: ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏による酸化ストレスが線虫(*Caenorhabditis elegans*)の記憶・学習能に及ぼす影響 (口頭) . 日本農芸化学会 2014 年度大会 (神奈川県・明治大学生田キャンパス)

その他 (特筆すべき事項)

- 1) Bito, T\*, Yabuta, Y., Kawano, T. and Watanabe, F.: Vitamin B<sub>12</sub> deficiency in *Caenorhabditis elegans* results in metabolic disorders of polyamines, modulators of synaptic transmission (Oral). International symposium on agricultural, food, environmental and life sciences in Asia, Sun Hotel, Miyazaki, Japan (2013)
- 2) Maekawa, Y., Bito, T., Yabuta, Y., Kawano, T. and Watanabe, F.: High dose folic acid supplementation in *Caenorhabditis elegans* results in loss of fertility and increased oxidative stress (Oral). International symposium on agricultural, food, environmental and life sciences in Asia, Sun Hotel, Miyazaki, Japan (2013)
- 3) 美藤友博: 鳥取大学大学院エンカレッジファンド受賞 (2014 年 2 月)
- 4) 日本学術振興会特別研究員 (DC2)

岸本勝也 (Kishimoto, katsuya) 平成 25 年度入学 (主指導教員: 山崎良平)

学会発表

#### 国内学会

- 1) 岸本勝也\*・石井一之・増田まりあ・山崎良平：部分糖鎖エピトープの合成とその免疫化学分析（ポスター）．第32回日本糖質学会年会（大阪）（2013年8月）
- 2) 山崎良平\*・岸本勝也・石井一之・増田まりあ：ヒト抗体が認識するリポオリゴ糖の糖鎖構造の解明（口頭）．第32回日本糖質学会年会（大阪）（2013年8月）
- 3) 岸本勝也\*・石井一之・山崎良平：ナイセリア属細菌の産生する部分糖鎖コンジュゲートの合成（口頭）．日本農芸化学大会（東京）（2014年3月）
- 4) 岸本勝也\*・石井一之・山崎良平：部分糖鎖タンパクコンジュゲート合成の条件検索（ポスター）．第33回日本糖質学会年会（名古屋）（2014年8月）
- 5) 山崎良平\*・岸本勝也・石井一之・田中利弥：ヒト抗体が認識するリポオリゴ糖の糖鎖エピトープの解明（口頭）．第33回日本糖質学会年会（名古屋）（2014年8月）

#### その他（特筆すべき事項）

- 1) 平成25年度鳥取大学大学院エンカレッジファンド（2014年2月5日）

#### 滕 飛（Teng, Fei） 平成25年度入学（主指導教員：渡邊文雄）

##### 公表論文

##### 学会誌等

- 1) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Takenaka, H., Yamaguchi, Y., Yabuta, Y., Watanabe, F.: Characterization of Corrinoid Compounds in the Edible Cyanobacterium *Nostoc flagelliforme* the Hair Vegetable. *Food and Nutrition Sciences*, **5**: 334-340 (Feb., 2014)
- 2) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Vitamin B<sub>12</sub>[c-lactone], a Biologically Inactive Corrinoid Compound, Occurs in Cultured and Dried Lion's Mane Mushroom (*Hericium erinaceus*) Fruiting Bodies. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **62**: 1726-1732 (Feb., 2014)

##### 学会発表

##### 国内学会

- 1) 滕 飛\*・美藤友博・藪田行哲・河野 強・石川孝博・渡辺文雄：ビタミンB<sub>12</sub>欠乏が線虫(*C.elegans*)のコラーゲンタンパク質に及ぼす影響（口頭）．日本ビタミン学会第65回大会（東京都国立市）（2013年5月）
- 2) 滕 飛\*・美藤友博・藪田行哲・河野 強・石川孝博・渡辺文雄：ビタミンB<sub>12</sub>欠乏が線虫(*C.elegans*)のコラーゲンとビタミンC含量に及ぼす影響（口頭）．第67回日本栄養・食糧学会（愛知県名古屋市）（2013年5月）
- 3) 滕 飛\*・竹中重雄・竹中裕行・藪田行哲・渡辺文雄：髪菜に含まれるビタミンB<sub>12</sub>化合物の特性（口頭）．日本農芸化学・ビタミン合同大会（広島県広島市）（2013年9月）

#### その他（特筆すべき事項）

- 1) 鳥取大学エンカレッジ・ファンド受賞（2014年2月5日）
- 2) Teng, F.\*, Takenaka, S., Takenaka, H., Yabuta, Y., Watanabe, F.: Characterization of Corrinoid Compounds in the Edible Cyanobacterium *Nostoc flagelliforme* (Oral). Mizaki, Japan (2013年11月7日)

#### 【島根大学】

#### 秋田知己（Akita, Tomoki） 平成22年度10月入学（主指導教員：山本達之）

##### 公表論文

学会誌等

- 1) Akita, T., Matsui, Y. and Yamamoto, T.: A <sup>1</sup>H NMR Titration Study on the Binding Constants for D- and L-Tryptophan Inclusion Complexes with 6-O- $\alpha$ -D-Glucosyl- $\beta$ -cyclodextrin. Formation of 1:1 and 2:1 (Host : Guest) Complexes. *J. Mol. Struct.*, **1060**: 138–141 (Jan., 2014)

学会発表

国内学会

- 1) 秋田知己\*・松井佳久・山本達之：<sup>1</sup>H NMR による 6-O- $\alpha$ -D-グルコシル- $\beta$ -シクロデキストリンと D-及び L-トリプトファンとの包接錯体形成に関する研究. 第 30 回シクロデキストリンシンポジウム (熊本) (2013 年 9 月)

Ferdous Khan 平成 23 年度 10 月入学 (主指導教員 : 横田一成)

学会発表

国際学会

- 1) Rahman, M. S., Syeda, P. K. Khan, F., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F. and Yokota, K.\*: Stable transfection of cultured preadipocytes with cyclooxygenase-1 in the antisense direction up-regulates adipogenesis during the maturation phase of adipocytes (Oral). 13th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases, San Juan, USA (Nov., 2013)
- 2) Rahman, M. S., Khan, F., Syeda, P. K., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F. and Yokota, K.\*: Biosynthesis of prostacyclin serving as a biomarker for enhanced adipogenesis program in cultured adipocytes (Poster). 13th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases, San Juan, USA (Nov., 2013)

国内学会

- 1) Khan, F.\*, Rahaman, M. S., Syeda, P. K., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F., and Yokota, K.: Biosynthesis of prostaglandin I<sub>2</sub> at different life stages of cultured adipocytes as determined by the immunological assay for its stable hydrolysis product (Oral). 36th Annual Meeting of Chu-Shikoku Division in the Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry, Matsue, Japan (June, 2013)
- 2) Fatema, P. K. S. K.\*, Khan, F., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F., and Yokota, K. Pro-adipogenic effect of 11-deoxy-11-methylene-prostaglandin (PG) D<sub>2</sub>, a stable, isosteric analogue of PGD<sub>2</sub>, during the maturation phase of adipocytes (Oral). 36th Annual Meeting of Chu-Shikoku Division in the Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry, Matsue, Japan (June, 2013)
- 3) Fatema, P. K. S. K., Khan, F., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F., and Yokota, K.\*: Stimulation of adipogenesis with 11-deoxy-11-methylene-PGD<sub>2</sub>, a stable, isosteric analogue of PGD<sub>2</sub>, during the maturation phase of adipocytes (Poster). The 86th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society, Yokohama, Japan (Sep., 2013)

滝上俊平 (Takiue, Shunpei) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 山本達之)

学会発表

国内学会

- 1) 滝上俊平\*・秋吉英雄: ヤツメウナギ肝臓の肝小葉構築, 特に結合組織発達に関する研究 (口頭). 日本動物学会第 84 回大会講演会 (岡山県岡山市) (2013 年 9 月)

竹澤圭太 (Takezawa, Keita) 平成 24 年度入学 (主指導教員 : 山本達之)

公表論文

学会誌等

- 1) Takezawa, K., Matsui, Y. and Yamamoto, T. and Yoshikiyo, K.: Inclusion complexation of three structural isomers of mono-(deoxy-guanidino)- $\alpha$ -cyclodextrin with the p-nitrophenolate ion, Bull. Chem. Soc. Jpn., **87**: 412-416 (Mar., 2014)

学会発表

国内学会

- 1) 竹澤圭太\*・吉清恵介・松井佳久・山本達之：モノグアニジノ修飾  $\alpha$ -シクロデキストリンの 3 種類の構造異性体と p-ニトロフェノレートイオンとの包接錯体形成. 第 30 回シクロデキストリンシンポジウム (熊本) (2013 年 9 月)

#### (4) 国際乾燥地科学専攻

##### 国際乾燥地科学連合講座

###### 【鳥取大学】

松本法子 (Matsumoto, Noriko) 平成 22 年度入学 (主指導教員 : 藤山英保)

佐藤敏雄 (Sato, Toshio) 平成 22 年度入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員 : 山本定博)

Kalemelawa Frank 平成 22 年度 10 月入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員 : 山本定博)

Rumana Yeasmin 平成 22 年度 10 月入学,平成 25 年 9 月修了 (主指導教員 : 山本定博)

安西俊彦 (Toshihiko, Anzai) 平成 23 年度入学,平成 26 年 3 月修了 (主指導教員 : 北村義信)

公表論文

学会誌等

- 1) Anzai, T., Kitamura, Y. and Shimizu, K.: The influence of seepage from canals and paddy fields on the groundwater level of neighboring rotation cropping fields: a case study from the lower Ili River Basin, Kazakhstan. Paddy and Water Environment (IF=1.025), DOI 10.1007/s10333-013-0393-z. (on-line) (Sep., 2013)
- 2) 安西俊彦・清水克之・北村義信：灌漑地区における農地・水利用がイリ川に及ぼす影響に対する考察. 沙漠研究, **23**(2): 41-49 (2013 年 9 月)
- 3) 安西俊彦・清水克之・北村義信・池浦 弘：ウズベキスタン国内の効率的な水利用の取組み. 水土の知 (農業農村工学会誌) (受理)

学会発表

国際学会

- 1) 安西俊彦\*・北村義信・清水克之・池浦 弘：中央アジアにおける適切な農地・水管理に向けた

取組み—ウズベキスタン共和国を事例として—（口頭）．日本砂丘学会第 59 回全国大会（東京）（2013 年 7 月）

2) 清水克之\*・北村義信・安西俊彦：イリ川下流域における水田の純用水量に関する考察（口頭）．日本砂丘学会第 59 回全国大会（東京）（2013 年 7 月）

3) 安西俊彦\*・清水克之・北村義信：水稻・畑輪作地帯における地下水位変動解析—カザフスタン共和国・イリ川下流域の灌漑地区を対象として—（口頭）．農業農村工学会（東京）（2013 年 9 月）

その他（特筆すべき事項）

1) 日本砂丘学会優秀発表賞（2013 年 7 月 4 日）

**Mohammed Yasir Serag Alnor** 平成 23 年度入学,平成 26 年 3 月修了（主指導教員：辻本 壽）

公表論文

学会誌等

1) Mohammed, Y. S. A., Eltayeb, A. E. and Tsujimoto, H.: Enhancement of aluminum tolerance in wheat by addition of chromosomes from wild relative *Leymus racemosus*. *Breeding Science*, **63**: 407-416 (Dec., 2013)

2) Mohammed, Y. S. A., Tahir, I. S. A. A., Kamal, N. M., Eltayeb, A. E., Ali, A. M. and Tsujimoto, H.: Impact of wheat-*Leymus racemosus* added chromosomes on wheat adaptation and tolerance to heat stress. *Breeding Science*, **63**: 450-460 (Jan., 2014)

学会発表

国際学会

1) Mohammed, Y. S. A. \*, Tsujimoto, H. and Eltayeb, A. E.: An insertion in the promoter of the *Vrn-A1* of wheat-*Leymus* chromosome addition lines is responsible for early flowering (Oral). 12<sup>th</sup> International Wheat Genetics Symposium, Yokohama, Japan (Sep., 2013)

2) Mohammed, Y. S. A. \*, Eltayeb, A. E and Tsujimoto, H.: *Leymus racemosus*, a wheat wild relatives is a potential source for wheat improvement for aluminum and heat stress tolerance (Oral). International Conference Translational Cereal Genomic, Vienna, Austria (Feb., 2014)

**李 睿 (Li, Rui)** 平成 23 年度入学（主指導教員：恒川篤史）

公表論文

著書

1) Li, Rui., Tsunekawa, A., Tsubo, M.: Index-based assessment of agricultural drought in a semi-arid region of Inner Mongolia, China. *Journal of Arid Land*, **6**(1): 1-13 (2014)

学会発表

国際学会

1) Li, Rui., Tsunekawa, A., Tsubo, M.: Index-based assessment of agricultural drought in a rainfed region of Inner Mongolia, China (Poster). Proceedings of 11<sup>th</sup> International Conference on Development of Drylands (ICDD), Beijing (Mar., 2013)

**Abdel Hamed Abdel Hak Hassan Mohmoud** 平成 23 年 10 月入学（主指導教員：藤巻晴行/北村義信）

Kumbuyo Chisomo Patrick 平成 24 年度入学（主指導教員：安田 裕/北村義信）

学会発表

国内学会

- 1) Kumbuyo, C.P. \*, Kitamura, Y., Shimizu, K. and Yasuda, H.: Inter annual-fluctuation of rainfall time series in Malawi; An analysis of selected areas (Oral). National Conference of Japanese Society of Irrigation, Drainage and Reclamation Engineering JSIDRE, Collection Summary, Pp.140. Tokyo, Japan (Sep., 2013)

梶原真悟（Kajiwara, Shingo） 平成 24 年度入学（主指導教員：藤山英保）

公表論文

学会誌等

- 1) 安 萍・梶原真悟・井上知恵・李 向軍・稲永 忍：塩類集積地における塩生植物の農業利用—中国渤海湾沿岸地区の塩類集積土壌を事例として．日本砂丘学会誌，60(1): 9-18（2013 年 7 月）

蕪木絵美（Kaburagi, Emi） 平成 24 年度入学（主指導教員：藤山英保）

学会発表

国内学会

- 1) 蕪木絵美\*・藤山英保：オオムギとフダンソウの硝酸吸収に及ぼすナトリウムの効果（口頭）．土壤肥料学会第 58 回名古屋大会（2013 年 9 月）

加藤敦司（Kato, Atsushi） 平成 25 年度入学（主指導教員：辻本 壽）

学会発表

国際学会

- 1) Kato, A. \*, Kajikawa, M. and Akashi, K.: Exploring useful genes for root system architecture from wild watermelon. Special Seminar on Jatropha Research, Gaborone, Botswana (May, 2013)
- 2) Kato, A. \*, Kajikawa, M. and Akashi, K.: Exploring useful genetic resources in Botswana watermelon. 1st Jatropha Symposium in Botswana, Gaborone, Botswana (Aug., 2013)

その他（特筆すべき事項）

- 1) 1st Jatropha Symposium in Botswana ポスター賞（2013 年 8 月 8 日）
- 2) ボツワナ共和国における現地研究者との共同調査（2013 年 5 月 20-25, 8 月 7-14 日, 3 月 6-15 日）

飯田拓生（Handa, Takuo） 平成 25 年度入学（主指導教員：山本定博）

松本裕史（Matsumoto, Hiroshi） 平成 23 年度入学（主指導教員：山本定博）

## 【島根大学】

Alarima Cornelius Idowu 平成 23 年度入学,平成 26 年 3 月修了（主指導教員：増永二之）

公表論文

学会誌等

- 1) Alarima, C. I., Adamu, C.O., Awotunde, J. M., Bandoh, M. N., Masunaga, T., Wakatsuki, T.: Determinants of Adoption of Sawah Rice Technology among Farmers in Ashanti Region of Ghana. Journal of Agricultural Science and Technology, **B3**(7): 459-468 (July, 2013)

学会発表

国際学会

- 1) Alarima, C. I., Busari, M. A., Agboola, A. O., Marquez, Fong. J. D., Sato, K., Masunaga, T. and Wakatsuki, T.: Micronutrient availability in sawah soils of inland valleys in Nigeria. 3<sup>rd</sup> Africa Rice Congress, Yaunde, Cameroon (Oct., 2013)

**金 多慧 (Kim, Da Hye) 平成 25 年度入学 (主指導教員：一戸俊義)**

学会発表

国内学会

- 1) Song, SH., Kim, DH. \*, Choi, KC., Urabe, H. and Ichinohe, T.: Characterization of a novel ovine preadipocyte, isolated from subcutaneous tissue (ポスター) . 第 36 回日本分子生物学会年会 (兵庫県神戸市) (2013 年 12 月)
- 2) 宋 相憲\*・金 多慧・崔 基春・一戸俊義：メンヨウ培養脂肪細胞を用いた粗飼料機能性評価 (ポスター) . 日本畜産学会第 118 回大会 (茨城県つくば市) (2014 年 3 月)

**Marques Fong Juan Damian 平成 24 年度入学 (主指導教員：増永二之)**

### 第3章 学位授与者

#### 1 入学者に対する在学3年間の学位授与者数及び学位取得率 (平成25年度の状況)

専攻	連合講座	平成23年4月 入学者数	在学3年間の 学位取得者数	学位取得率 (%)
生物生産科学	農業生産学	1 ( 1 )	0 ( 1 )	50
	森林資源学	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0
	経済・経営学	2 ( 1 )	1 ( 0 )	33
	計	4 ( 2 )	1 ( 1 )	33
生物環境科学	生産環境工学	1 ( 0 )	1 ( 0 )	100
	環境科学	2 ( 1 )	1 ( 1 )	67
	計	3 ( 1 )	2 ( 1 )	75
生物資源科学	生物機能科学	1 ( 2 )	1 ( 1 )	67
	資源利用化学	0 ( 1 )	0 ( 0 )	0
	計	1 ( 3 )	1 ( 1 )	50
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	6 ( 2 )	3 ( 2 )	63
	計	6 ( 2 )	3 ( 2 )	63
合	計	14 ( 8 )	7 ( 5 )	55

(注) ( ) は22年10月入学者を外数で示す。  
生物機能科学には、名称変更前の資源生物科学の学生数も含む。

2 課程修了者 (22名)

専攻	講座	入学年度	申請者氏名	論文題目	指導教員
生物生産科学	農業生産学	20	原田 陽子	分光特性を用いた植物制御と診断 (Plant Control and Diagnosis Using the Spectral Characteristic)	山本 晴彦 執行 正義 小葉田 亨
		22後	ASADUZZAMAN MD	Studies on the autotoxicity of strawberry and beans in hydroponics with their means to overcome (水耕イチゴおよびマメ類の自家中毒とその回避法に関する研究)	浅尾 俊樹 小林 伸雄 田村 文男
	経済・経営学	20	福山 豊	小規模産地における農協運営主体の農産物直売所のマーケティング戦略 (A Marketing Strategy for Farmers' Markets Managed by Agricultural Cooperatives in Small-Scale Farming Areas)	小林 一 古塚 秀夫 内田 和義
		22	周 雪琼	中国における農業者の老後居住地選択要因と農業後継候補者の就農可能性に関する研究 (A study on the factors influencing on the living place of farmers after retirement and possibility for the candidates of agricultural successors to engage in agriculture in China)	能美 誠 古塚 秀夫 伊藤 勝久
		23	久保 雄生	不在地主による農地の所有実態と不在地主問題の解消に向けた農地管理手法の解明 (Farmland ownership by absentee landowners and elucidation of the method regarding farmland use)	小林 一 能美 誠 内田 和義
	生物環境科学	生産環境工学	23	周藤 将司	寒冷地のRC開水路側壁における凍害劣化と診断手法に関する研究 (Research on Frost Damage Deterioration and Diagnosis Method of RC Open Channel Sidewall in Cold Region)
環境科学		21後	ALTANSUKH GOOMARAL	Community of Arbuscular Mycorrhizal Fungi in Mongolian Steppe (モンゴルステップ草原のアーバスキュラー菌根菌群集)	松本 晃幸 山本 福壽 山下 多聞
		21後	川野 敬介	ゲンジボタルの配偶行動に関する研究 (Studies on mating behavior of <i>Luciola cruciata</i> Motschulsky (Coleoptera: Lampyridae))	竹松 葉子 小林 淳 宮永 龍一
		22後	KAEWGRAJANG THARNRAT	Ectomycorrhizal fungal communities on <i>Dipterocarpus alatus</i> Roxb. Ex G. Don and their effects on seedlings ( <i>Dipterocarpus alatus</i> Roxb. Ex G. Don における外生菌根菌群集と菌根菌の苗への影響)	児玉基一朗 山本 福壽 井藤 和人
		23	田中 智美	サルボウガイの資源管理に関する分子遺伝生態学的研究 (Molecular genetic ecological studies on the stock management of ark shell <i>Scapharca kagoshimensis</i> )	荒西 太士 國井 秀伸 松本 晃幸
国際乾燥地農学	19後	徐 冉	Study on physiological and adaptational responses of turfgrasses to salinity stress (シバの塩ストレスに対する生理および適応応答に関する研究)	藤山 英保 岡 真理子 増永 二之	

生物資源科学	資源生物科学	22	田中 優史	Functional analysis of two Arabidopsis COPII components, AtSec24B and AtSec24C, in gametogenesis (配偶体形成における二種類のシロイヌナズナCOP II 構成因子、AtSec24B及びAtSec24Cの機能解析)	中川 強 西村 浩二 板井 章浩
		22	喜多 知	Localization and functional characterization of glutamate-gated chloride channels in the housefly <i>Musca domestica</i> (イエバエにおけるグルタミン酸作動性クロロイオンチャネルの局在及び機能解析)	尾添 嘉久 池田 泉 東 政明
		22後	MOHAMMAD MINNATUL KARIM	Studies on the relationship between quorum sensing and biofilm formation of <i>Eikenella corrodens</i> ( <i>Eikenella corrodens</i> のクオラムセンシングとバイオフィーム形成の関連性に関する研究)	阿座上 弘行 赤壁 善彦 會見 忠則
	生物機能科学	23	MOHAMED MUTASIM ELTAYEB ELEBEID	Mutagenesis studies of L-carnitine dehydrogenase for development of biomolecule measurement tool (生体分子測定ツールの創製に向けたカルニチン脱水素酵素のタンパク質工学的研究)	有馬 二朗 森 信寛 澤 嘉弘
	資源利用化学	21後	石原 幸雄	鳥取県で水揚げされる魚介類の食品・栄養学的特性の解明 (Food and Nutritional Characterization of the Fish and Shellfish available in Tottori Prefecture)	渡邊 文雄 森 信寛 石川 孝博
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	22	佐藤 敏雄	中東および北アフリカ地域における都市下水の農業用水資源としての有用性と長期都市下水灌漑の環境影響評価に関する研究 (Studies on Wastewater as an Irrigation Water Resource and the Effect of Long-term Application on the Environment in Middle East and North African Regions)	山本 定博 藤山 英保 増永 二之
		22後	KALEMELAWA FRANK	STUDY ON SUSTAINABLE BANANA WASTE MANAGEMENT THROUGH COMPOST AND BIOCHAR PRODUCTION FOR SOIL AMELIORATION AND ENVIRONMENT PRESERVATION (土壌改良と環境保全のための堆肥化、炭化処理によるバナナ廃棄物の持続的管理に関する研究)	山本 定博 西原 英治 増永 二之
		22後	RUMANA YEASMIN	Study on Mitigation of Allelopathy and Autotoxicity in Replanting Problem of Asparagus ( <i>Asparagus officinalis</i> L.) (アスパラガスの連作障害におけるアレロパシーおよび自家中毒の軽減に関する研究)	山本 定博 西原 英治 増永 二之
		23	安西 俊彦	乾燥地灌漑農業における農地・水利用と地下水変動に関する研究 (Studies on land and water use, and groundwater fluctuation under irrigated agriculture in arid land)	北村 義信 清水 克之 宗村 広昭
		23	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED	<i>Leymus racemosus</i> , a wheat wild relative is a potential source for wheat improvement for aluminum and heat stress tolerance (コムギの近縁種、オオハマニンニクはコムギのアルミニウムおよび高温耐性を改良するための潜在的資源である)	辻本 壽 田中 裕之 小葉田 亨
		23	ALARIMA CORNELIUS IDOWU	LAND TENURE SYSTEM AND SOIL FERTILITY STATUS FOR ADOPTION OF SAWAH TECHNOLOGY IN NIGERIA AND GHANA (ナイジェリアとガーナにおけるSawah技術採用のための、土地保有制と土壌肥沃度状態に関する研究)	増永 二之 佐藤 邦明 山本 定博

3 論文提出者（10名）

学位記 番号	氏 名	学 位 論 文 名	学 位 論 文 審査委員会主査
乙 第105号	上野 敬一郎	バイオテクノロジーを用いた地域植物資源の育種学的活用に関する研究 (The Study of Biotechnological Application for Breeding using Local Plant Resources)	小林 伸雄
乙 第106号	藤井 吉隆	大規模水田作経営における生産・労務管理の革新的手法の構築に関する研究 (Studies on Construction of Innovative Methods of Production and Labor Management For the Large-scale Paddy Field Farms)	小林 一
乙 第107号	原田 綾乃	アフリカツメガエル胚の解離再集合塊における細胞選別と組織分化の研究 (Studies on the cell sorting process and tissue differentiation in the reaggregation of <i>Xenopus</i> embryonic cells)	松崎 貴
乙 第108号	大倉 英憲	わい性台木ヒリュウを利用したウンシュウミカンの安定生産技術に関する研究 (Research on the Stability productive technologies of the satsuma mandarin grafted on a dwarf root stock, Hiryu)	山本 晴彦
乙 第109号	山中 啓介	森林における植生劣化の要因解析とその再生に関する研究 (Analysis of factors that affect degradation of forest vegetation and methods to aid recovery of degraded forests)	山本 福壽
乙 第110号	坂田 昇	水利施設に用いるフライアッシュコンクリートの耐凍害性に関する研究 (A Study on Frost Damage Resistance of Fly Ash Concrete using Water Use Facilities)	緒方 英彦
乙 第111号	清水 一史	農用トラクタの排出ガス評価手法に関する研究 (Studies on Emission Gas Evaluation Techniques for Agricultural Tractors)	山名 伸樹
乙 第112号	田口 智康	Effects of Plant Volatile Compounds on Fungal Growth and Patulin Production of <i>Penicillium expansum</i> in Apple Juice (植物が生産する揮発性化合物によるリンゴ果汁における <i>Penicillium expansum</i> の生育およびパツリン産生に対する影響)	中島 廣光
乙 第113号	Mohammad Sharifur Rahman	Role of cyclooxygenase-1 in adipogenesis and biosynthesis of prostacyclin at the maturation phase of adipocytes (脂肪細胞形成におけるシクロオキシゲナーゼ-1の役割と脂肪細胞の成熟期でのプロスタサイクリンの生合成)	横田 一成
乙 第114号	魚住 保幸	大山に自生する草本植物における成長戦略に関する植物栄養学的研究 ：無機元素集積特性および乾物生産と窒素代謝の関係 (Plant nutritional study on adaptive strategy of native herbaceous species growing in Mt.Daisen: Characteristics of mineral accumulation and relationships between dry matter production and nitrogen metabolisms)	藤山 英保

## 第4章 就 職 状 況

### 1 学位取得者の就職先

#### (1) 課程修了者 (22名)

専攻	講座	入学年度	氏 名	就職先
生物生産科学	農業生産学	20	原田 陽子	山口大学農学部学術研究員
		22後	ASADUZZAMAN MD	バングラデシュ農業研究所技師
	経済・経営学	20	福山 豊	熊本県立大学研究助手
		22	周 雪琼	鳥取大学協力研究者
		23	久保 雄生	山口県農林総合技術センター専門研究員
生物環境科学	生産環境工学	23	周藤 将司	松江工業高等専門学校環境・建設工学科助教
	環境科学	21後	ALTANSUKH GOOMARAL	モンゴル国立農業大学研究員
		21後	川野 敬介	下関市教育委員会豊田教育支所豊田ホテルの里ミュージアム学芸員
		22後	KAEWGRAJANG THARNRAT	カセサート大学森林学部講師
		23	田中 智美	島根大学特任助教
国際乾燥地農学	19後	徐 冉	福井大学インターンシップ研究員	
生物資源科学	資源生物科学	22	田中 優史	島根大学研究機構総合科学研究支援センター遺伝子機能解析部門日本学術振興会特別研究員 (PD)
		22	喜多 知	未定
		22後	MOHAMMAD MINNATUL KARIM	イスラム大学講師
	生物機能科学	23	MOHAMED MUTASIM ELTAYEB ELEBEID	ハルツーム大学助教
	資源利用化学	21後	石原 幸雄	鳥取県水産試験場漁場開発室長
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	22	佐藤 敏雄	応用地質株式会社基幹 (総合) 職
		22後	KALEMELAWA FRANK	鳥取大学国際交流センター特命コーディネーター
		22後	RUMANA YEASMIN	シドニー工科大学研究員
		23	安西 俊彦	国際農林水産業研究センター任期付研究員
		23	YASIR SERAG ALNOR MOHAMMED	鳥取大学乾燥地研究センタープロジェクト研究員
		23	ALARIMA CORNELIUS IDOWU	フェデラル農業大学講師

## (2) 論文提出者 (10名)

学位記 番号	氏 名	就職先
乙 第105号	上野 敬一郎	鹿児島県農政部経営技術課技術主幹兼技術環境係長
乙 第106号	藤井 吉隆	滋賀県農業技術振興センター主任主査
乙 第107号	原田 綾乃	(独) 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター感覚器 センター分子細胞生物学研究部研究補助員
乙 第108号	大倉 英憲	福岡県筑後農林事務所八女普及指導センター果樹特産課果樹係 主任技師普及指導員
乙 第109号	山中 啓介	島根県東部農林振興センター出雲事務所 林業普及員
乙 第110号	坂田 昇	鹿島建設(株) 土木管理本部土木技術部長
乙 第111号	清水 一史	農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援 センター評価試験部原動機第2試験室室長
乙 第112号	田口 智康	明治乳業株式会社品質科学研究所品質評価第1センター環境衛 生化学G研究員
乙 第113号	Mohammad Sharifur Rahman	ダッカ大学助教
乙 第114号	魚住 保幸	鳥取大学大学院農学研究科研究生

## 第5章 共通セミナー

### 1. セミナー日程表

#### (1) 平成25(2013)年度前期連合一般ゼミナール(日本語)日程表

#### Special Lecture on Agricultural Science I (Japanese) Schedule

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備 30分	挨拶等 10分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	講義 (90分)	昼休み 60分	講義 (90分)	休憩 10分	講義 (90分)	
6月19日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶 連絡 事項等	<b>Lecture1</b> 「蛍光分子を用いたバイオ分析」 (Bioanalysis using fluorescent molecules) 宗 伸明 SOH, Nobuaki (佐賀大学農学部・准教授)		<b>Lecture2</b> 「ポストゲノム時代のタンパク質科学 研究」 (Protein sciences in the post-genomic era) 山下 哲郎 YAMASHITA, Tetsuro (岩手大学農学部・准教授)			<b>Lecture3</b> 「タンパク質合成の停滞解消システ ム」 (Rescue systems of stalled protein synthesis) 姫野 俣太 HIMENO, Hyouta (弘前大学農学生命科学部・教授)		<b>Lecture4</b> 「食品と免疫」 (Food and Immunity) 好田 正 YOSHIDA, Tadashi (東京農工大学農学研究院・准教授)	
6月20日 (木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	<b>Lecture5</b> 「山地からの流出土砂が下流域の環 境に与える影響」 (Influence of sediment discharge from mountainous area to the environment at downstream) 梶原 克夫 SASAHARA, Katsuo (高知大学農学部農学部・教授)		<b>Lecture6</b> 「タンパク質リン酸化反応と脱リン酸 化反応の生化学的研究」 (Biochemical studies on protein phosphorylation and dephosphorylation) 亀下 勇 KAMESHITA, Isamu (香川大学農学部農学部・教授)			<b>Lecture7</b> 「酵母の二日酔い対策-アセトアル デヒド耐性メカニズムの解明とその応 用」 (Molecular mechanism of acetaldehyde tolerance in Saccharomyces cerevisiae) 中川 智行 NAKAGAWA, Tomoyuki (岐阜大学応用生物科学部・准教 授)		<b>Lecture8</b> 「侵入害虫をめぐる話題」 (Topics of invasive insects) 西東 力 SAITO, Tsutomu (静岡大学農学部・教授)	
6月21日 (金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡 事項等	<b>Lecture9</b> 「食育原論-ヒトはなぜ食べるのか、 人はなぜ育つのか」 (Shokuiku Food Education Theory - Why we eat, why we grow) 朝岡 幸彦 ASAOKA, Yukihiko (東京農工大学農学研究院・教授)		<b>Lecture10</b> 「TPPと日本農業」 (TPP for the Japanese agriculture) 小林 一 KOBAYASHI, Hajime (鳥取大学農学部・教授)			<b>Lecture11</b> 「ネギ類育種に関する応用細胞遺伝 学的研究」 (Applied Cytogetic Studies on the Breeding of Alliums) 執行 正義 SHIGYO, Masayoshi (山口大学農学部・教授)		<b>Lecture12</b> 「土壌・植物根圏生態系における土壌 微生物の多様性と機能」 (Soil microbial diversity and functions in soil and rhizosphere ecosystems) 境 雅夫 SAKAI, Masao (鹿児島大学農学部・教授)	

## (2) 平成25(2013)年度後期連合一般ゼミナール(英語) 日程表

会場 各連合大学院及び構成大学の遠隔講義システム設置室

実施日程	8:30	9:00	9:10	10:40	10:50	12:20	13:20	14:50	15:00	16:30	17:00
	準備	挨拶等	講義	休憩	講義	昼休み	講義	休憩	講義		
	30分	10分	(90分)	10分	(90分)	60分	(90分)	10分	(90分)		
11月13日 (水)	遠隔講義システムの立ち上げ	挨拶	<b>Lecture1</b> Molecular physiology of epithelial transport in insects 「昆虫細胞の溶質輸送システム」 AZUMA, Masaaki 東政明 (鳥取大学大学院連合農学研究科・教授)	休憩	<b>Lecture2</b> Transmembrane signaling in invertebrate nervous systems 「無脊椎動物神経系における経膜シグナル伝達」 OZOE, Yoshihisa 尾添 嘉久 (島根大学生物資源科学部・教授)	昼休み	<b>Lecture3</b> Ecological characteristics of invasive species: special reference to its genetic and trait shift 「侵入生物の生態学的特性:特に遺伝的変化と形質変化」 TSUCHIDA, Koji 土田 浩治 (岐阜大学応用生物科学部・教授)	休憩	<b>Lecture4</b> Importance of canopy structure in ecosystem services and ecological management of forest. (Towards complex structure for complex function by analyzing complexity....) 「森林の生態系サービスと生態的管理における林冠構造の重要性」 MIZUNAGA, Hiromi 水永 博己 (静岡大学大学院農学研究科・教授)		
11月14日 (木)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	<b>Lecture5</b> Fruit production and distribution in Japan 「日本における果物の生産と流通」 MURAYAMA, Hideki 村山 秀樹 (山形大学農学部・教授)		<b>Lecture6</b> Pastoralism adapted in dry areas and its subsistence strategy - livestock management and dietary intake depending on milk, not meat - 「乾燥地に適応した生業・牧畜とその生業戦略 - 肉ではなく、乳に依存した家畜管理と食料摂取 -」 HIRATA, Masahiro 平田 昌弘 (帯広畜産大学・准教授)		<b>Lecture7</b> Topics on Papermaking Potential of Recycled Pulp Fiber 「リサイクルパルプ繊維の製紙適性に関するトピックス」 OKAYAMA, Takayuki 岡山 隆之 (東京農工大学農学研究科・教授)		<b>Lecture8</b> Notable functions of Branched-Chain Amino Acids as a biological regulator 「生体調節因子として新たに注目される分岐鎖アミノ酸」 YOSHIZAWA, Fumiaki 吉澤 史昭 (宇都宮大学農学部・教授)		
11月15日 (金)	遠隔講義システムの立ち上げ	連絡事項等	<b>Lecture9</b> Taxonomy and Biodiversity 「分類学と生物多様性」 YOSHITOMI, Hiroyuki 吉富 博之 (愛媛大学農学部・准教授)		<b>Lecture10</b> Models toward sustainable coastal fisheries development and management in developing countries 「開発途上国における沿岸漁業開発・管理の持続性に関するモデル」 MATSUOKA, Tatsuro 松岡 達郎 (鹿児島大学水産学研究科・教授)		<b>Lecture11</b> Molecular biology of symbiosis between higher plants and soil microbes ( <i>Rhizobium</i> and <i>Mycorrhiza</i> ) 「土壌微生物(ミコリザ及び根粒菌)と高等植物が行う共生の分子生物学」 TAJIMA, Shigeyuki 田島 茂行 (香川大学農学部・非常勤客員教授)		<b>Lecture12</b> Photosynthetic performance and biomass utilization in tropics. 「熱帯における植物の光合成特性とバイオマス利用に関する研究」 KAWAMITSU, Yoshinobu 川満 芳信 (琉球大学農学部・教授)		

### (3) 平成25年度各専攻特論 開講表

開講日	時間	番号	講義題目及び講師名		備考
7月30日 (火)	9:25-9:30			「研究科長挨拶」	
	9:30 ～ 11:45	Lecture 1-1	生物生産科学特論II	Advanced Bioproduction Science II 「Consumer demand analysis」 (消費者需要分析) 松田 敏信 Toshinobu MATSUDA (鳥取大学)	各135分 英語 English
	12:45 ～ 15:00	Lecture 1-2		「Unsustainable issues on soil fertility」 (今の未解決の土壌肥沃度に関する諸問題) 松本 真悟 Shingo MATSUMOTO (鳥根大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 1-3		「Wood Variation - its manner and evaluation」 (木材材質の変動とその評価方法) 藤本 高明 Takaaki FUJIMOTO (鳥取大学)	
7月31日 (水)	9:30 ～ 11:45	Lecture 2-1	生物環境科学特論I	Advanced Bioenvironmental Science I 「雨水利用と屋上緑化」 (Rainwater use and rooftop vegetation) 喜多 威知郎 Ichiro KITA (鳥根大学)	各135分 日本語 Japanese
	12:45 ～ 15:00	Lecture 2-2		「中海における自然再生と宍道湖における突発的な水草の分布拡大について」 (Nature restoration in Lake Nakaumi and the spontaneous expansion of growth area in aquatic macrophytes in Lake Shinji) 國井 秀伸 Hidenobu KUNII (鳥根大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 2-3		「分子レベルからみた植物と病原糸状菌の相互作用」 (Molecular basis of plant-fungal pathogen interactions) 児玉 基一朗 Motoichiro KODAMA (鳥取大学)	
8月1日 (木)	9:30 ～ 11:45	Lecture 3-1	生物資源科学特論II	Advanced Biosources Science II 「Development of diagnostic tools against pathogenic bacteria: Utilization of cell surface carbohydrates recognized by human antibodies」 (病原性細菌の診断ツールの開発: ヒト抗体が認識する表層糖鎖の活用) 山崎 良平 Ryouhei YAMASAKI (鳥取大学)	各135分 英語 English
	12:45 ～ 15:00	Lecture 3-2		「Function of coenzyme Q(ubiquinone) and characteristics of polyprenyl diphosphate synthases」 (コエンザイムQ(ユビキノン)の機能とポリプレニルニリン酸合成酵素の特徴について) 戒能 智宏 Tomohiro KAINO (鳥根大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 3-3		「Organic synthesis of glycoconjugates contributes for elucidation of biological functions.」 (複合糖質の機能解明に向けた有機合成化学の貢献) 一柳 剛 Tsuyoshi ICHIYANAGI (鳥取大学)	
8月2日 (金)	9:30 ～ 11:45	Lecture 4-1	国際乾燥地科学特論I	Advanced Global Arid Land Science I 「良い灌漑とは何か?」 (What is appropriate irrigation?) 清水 克之 Katsuyuki SHIMIZU (鳥取大学)	各135分 日本語 Japanese
	12:45 ～ 15:00	Lecture 4-2		「乾燥地の植生」 (Vegetation in Drylands) 山中 典和 Norikazu YAMANAKA (鳥取大学)	
	15:00 ～ 17:15	Lecture 4-3		「乾燥地の土壌と農業」 (Soils and Agriculture in Drylands) 増永 二之 Tsuyiyuki MASUNAGA (鳥根大学)	

場 所 鳥取大学農学部1号館1F 連大セミナー室  
鳥根大学生物資源科学部2号館6F 視聴覚室  
山口大学農学部4F 第1講義室

(4) 平成25年度 鳥取大学大学院連合農学研究科「科学コミュニケーション」日程表  
 Schedule of the "Academic Communication of Science" 2013

場所：中国・四国地区国立大学大山共同研修所

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1 s t d a y	10月10日 (木)															
	10.Oct. (Thr)						バス申込者は 13:10までに 米子駅前 だんだん広場 に集合 Bus service user: by 13:10 @dang-dang hiroba Square (Yonago Station)	開講式 Opening Ceremony 受付 Registration	特別講義 特別講師 早川 洋一氏 (佐賀大学・農学部 教授) Dr. Yoichi Hayakawa (Prof. Saga Univ.) "Effects of stressors on insect immune system (昆虫免疫系へのストレ スの影響)"	特別講義 特別講師 許 東河氏 (独立行政法人国際農林水産業 研究センター・主任研究員) Dr.Donghe Xu (Senior Researcher, JIRCAS) アジアダイズ遺伝多様性の多様性 とその育種への利用に関する研 究 Genetic diversity in Asian soybean germplasm and its application to soybean improvement		懇親会 Party		ポスター コアタイム② Poster Presentation ②	消灯 Extin ction	
2 n d d a y	10月11日 (金)															
	11.Oct. (Fri)	起床 Wake -up	朝食 Break fast	★	ポスター コアタイム① Poster Presentation ①	Advanced Career Development 「自分の選んだ 道を正解にし た?！」 To lead a Life Effectively	アワード配 入 賞状授 賞 Question are が の 授 賞 Award for the beautiful poster	片付 清掃 Cleaning up	解散 Dismiss バス申込者を 米子駅まで 送迎 Bus service user: to Yonago Station							

★記念撮影(8:45 玄関前集合・雨天時は第1研修室)

Photograph : @entrance by 8:45 (if it rains @Seminar Room No.1)

## 平成25年度 鳥取大学大学院連合農学研究科「科学コミュニケーション」補講日程表

場所: 各構成大学の多地点制御遠隔講義システム設置場所  
 鳥取大学農学部1号館1階 連大セミナー室  
 島根大学生物資源科学部2号館6階 視聴覚室  
 山口大学農学部4階 第1講義室

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1月9日 (木)  9.Jan. (Thr)		開講式 Opening Ceremony	受付 Registration	口頭発表 進行 Oral Presentation 芳賀 弘和(鳥取大学) Hirokazu Haga (Tottori Univ.)  古田 賢次郎(島根大学) Kenjiro Furuta (Shimane Univ.)	口頭発表 進行 Oral Presentation 芳賀 弘和(鳥取大学) Hirokazu Haga (Tottori Univ.)  古田 賢次郎(島根大学) Kenjiro Furuta (Shimane Univ.)	昼食 休憩	口頭発表 進行 Oral Presentation 芳賀 弘和(鳥取大学) Hirokazu Haga (Tottori Univ.)  古田 賢次郎(島根大学) Kenjiro Furuta (Shimane Univ.)		閉講式 Closing Ceremony		

## 第2部 教員の研究活動

## 第2部 教員の研究活動

### 第1章 公表論文

#### (1) 生物生産科学専攻

##### 1) 農業生産学連合講座

#### 【鳥取大学】

##### 著書

- 1) 田村文男：最新農業技術果樹 vol.6 (ISBN: 978-4-540-13067-0 C3361) . 農山漁村文化協会, 東京, pp.273-276 (2013年6月)
- 2) 山口武視：その他雑穀. 作物学 (今井 勝・平沢 正編), 文永堂出版, 東京, pp.80-81 (2013年11月)

##### 論文

- 1) Fujita, D., Trijatmiko, K. R., Tagle, A. G., Sapasap, N. V., Koide, Y., Sasaki, K., Tsakirpaloglou, N., Gannaban, R. B., Nishimura, T., Yanagihara, S., Fukuta, Y., Koshiba, T., Slamet-Loedin, I. H., Ishimaru, T., Kobayashia, N.: *NAL1* allele from a rice landrace greatly increases yield in modern *indica* cultivars. *PNAS*, **110**(51): 20431–20436. (June, 2013)
- 2) Koide, Y., Telebanco-Yanoria, M. J., Fukuta, Y., Kobayashi, N.: Detection of novel blast resistance genes, *Pi58(t)* and *Pi59(t)*, in a Myanmar rice landrace based on a standard differential system. *Mol. Breeding*, **32**: 241–252, DOI 10.1007/s11032-013-9865-5 (Apr., 2013)
- 3) Koide, Y., Tabaka, J., Rose, T., Fukuo, A., Konisho, K., Yanagihara, S., Fukuta, Y., Wissuwa, M.: QTLs for phosphorus deficiency tolerance detected in upland NERICA varieties. *Plant Breeding*, **132**: 259–265 doi:10.1111/pbr.12052 (June., 2013)
- 4) Nashima, K., Takahashi, H., Nakazono, M., Shimidzu, T., Nishitani, C., Yamamoto, T., Itai, A., Isuzugawa, K., Hanada, T., Takashina, T., Kato, M., Oikawa, A., Shiratake, K.: Transcriptome analysis of giant pear fruit with fruitspecific DNA reduplication on a mutant branch. *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science*, **82**: 301-311 (Nov., 2013)
- 5) Nashima, K., Shimidzu, T., Nishitani, C., Yamamoto, T., Takahashi, H., Nakazono, M., Itai, A., Isuzugawa, K., Hanada, T., Takashina, T., Matsumoto, S., Otagak, S., Oikawa, A., Shiratake, K.: Microarray analysis of gene expression patterns during fruit development in European pear (*Pyrus communis*). *Scientia Horticulturae*, **164**: 466-473 (Dec., 2013)

#### 【島根大学】

##### 著書

- 1) 小林和広：アズキ，ササゲ. 作物学 (今井 勝・平沢 正編, ISBN: 978-4-8300-4126-6) . 文永堂出版, 東京, pp.99-102 (2013年11月)
- 2) 浅尾俊樹：メロンの低カリウム化とその事業化. 植物工場経営の重要課題と対策～経営戦略・設備管理・栽培技術・高付加価値化・マーケティング～ (高辻正基・古在豊樹監修, ISBN: 978-4-86502-053-3. (株)情報機構, 東京, pp.307-314 (2014年3月)

## 論文

- 1) Asaduzzaman, Md., Mondal, F., Ban, T. and Asao, T.: Selection of ideal succeeding crops after asparagus, taro and beans replanting field in seedling growth bioassay. *Allelopathy Journal*, **32**: 1-22 (July, 2013)
- 2) Asaduzzaman, Md., Kobayashi, Y., Mondal, F., Ban, T., Matsubara, H., Adachi, F. and Asao, T.: Growing carrots hydroponically using perlite substrates. *Scientia Horticulturae*, **159**: 113-121 (June, 2013)
- 3) Asao, T., Asaduzzaman, Md., Mondal, F., Tokura, M., Adachi, F., Ueno, M., Kawaguchi, M., Yano, S. and Ban, T.: Impact of reduced potassium nitrate concentrations in nutrient solution on the growth, yield and fruit quality of melon in hydroponics. *Scientia Horticulturae*, **164**: 221-231 (Dec., 2013)
- 4) 伴 琢也・串崎可奈恵・足立文彦・石橋美保子・武田久男・小林伸雄・浅尾俊樹: 籾殻を利用したブルーベリーの挿し木繁殖培養土の開発. *園芸学研究*, **12**: 131-134 (2013年4月)
- 5) Cheon, K.S., Nakatsuka, A., Tasaki, K. and Kobayashi, N.: Expression pattern of several flowering-related genes during flower bud formation in *Rhododendron × pulchrum* 'Oomurasaki'. *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science*, **82**: 263-269 (July, 2013)
- 6) Kobayashi, N., Matsunaga, M., Nakatsuka, A., Mizuta, D., Shigyo, M. and Akabane, M.: Chimeric inheritance of organelle DNA in variegated leaf seedlings from inter-subgeneric crossing of azalea. *Euphytica*, **191**: 121-128 (May, 2013)
- 7) Kobayashi, N.: Evaluation and application of evergreen azalea resources of Japan. *Acta Horticulturae*, **990**: 213-219. (May, 2013)
- 8) 加藤一幾・佐藤和成・金澤俊成・庄野浩資・小林伸雄・立澤文見: ダイコン類 (*Raphanus sativus* L.) における根色とアントシアニン. *園芸学研究*, **12**: 229-234 (2013年7月)
- 9) Mondal, F., Asaduzzaman, Md., Kobayashi, Y., Ban, T. and Asao, T.: Recovery from autotoxicity in strawberry by supplementation of amino acids. *Scientia Horticulturae*, **164**: 137-144 (Dec., 2013)
- 10) Miyajima, I., Takemura, C., Kobayashi, N., Soto, M.S. and G, Facciuto.: Flower bud initiation and development of *Jacaranda mimosifolia* (Bignoniaceae) in Japan. *Acta Horticulturae*, **1000**: 71-76 (July, 2013)
- 11) Sugiyama, M., Katsube, T., Koyama, A. and Itamura, H.: Varietal Differences in the Flavonol Content of Mulberry (*Morus spp.*) Leaves and Genetic Analysis of Quercetin 3-(6-malonylglucoside) for Component Breeding. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 9140-9147 (Oct., 2013)
- 12) Tasaki, K., Nakatsuka, A., Cheon, K.S. and Kobayashi, N.: Expression of MADS-box genes in narrow-petaled cultivars of *Rhododendron macrosepalum* Maxim. *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science*, **83**: 52-58 (Jan., 2014)

## その他

- 1) 浅尾俊樹: キュウリ等, 野菜の自家中毒と品種間差異. *ハイドロポニックス*, **27**: 8-9 (2013年9月)
- 2) 小林伸雄: 「世界に誇る日本のツツジ」本邦の野生種から発達した多様な園芸品種. (財)京都園芸倶楽部, *園芸春秋*, **557**: 2 (2014年1月)
- 3) 小林伸雄: 「出雲おろち大根」の成分評価と新加工食品成果報告書. 平成25年度農林水産省新需要創造フロンティア育成事業, pp. 76 (2014年3月)
- 4) Nakatsuka, A., Itamura, H., Yano, K., Abe, R., Someya, T. and Nakagawa, T.: Analysis of Expressed Sequence Tags from Rapidly Softened Pulp of Persimmon (*Diospyros kaki* Thunb.). *Acta Horticulturae* **996**: 111-116 (July, 2013)
- 5) 谷野 章・青柳里果・浅尾俊樹: LED 光源を用いた植物の二次代謝物質合成制御光スペクトルの探究.

## 【山口大学】

### 著 書

- 1) 山本晴彦: 農作物の光害. 光害の現状と新しい LED 照明による防止対策 (山本晴彦編, ISBN: 978-4-89732-281-0). 農林統計出版, 東京, pp. 134 (2013 年 9 月)
- 2) 山本晴彦: 植物工場. 現状と課題 (山本晴彦編, ISBN: 978-4-89732-283-4). 農林統計出版, 東京, pp. 194 (2013 年 12 月)
- 3) 山本晴彦: 帝国日本の気象観測ネットワーク. 満洲・関東州 (ISBN: 978-4-89732-284-1). 農林統計出版, 東京, pp. 30 (2014 年 1 月)
- 4) 山本晴彦: 平成の風水害. 地域防災力の向上を目指して (ISBN: 978-4-89732-286-5). 農林統計出版, 東京, pp. 552 (2014 年 2 月)

### 論 文

- 1) 鎌田英一郎・高橋 肇・金岡夏美・荒木英樹・丹野研一: 山口県での早播栽培による秋季の生育初期における温度が秋播性程度の異なるコムギ 3 品種の二重隆起期と頂端小穂分化期に及ぼす影響. 日本作物学会紀事, 82: 150-155 (2013 年 4 月)
- 2) 鎌田英一郎・池尻明彦・高橋 肇・前岡庸介・内山亜希・金子和彦・中司祐典・金岡夏美・荒木英樹・丹野研一: 裸麦品種トヨノカゼの収量および登熟生理に及ぼす穂肥窒素の影響. 日本作物学会紀事, 83: 1-8 (2014 年 1 月)
- 3) Kammappana, L., Buanong, M., Techavuthipom, C., Jitareerat, P., Wongs-Aree, C., Yamauchi, N. and Srilaong, V.: SEM studies on the morphology of 'white pulp' dragon fruit. *Acta Horticulturae*, 989: 85-90 (May, 2013)
- 4) 金子奈々恵・山本晴彦・岩谷 潔 他: 白色 LED 照明の暗期照射がイネ品種「コシヒカリ」の開花誘導遺伝子 Hd3a 発現に及ぼす影響. 照明学会誌, 97(5): 263-268 (2013 年 5 月)
- 5) Kobayashi, N., Matsunaga, M., Nakatsuka, A., Mizuta, D., Shigyo, M. and Akabane, M.: Chimeric inheritance of organelle DNA in variegated leaf seedlings from inter-subgeneric crossing of azalea. *Euphytica*, 191: 121-128 (Apr., 2013)
- 6) 小林 茂・山本晴彦: 東アジアにおける戦中記の気象観測体制の展開とその間の未集成観測データの探索. 歴史地理学, 55(5): 82-98 (2013 年 12 月)
- 7) 原田陽子・金子奈々恵・山本晴彦 他: LED 照明の夜間照射がイネ品種「ヒノヒカリ」の出穂および収量に及ぼす影響. 照明学会誌, 98(2): 74-78 (2014 年 2 月)
- 8) 原田陽子・山本晴彦・岩谷 潔 他: イネ光害回避型照明の視認性評価. 照明学会誌, 97(8A): 436-441 (2013 年 8 月)
- 9) 原田陽子・山本晴彦・岩谷 潔 他: 発光制御を行った混合 LED 夜間照射がイネ出穂に及ぼす影響. 照明学会誌, 97(8A): 442-446 (2013 年 8 月)
- 10) 平山耕三・糸原義人・山本晴彦: TPP 参加と黒毛和種肥育経営の技術対応について. 長崎県を事例として, 農業経営研究, 51(2): 55-60 (2013 年 9 月)
- 11) Sekiya, N. and Araki H.: Responses of root hydraulic properties and transpirational factors to a top soil drying in *Cajanus cajan* and *Sesbania sesban*. *American Journal of Plant Science*, 4: 38-46 (Dec., 2013)
- 12) Srilaong, V., Soontornwat, A., Aiamla-or, S. and Yamauchi, N.: The effect of temperature on the quality of Japanese

bunching onion (*Allium fistulosum* L. 'Kujyo'). Acta Horticulturae, **1011**: 119-124 (Nov., 2013)

- 13) Takayama, N., Kawamura, K., Yamamoto, H., Nobori, S., Tominaga, Y.: Quantitative assessment of plant water consumption in the summer after creating a green curtain by using ivy morning glory on a south-facing wall. Journal of Agricultural Meteorology, **70** 55-67 (Aug., 2013)
- 14) Teshima, Y., Ikeda, T., Imada, K., Sasaki, K., El-Sayed, M.A., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Identification and biological activity of antifungal saponins from shallot (*Allium cepa* L. Aggregatum Group). Journal of Agricultural and Food Chemistry, **61**: 7440-7445 (July, 2013)
- 15) Vu, Q.H., Tran, T.M.H., Yaguchi, S., Ono, Y., Pham, T.M.P., Yamauchi N. and Shigyo, M.: Assessment of biochemical and antioxidant diversities in a shallot germplasm collection from Vietnam and its surrounding countries. Genetic Resources and Crop Evolution, **60**: 1297-1312 (Apr., 2013)
- 16) Yaguchi, S., Matsumoto, M., Date, R., Harada, K., Maeda, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Biochemical analyses of the antioxidative activity and chemical ingredients in eight different *Allium* alien monosomic addition lines. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, **77**: 2486-2488 (Dec., 2013)
- 17) 山本晴彦・小林北斗・山本実則 他：2013 年台風 26 号により伊豆大島で発生した豪雨と土砂災害の特徴. 自然災害科学, **32**(4): 337-351 (2014 年 2 月)
- 18) 山本晴彦・山崎俊成・山本実則 他：2012 年 5 月 6 日に茨城県つくば市で発生した竜巻災害. 自然災害科学, **32**(1): 45-59 (2013 年 5 月)
- 19) 山本晴彦・山崎俊成・山本実則 他：2012 年 7 月に大分県北部で発生した豪雨と洪水災害の特徴. 自然災害科学, **32**(3): 233-248 (2013 年 11 月)

#### その他

- 1) Harada, K., Wada, R., Yaguchi, S., Maeda, T., Date, R., Tokunaga, T., Kazumura, K., Shimada, K., Matsumoto, M., Wako, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Increase of antioxidant activity in vitro of fish jelly paste, Kamaboko, containing Japanese bunching onion (*Allium fistulosum* L.) with a single alien chromosome from shallot. Biomedical Reports, **1**: 355-358 (May, 2013)

## 2) 森林資源学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) 日置佳之：自然再生. 第 2 章 自然再生の方法論, 第 11 章 湧水地. 自然再生の手引き (亀山 章・倉本 宣・日置佳之編, ISBN: 978-4-931085-52-7 C3061) . 一般財団法人日本緑化センター, 東京, pp.7-26, pp.187-197 (2013 年 10 月)

#### 論 文

- 1) Durina, Nagasawa, R. and Boonrak, P.: Urbanization and its Influences on the Suburban landscape Changes in Bangkok Metropolitan Region, Thailand. システム農学会 (J.JASS), **29**(2): 29-39 (2013 年 4 月)
- 2) 都日娜, 長澤良太: 景観指数を用いた上海市における都市緑地の時空間ダイナミクスに関する研究. 環境情報科学学術研究論文集, **27**: 181-186 (2013 年 11 月)
- 3) Fujimoto, T., Kawakami, K., Aimi, H., Shimizu, J., Hasegawa, K., Kobori, H., Tsuchikawa, S.: Prediction of dry veneer stiffness using near infrared spectra from transverse section of green log. Journal of Wood Science, **59**: 383-388 (Aug., 2013)

- 4) Huong, D.T.V., Tsutsui, K., Nagasawa, R.: Assessing Community Resilience to Flood Disasters in Rural District of Da Nang city, Vietnam. *Journal of Rural Planning*, **33**(1): 64-73 (June, 2014)
- 5) Huong, D.T.V., Nagasawa, R.: Potential flood hazard assessment by integration of ALOS PALSAR and ASTER GDEM: a case study for the Hoa Chau commune, Hoa Vang district, in central Vietnam. *Journal of Applied Remote Sensing (JARS)*, **8**(1), 083626 (1-12). DOI: 10.1117/1.JRS.8.083626 (May, 2014)
- 6) 中橋文夫・糸谷正俊・日置佳之・新名阿津子・杉山真魚：山陰海岸ジオパークマネジメントプランの検討と方向性. *鳥取環境大学紀要*, **12**: 33-52 (2014年3月)
- 7) 千布拓生・日置佳之：大山隠岐国立公園奥大山地区を事例とした自然公園の生物多様性保全に資する植生データベースの構築. *景観生態学*, **18**(2): 89-108 (2013年12月)
- 8) Uozumi, Y., Yamada, S., Masunaga, T., Hioki, Y. and Fujiyama, H.: Effects of N, P and K levels in the medium on growth and N metabolisms in *Carex foliosissima* and *Polygonum cuspidatum*. *日本砂丘学会誌*, **60**(3): 97-114 (2014年3月)

#### その他

- 1) Huong D.T.V., Nagasawa R.: Flood risk assessment and mapping using Remote sensing and GIS: A case study at Hoa Chau Commune, Hoa Vang District in Central of Viet Nam. *Proceeding of the 34<sup>th</sup> Asian Conference on Remote sensing Indonesian Remote Sensing Society and Asian Association on Remote Sensing*, SC05: 13- 8 (Oct., 2013)
- 2) 山川博美・日置佳之・鎌田麻人・伊藤 哲：特集「人工林景観における自然林化計画論」の企画にあたって. *景観生態学*, **18**(2): 79-81 (2013年12月)

#### 【島根大学】

##### 著 書

- 1) 久保満佐子：3講 構造—森林はどのように成り立っているのか—. 教養としての森林学 (井出雄二・大河内 勇・井上 真編, ISBN: 978-4-8300-4127-3). 文永堂出版, 東京, pp.23-29 (2014年2月)

##### 論 文

- 1) 久保満佐子・松江正彦・飯塚康雄：森林表土を利用した緑化のり面に成立する植生と気候要因の関係. *日本緑化工学会誌*, **38**(4): 425-438 (2013年5月)
- 2) 崎尾 均・久保満佐子・川西基博・比嘉基紀：秩父山地におけるニホンジカの採食が林床植生に与える影響. *日本緑化工学会誌*, **39**(2): 226-231 (2013年11月)

#### その他

- 1) 大貫真樹子・久保満佐子・飯塚康雄・栗原正夫：切土のり面におけるイタチハギ (*Amorpha fruticosa* L.) の選択的伐採による駆除処理の効果. *日本緑化工学会誌*, **39**(1): 198-201 (2013年8月)
- 2) 山下多聞：島根大学演習林は小粒でピリリと. . . ? *Green Age*, **477**: 40-43 (2013年9月)

### 3) 経済・経営学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) 古塚秀夫：第22章大山乳業農協による酪農振興と地域活性化への道。「農」の付加価値を高める六次産業化の実践（高橋信正編著，ISBN: 978-4-8119-0430-6）．筑波書房，東京，pp.225-234（2013年12月）

#### 論 文

- 1) Asres, E., Nohmi, M., Yasunobu, K., Ishida A. and Arega, D.A.: The effect of agricultural extension service on the technical efficiency of teff (*Eragrostis tef*) producers in Ethiopia. *American Journal of Applied Sciences*, **11**(2): 223-239 (Jan., 2014)
- 2) Asres, E., Nohmi, M., Yasunobu, K. and Ishida A.: Effect of agricultural extension program on smallholders' farm productivity: evidence from three peasant associations in the highlands of Ethiopia. *Journal of Agricultural Science*, **5**(8): 163–181 (June, 2013)
- 3) 万 里：国内飼料価格と国際市場価格変動との関連性分析，*農林業問題研究*，**49**(1)，pp.183-187（2013年6月）
- 4) Boubacar, S.B., Kobayashi, H., Nohmi, M., Ishida, Akira., Matsumura, I., Mohamed, E. and Emmanuel, T.: Socio-economic analysis of small-scale salt production technique in the coastal area of Guinea: as an alternative for improving livelihood status and sustainable mangrove forest management. *International Journal of Research in Engineering, IT and Social Sciences*, **3**(9), 1-23 (Sep., 2013)
- 5) Boubacar, S.B., Kobayashi, H., Matsumura, I., Nohmi, M., Mohamed, E. and Emmanuel, T.: Present Status and Determinants of Mangrove Rice Production in Dubreca prefecture in Guinea. *農業経営研究*，**51**(3), 97-102（2013年12月）
- 6) Elias A., Nohmi M., Yasunobu K. and Ishida A.: Effect of agricultural extension program on smallholders' farm productivity – Evidence from three peasant associations in the highlands of Ethiopia –. *Journal of Agricultural Science*, **5**: 163-181（2013年7月）
- 7) Elias A., Nohmi M., Yasunobu K., Ishida A., and Alene A.D.: The effect of agricultural extension service on the technical efficiency of teff (*eragrostis tef*) production in Ethiopia. *American Journal of Applied Sciences*, **11**: 223-239（2014年3月）
- 8) 藤井吉隆・南石晃明・小林 一・小嶋俊彦：大規模水田作経営における作業計画に関わる熟練ノウハウの内容と特徴－滋賀県の雇用型法人経営を対象にした事例分析－ *農業情報研究*，**22**(3), 142-158（2013年10月）
- 9) 福山 豊・小林 一・糸原義人・松村一善：農産物直売所の主力商品における出荷会員の組織化－小規模出荷会員地域を対象として－，*農業生産技術管理学会誌*，**22**(3), 45-52（2013年9月）
- 10) 福山 豊・小林 一・松村一善：農産物直売所における新規顧客のリピータへの育成－T県における新規の観光立地直売所を対象として－，*農林業問題研究*，**49**(2), 374-380（2013年9月）
- 11) Jian, Ma., Alias, A. and Kobayashi, H.: A Study on the Present Status and Issues of Organic Paddy Rice Expansion in Northeast Semi-arid Region of China: The Case Study of T Farm, Baicheng City, Jirin Province, *International Journal of East Studies*, **2**(1), 45-49 (Nov., 2013)
- 12) 韓 美英・古塚秀夫：自計式農家経済の資金管理機能に関する研究，*農林業問題研究*，**49**(1): 213-218（2013年6月）
- 13) Nyatanga, P. and Matsuda, T.: Cigarette demand in Japanese single and family households: an Engel-curve approach.

Agribusiness: An International Journal, **29**: 162-171 (Apr., 2013)

- 14) 松田敏信：非定常時系列データによる国産・輸入肉類需要の計量分析．農業生産技術管理学会誌, **20**: 127-138 (2014年3月)
- 15) 劉 美郎・安延久美：ベトナムにおける主要援助国のODAに関する認識の考察－韓国ODAのレピュテーションを中心として－．開発学研究, **24**: 72-80 (2014年3月)
- 16) 周雪王京・能美 誠：中国農業者の老後居住地選択意向とその要因に関する考察－中国内モンゴバ彥淖尔市の農村地域を事例として－．農林業問題研究, **49**(1): 106-112 (2013年6月)

## 【島根大学】

### 著 書

- 1) 福原圧史・井上憲一：村ぐるみの有機農業－島根県吉賀町－．地域自給のネットワーク（井口隆史・榊瀧俊子編, ISBN:978-4-86187-106-1）．コモンズ, 東京, pp. 156-173. (2013年8月)
- 2) 伊藤康宏：沿岸漁業のコモンズと浦・漁業組合．日本のコモンズ思想（秋道智彌編, ISBN: 978-4-00-025972-9）．岩波書店, 東京, pp. 153-175 (2014年3月)
- 3) 井上憲一・山岸主門：生産者と消費者による学習・交流組織の形成と展開．地域自給のネットワーク（井口隆史・榊瀧俊子編, ISBN: 978-4-86187-106-1）．コモンズ, 東京, pp. 200-219 (2013年8月)
- 4) 山岸主門・井上憲一：大学開放事業から生まれた生産者と消費者の連携．地域自給のネットワーク（井口隆史・榊瀧俊子編, ISBN: 978-4-86187-106-1）．コモンズ, 東京, pp. 220-238 (2013年8月)

### 論 文

- 1) 伊藤康宏：近代島根県の漁業政策と漁業組合．歴史評論, **764**: 49-65 (2013年12月)
- 2) 井上憲一・山岸主門：生産者と消費者による学習組織運営の特徴－島根県出雲地方S会を事例に－．農林業問題研究, **49**(1): 53-58 (2013年6月)
- 3) 倉岡孝賢・井上憲一：集落営農法人における常雇従業員と構成員出役者の労務管理の特徴－広島県O法人を事例として－．農林業問題研究, **49**(1): 194-200 (2013年6月)

### その他

- 1) 伊藤康宏・前瀧光弘・玉置泰司・佐久間美明・増崎勝敏・河原典史：琵琶湖における「漁業環境」の再考－コメントにかえて－．地域漁業研究, **53**(3): 95-114 (2013年8月)
- 2) 井上憲一：「農商公」連携による米輸出の実際．農業と経済, **79**(9): 16-22 (2013年10月)
- 3) 森 佳子：安定融資への2つの課題．月刊金融ジャーナル, 2014年1月号, 72-73 (2014年1月)

## (2) 生物環境科学専攻

### 1) 生産環境工学連合講座

## 【鳥取大学】

### 著 書

- 1) 猪迫耕二：水資源の枯渇を軽減し水利用効率を高める[点滴灌漑]．乾燥地を救う知恵と技術（鳥取大学乾燥地研究センター監修, ISBN: 978-4-624-08753-4C3045）．丸善出版, 東京, pp. 52-53 (2014年3月)

## 論文

- 1) 兵頭正浩・林 尚希・篠原芳宝・緒方英彦：鳥取県東伯地区の管水路システムにおける除塵機の機能診断．農業農村工学会誌，**81**(12): 33-36 (2013年12月)
- 2) 兵頭正浩・緒方英彦・佐藤周之・野中資博：練混ぜ水の酸化還元電位がセメントから溶出する六価クロムに及ぼす影響．セメント・コンクリート論文集，**67**: 25-30 (2014年3月)
- 3) 猪迫耕二・廣田智子・大津裕章・齊藤忠臣：焼成した造粒凝灰岩風化土のリン酸吸着特性．雨水資源化システム学会，**20**: 37-41 (2014年)
- 4) 緒方英彦・兵頭正浩・中田智成・坂本康文：土砂系農道舗装の路面管理指標への車両振動特性の適用．舗装，**48**(6): 9-13 (2013年6月)
- 5) 緒方英彦・坂本康文・竹内 康：農道の設計および機能保全における自動車荷重の一考察．農業農村工学会誌，**82**(2): 27-31 (2014年2月)
- 6) Saito, T., Fujimaki, H., Yasuda, H., Inosako, K. and Inoue, M.: Calibration of temperature effect on dielectric probes using time series field data. Vadose Zone Journal, **12**: doi:10.2136/vzj2012.0184 (May, 2013)
- 7) 坂田 昇・橋本 学・菅俣 匠・緒方英彦：中庸熟フライアッシュセメントを用いたコンクリートの耐凍害性に関する研究．コンクリート工学年次論文集，**35**: 895-900 (2013年7月)
- 8) 周藤将司・緒方英彦・石神暁郎・佐藤 智：凍害劣化した RC 開水路におけるひび割れ注入工法による内部変状の評価．コンクリート工学年次論文集，**35**: 919-924 (2013年7月)
- 9) 山岸俊太郎・鈴木哲也・緒方英彦・周藤将司：凍害損傷したコンクリートの圧縮強度特性評価に関する研究．コンクリート工学年次論文集，**35**: 385-390 (2013年7月)

## その他

- 1) Suto, M., Ogata, H., Hyodo, M., Ishigami, A., Sato, S., Kaneta, T. and Takata, R.: Difference of Electromagnetic Wave Rader Reflection Image Due to Presence of Absence of Internal Deformation in RC Open Channel. Proceedings of the 23th International Offshore (Ocean) and Polar Engineering, Anchorage, Alaska, USA, 1235-1240 (June, 2013),

## 【島根大学】

## 論文

- 1) 加藤 亮・渡邊裕純・Julien Boulange・江口定夫・坂口 敦・宗村広昭：SWAT モデルの水田を含む流域への適用の問題点と改善に向けて．農業農村工学会誌，**81**(12): 983-987 (2013年12月)
- 2) 宮本珠未・川原まどか・森也寸志・宗村広昭・井手淳一郎・高橋絵里奈・米 康光・末継 淳：多周波数電磁探査法による森林の管理が土壌環境に与える影響評価．土壌の物理性，**124**: 17-24 (2013年7月)
- 3) 武田育郎・山根達弘・宗村広昭・佐藤裕和・深田耕太郎：鉄バクテリア集積物による自然水域からのリン回収における木炭の可能性．農業農村工学会論文集，**289**: 55-56 (2014年2月)
- 4) 佐藤裕和・武田育郎・宗村広昭：斐伊川流域における確率濁水流量の経年変動解析．日本雨水資源化システム学会誌，**19**(2): 51-55 (2014年2月)

## その他

- 1) 谷野 章・青柳里果・浅尾俊樹：LED 光源を用いた植物の二次代謝物質合成制御光スペクトルの探究。島根大学生物資源科学部研究報告，**18**: 49-50 (2013 年 9 月)
- 2) 谷野 章：太陽電池を用いた独立電源型温室環境制御の可能性。農業食料工学会関西支部報，**115**: 5-7 (2014 年 2 月)

## 2) 環境科学連合講座

### 【鳥取大学】

#### 著 書

- 1) 会見忠則：13.4.5 形質転換，1.7.1 選抜，1.7.2 交配，1.7.3 遺伝子操作，3.3.5 遺伝子操作。菌類の事典（日本菌学会編，ISBN: 978-4-254-17147-1C3545）。朝倉書店，東京，pp. 229-232, pp. 440-442, pp. 502-503 (2013 年 9 月)
- 2) 前川二郎・早乙女梢：第 3 章第 5 節 木材腐朽性キノコ。微生物の簡易迅速検査法（五十君静信・江崎孝行・高鳥浩介・土戸哲明監修，ISBN: 978-4-924728-69-1）。株式会社テクノシステム，東京，pp. 223-229 (2013 年 11 月)
- 3) Johnson, R.D., Akagi, Y., Fleetwood, D.J., Gardiner, D.M., Kodama, M., Young, C.A., Voisey, C.R.: Fungal toxins of agricultural importance. In *The Mycota* (Edited by Karl Esser et al. (ISBN: 978-3-642-36820-2) Springer-Verlag, Berlin Heidelberg New York, pp. 75-113 (Aug., 2013)
- 4) 児玉基一郎：エンドファイト。菌類の事典（日本菌学会編，ISBN: 978-4-254-17147-1）朝倉書店，東京，pp. 473-477 (2013 年 10 月)
- 5) 中桐 昭：基礎編 I .系統・分類・生活史（序：菌類とは），IV 生態，14. 生息圏，14-2. 水界，人間・社会編 I .資源（序：菌類資源，1.6 菌株保存）。菌類の事典（日本菌学会編，鈴木 彰・岩瀬剛二・中桐 昭統括編集，ISBN: 978-4-254-17147-1）。朝倉書店，東京，pp. 3-4, pp. 288-296, p. 397, pp. 436-439 (2013 年 10 月)
- 6) 霜村典宏：II. 細胞の構造と生長・分化，4，栄養菌糸体の生長と分化，4.1.3. 菌糸の分岐。菌類の事典（日本菌学会編，ISBN: 978-4-254-17147-1）。朝倉書店，東京，pp. 66-67 (2013 年 9 月)
- 7) 霜村典宏：II. 細胞の構造と生長・分化，7，胞子発芽，7. 1. 胞子の微細構造。菌類の事典（日本菌学会編，ISBN: 978-4-254-17147-1）。朝倉書店，東京，pp. 109-110 (2013 年 9 月)
- 8) 霜村典宏：II. 細胞の構造と生長・分化，7，胞子発芽，7.2. 胞子発芽に伴う微細構造の変化と機能。菌類の事典（日本菌学会編，ISBN: 978-4-254-17147-1）。朝倉書店，東京，pp. 111-112 (2013 年 9 月)

#### 論 文

- 1) Chuaseeharonnachai, C., Yamaguchi, K., Sri-Indrasutdhi, V., Somrithipol, S., Okane, I., Nakagiri, A. and Boonyuen, N.: Diversity of aero-aquatic hyphomycetes from six streams in Doi Inthanon and Khao Yai tropical forests, Thailand. *Cryptogamie Mycologie*, **34**: 183-197 (June, 2013)
- 2) Dubouzet, J.G., Matsuda, F., Ishihara, A., Miyagawa, H. and Wakasa, K.: Production of indole alkaloids by metabolic engineering of the tryptophan pathway in rice. *Plant Biotechnology Journal*, **11**: 1103-1111 (Dec., 2013)

- 3) Egusa M, Miwa T, Kaminaka H, Takano Y, Kodama M.: Nonhost resistance of *Arabidopsis thaliana* against *Alternaria alternata* involves both pre- and postinvasive defenses but is collapsed by AAL-toxin in the absence of *LOH2*. *Phytopathology*, **103**: 733-740 (July, 2013)
- 4) Goomaral, A., Undarmaa, J., Matsumoto, T. and Yamato, M.: Effect of plant species on communities of arbuscular mycorrhizal fungi in the Mongolian steppe. *Mycoscience*, **54**: 362-367 (Sep., 2013)
- 5) 春口佐知・中島清美・増田健太・松永洋平・ウィヤダ モンコンタナーラク・金田依子・北村直樹・一柳剛・河野 強・霜村典宏・會見忠則：ツキヨタケ (*Omphalotus guepiniformis*) 由来物質 illudin S の毒性の再検討：抗菌および抗線虫活性. *日本きのこ学会誌*, **21**: 88-91 (Oct., 2013)
- 6) 一柳 剛・増田健太・春口左知・金田依子・霜村典宏・前川二郎・北村直樹・會見忠則：ツキヨタケ (*Omphalotus guepiniformis*) による Illudin S の生産. *日本きのこ学会誌*, **21**: 98-102 (Oct., 2013)
- 7) Kaewgrajang, T., Sangwanit, U., Iwase, K., Kodama, M. and Yamato M.: Effect of ectomycorrhizal fungus *Astraeus odorous* on *Dipterocarpus alatus* seedlings. *Journal of Tropical Forest Science*, **25**: 200-205 (Apr., 2013)
- 8) Kaewgrajang, T., Sangwanit, U., Kodama, M. and Yamato M.: Ectomycorrhizal fungal communities of *Dipterocarpus alatus* seedlings introduced by soil inocula from a natural forest and a plantation. *Journal of Forest Research*, (DOI:10.1007/s10310-013-0408-z3) (June, 2013)
- 9) Kayano, T., Kitamura, N., Miyazaki, S., Ichiyanagi, T., Shimomura, N., Shibuya, I. and Aimi, T.: Gymnopilins, a product of a hallucinogenic mushroom, inhibit the nicotinic acetylcholine receptor. *Toxicon*, **81**: 23-31 (Feb., 2014)
- 10) Kepler, R., Ban, S., Nakagiri, A., Bischoff, J., Hywel-Jones, N., Owensby, C.A. and Spatafora, J.W.: The phylogenetic placement of hypocrealean insect pathogens in the genus *Polycephalomyces*: An application of One Fungus One Name. *Fungal Biology*, **117**: 611-622 (Sep., 2013)
- 11) Kim, C.S., Shirouzu, T., Nakagiri, A., Sotome, K. and Maekawa, N.: *Trichoderma eijii* and *T. pseudolacteum*, two new species from Japan. *Mycological Progress*, **12**: 739-753 (Nov., 2013)
- 12) Mase, K., Ishihama, N., Mori, H., Takahashi, H., Kaminaka, H., Kodama, M. and Yoshioka, H.: Ethylene-responsive AP2/ERF transcription factor MACD1 participates in phytotoxin-triggered programmed cell death. *Molecular Plant-Microbe Interactions*, **26**: 868-879 (Aug., 2013)
- 13) Nishino, S., Parada, R.Y., Ichiyanagi, T., Maekawa, N., Shimomura, N. and Otani, H.: 1-Phenyl-3-pentanone, a volatile compound from the edible mushroom *Mycocleptodonoides aitchisonii* active against some phytopathogenic fungi. *Journal of Phytopathology*, **161**: 515-521 (Aug., 2013)
- 14) Okuda, Y., Murakami, S., Honda, Y. and Matsumoto, T.: An MSH4 homolog, stpp1, from *Pleurotus pulmonarius* is a “silver bullet” for resolving problems caused by spores in cultivated mushrooms. *Applied and Environmental Microbiology*, **79**: 4520-4527 (May, 2013)
- 15) Ota, Y., Hattori, T., Nakamura, H., Terashima, Y., Lee, S.S., Miyuki, Y. and Sotome, K.: Taxonomy and phylogenetic position of *Fomitiporia torreyae*, a causal agent of trunk rot on Sanbu-sugi, a cultivar of Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) in Japan. *Mycologia*, **106**: 66-76 (Jan., 2014)
- 16) Santhaya, B., Wiyada, M., Aimi, T., Sophon, B.: Cellulase and xylanase acting at alkaline pH from mushroom, *Leucoagaricus meleagris* KKU-C1. *Chiang Mai Journal of Science*, **41**: 84-96 (Jan., 2014)
- 17) Shirouzu, T., Hirose, D., Oberwinkler, F., Shimomura, N., Maekawa, N. and Tokumasu, S.: Combined molecular and morphological data for improving phylogenetic hypotheses in Dacrymycetes. *Mycologia*, **105**: 1110-1125. (Sep., 2013)
- 18) Tanaka, K., Ishihara, A. and Nakajima, N.: Isolation of anteiso-C17, iso-C17, iso-C16, and iso-C15 bacillomycin D

from *Bacillus amyloliquefaciens* SD-32 and their antifungal activities against plant pathogens. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **62**: 1469–1476 (Jan., 2014)

- 19) 牛島秀爾・霜村典宏・前川二太郎：特定のヌメリツバタケモドキ菌株間の交雑二核菌糸系統の有用性. 日本きのこ学会誌, **21**: 84-87 (2013年7月)
- 20) Wan, J., Li, Y., Shimomura, N. Yamaguchi, T. and Aimi, T.: Characterization of DNA polymorphisms in *Rhizopogon roseolus* homeodomain protein genes and their utilization for strain identification. *Mycological Progress*, **12**: 353-365 (May, 2013)
- 21) Yoshimura, Y., Ido, A., Matsumoto, T. and Yamato, M.: Communities of arbuscular mycorrhizal fungi in *Pyrus pyrifolia* var. *culta* (Japanese pear) and an understory herbaceous plant *Plantago asiatica*, *Microbes and Environments*, **28**: 204-210 (June, 2013)

#### その他

- 1) 早乙女梢・服部 力：皇居吹上御苑の多孔菌類（担子菌門ハラタケ綱）。国立科学博物館専報, **49**: 179-183 (2014年3月)
- 2) 前田和彦・會見忠則：食品中のきのこの DNA 鑑定に関する研究. 日本きのこ学会ニュースレター, **6**: 14-15 (2013年7月)

#### 【島根大学】

##### 著 書

- 1) 井藤和人：基質資化パターン. 土壤微生物実験法第3版（豊田剛己ら編, ISBN: 978-4-8425-0516-9）. 養賢堂, 東京, pp. 145-147 (June, 2013)
- 2) 木原淳一・宮寄 厚：12.1 無性生殖器官形成. 菌類の事典（日本菌学会編集, ISBN: 978-4-254-17147-1）. 朝倉書店, 東京, pp. 183-187 (2013年10月)

##### 論 文

- 1) Adhikari, D., Itoh, K. and Suyama, K.: Genetic diversity of common bean (*Phaseolus vulgaris* L.) nodulating rhizobia in Nepal. *Plant and Soil*, **368**: 341-353 (July, 2013)
- 2) Arase, S., Kondo, Y., Parada, R.Y., Otani, H., Ueno, M. and Kihara, J.: Suppression of rice blast disease by autoclaved water extract from the spent mushroom substrate of *Lyophyllum decastes*. *Mushroom Science and Biotechnology*, **21**: 79-83 (July, 2013)
- 3) Asao, T., Asaduzzaman, Md., Mondal, F., Tokura, M., Adachi F., Ueno, M., Kawaguchi, M., Yano, S. and Ban, T.: Impact of reduced potassium nitrate concentrations in nutrient solution on the growth, yield and fruit quality of melon in hydroponics. *Scientia Horticulturae*, **164**: 221-231 (Dec., 2013)
- 4) 阿瀬智暢・大友輝雄・野口武志・尾ノ上真人・桑原智之・佐藤利夫：人工透析用水造水の補完技術として用いられている電気再生式脱塩（EDI）法の殺菌・エンドトキシン不活化メカニズムと水解離現象の関係に関する研究. 防菌防黴学会誌, **41**(12): 647-657 (2013年12月)
- 5) Horinouchi, M., Mizuno, N., Jo, Y., Fujita, M., Suzuki, Y., Aranishi, F. and Sano, M.: Habitat preference rather than predation risk determines the distribution patterns of filefish *Rudarius ercodes* in and around seagrass habitats. *Marine Ecology Progress Series*, **488**: 255–266 (Aug., 2013)
- 6) Itoh, K., Kinoshita, M., Morishita, S., Chida, M. and Suyama, K.: Characterization of 2,4-dichlorophenoxyacetic acid and 2,4,5-trichlorophenoxyacetic acid-degrading fungi in Vietnamese soils. *FEMS Microbiology*

Ecology, **84**: 124–132 (Apr., 2013)

- 7) 清川智之・堀 玲子・佐藤利夫：小型水槽を使用したアカマダイの種苗生産. 水産技術, **6**(2): 147-159 (2014年2月)
- 8) 桑原智之・柳井健作・大島久満・佐藤利夫・小野寺嘉郎：金属元素種の異なる三元素系複合含水酸化物を用いた水溶液からのフッ化物イオンの吸着. 無機マテリアル学会誌, **20**: 141-147 (2013年5月)
- 9) Mishiro, T., Kusunoki, R., Otani, A., Ansary, Md.M.U., Tongu, M., Harashima, N., Yamada, T., Sato, S., Amano, Y., Itoh, K., Ishihara, S. and Kinoshita, Y.: Butyric acid attenuates intestinal inflammation in murine experimental colitis models via milk fat globule-EGF factor 8. Laboratory Investigation, **93**: 834-843 (July, 2013)
- 10) Nanjo, K., Kohno, H., Nakamura, Y., Horinouchi, M. and Sano, M.: Differences in fish assemblage structure between vegetated and unvegetated microhabitats in relation to food abundance patterns in a mangrove creek. Fisheries Science, **80**: 21–41 (Jan., 2014)
- 11) 大島久満・丹生晃隆・門脇みとせ・佐藤利夫：地域資源の活用システム構築による新産業の創出と地域活性化プランの提案と実施. 日本海水学会誌, **61**(6): 318-326 (2013年12月)
- 12) 斉藤 直・福間晴美・桑原智之・原 俊雄：宍道湖西部における水環境の水底泥による評価. 土木学会論文集 B2 (海岸工学), **69**(2): I\_1091-I\_1095 (2013年11月)
- 13) Suzuki, Y., Adhikari, D., Itoh, K. and Suyama, K.: Effects of temperature on competition and relative dominance of *Bradyrhizobium japonicum* and *Bradyrhizobium elkanii* in the process of soybean nodulation. Plant and Soil, **374**: 915-924 (Jan., 2014)
- 14) Tanaka, T. and Aranishi, F.: Mitochondrial DNA markers for PCR-based phylogenetic analysis of ark shells. Open Journal of Marine Science, **3**: 182–189 (Oct., 2013)
- 15) Tanaka, T. and Aranishi, F.: Genetic variability and population structure of ark shell in Japan. Open Journal of Marine Science, **4**: 8–17 (Jan., 2014)
- 16) 山口啓子・倉田健悟・園田 武・瀬戸浩二：中海における二枚貝群集の特徴と干拓堤防建設により隔てられた汽水域の変化. 日本ベントス学会誌, **67**(2): 82-95 (2013年5月)
- 17) 横尾俊博・桑原正樹・田中智美・堀之内正博・荒西太士：宍道湖産ワカサギにおける野外集団と放流種苗の遺伝的差異. 水産増殖, **61**: 407–409 (2013年12月)

## 【山口大学】

### 著 書

- 1) 田中秀平：口絵 13 ネコブカビ (ネコブカビ菌門), 1.8.4 ネコブカビ門, 1.3.5 偽菌類の同定-原生生物界 4)ネコブカビ. 菌類の事典 (日本菌学会編, ISBN: 978-4-254-17147-1C3545). 朝倉書店, 東京, p. 6, pp. 38-39, pp. 420-421 (2013年10月)
- 2) Tanaka, S. and Ito, S.: Pathogenic and genetic diversity in *Plasmodiophora brassicae* (clubroot) from Japan. Journal of General Plant Pathology, **79**: 297-306 (Sep., 2013)

### 論 文

- 1) Abdelrahman, M., Sudisha, J., El-Sayed, M., Ito, S., Ikeda, T., Yamauchi, N. and Shigyo, M.: Aginoside saponin, a potent antifungal compound, and secondary metabolite analyses from *Allium nigrum* L. Phytochemistry Letters, **6**: 274-280 (May, 2013)

- 2) Sudisha, J., Abdelrahman, M., Tran, L-S.P. and Ito, S.: Characterization of rhizosphere fungi that mediate resistance in tomato against bacterial wilt disease. *Journal of Experimental Botany*, **64**: 3829-3842 (Aug., 2013)
- 3) Tanaka, S. and Ito, S.: Pathogenic and genetic diversity in *Plasmodiophora brassicae* (clubroot) from Japan. *Journal of General Plant Pathology*, **79**: 297-306 (Sep., 2013)
- 4) Teshima, Y., Ikeda, T., Imada, H., Sasaki K., El-Sayed, M.A., Shigyo, M., Tanaka, S. and Ito, S.: Identification and biological activity antifungal saponins from shallot (*Allium cepae* L. Aggregatum group). *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 7440-7445 (July, 2013)
- 5) Ying-Chun, L., Sato, H., Tanaka, S., Ohnishi, T., Kamata, Y. and Sugita-Konishi, Y.: Characterization of the ribosomal RNA gene of *Kudoa* (Myxosporea: Multivalvulida) in tunas (*Theunnus* spp.) and *Kudoa scomberi* n. sp. in a chub mackerel (*Scomber japonicus*). *Parasitology Research*, **112**: 1991-2003 (May, 2013)
- 6) Yoshida, M., Takematsu, Y., Yoneyama, A. and Nakagawa, M.: Recovery of macrofauna and termite communities in litter and soil following swidden cultivation in Sarawak, Malaysia. *The Raffles Bulletin of Zoology* **61**(2): 767-777 (Aug., 2013)

### (3) 生物資源科学専攻

#### 1) 生物機能科学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 論文

- 1) Arima, J., Isoda, Y., Hatanaka, T. and Mori, N.: Recombinant production and characterization of an N-acyl-D-amino acid amidohydrolase from *Streptomyces* sp. 64E6. *World Journal of Microbiology and Biotechnology*, **29**: 899-906 (May, 2013)
- 2) Arima, J., Tanaka, A., Morimoto, M. and Mori, N.: Mutation of active site serine residue with cysteine displays change in acyl-acceptor preference of  $\beta$ -peptidyl aminopeptidase from *Pseudomonas aeruginosa* PAO1. *Applied Microbiology and Biotechnology*, **98**: 1631-1640 (Feb., 2014)
- 3) Bari, MR., Hassan, M., Akai, N., Arima, J. and Mori, N.: Gene cloning and biochemical characterization of 4-N-trimethylaminobutyraldehyde dehydrogenase II from *Pseudomonas* sp. 13CM. *World Journal of Microbiology and Biotechnology*, **29**: 683-692 (Apr., 2013)
- 4) Egusa, M., Miwa, T., Kaminaka, H., Takano, Y. and Kodama, M.: Nonhost resistance of *Arabidopsis thaliana* against *Alternaria alternata* involves both pre- and post invasive defenses but is collapsed by AAL-toxin in the absence of LOH2. *Phytopathology*, **103**, 733-740 (July, 2013)
- 5) Eltayeb, M.M., Mohamed, A.I.A., Arima, J., and Mori, N.: Identification of residues essential for the activity and substrate affinity of L-carnitine dehydrogenase. *Molecular Biotechnology*, **55**: 268-276 (Nov., 2013)
- 6) Eltayeb, M.M., Arima, J. and Mori, N.: Alanine scanning mutation approach for classification of the roles of conserved residues in the activity and substrate affinity of L-carnitine dehydrogenase. *Biotechnology Letters*, **36**: 309-317 (Feb., 2014)
- 7) Ifuku, S., Ikuta, A., Egusa, M., Kaminaka, H., Izawa, H., Morimoto, M. and Saimoto, H.: Preparation of high-strength and transparent chitosan film reinforced with surface deacetylated chitin nanofibers. *Carbohydrate Polymers*, **98**: 1198-1202 (Oct., 2013)

- 8) Kim, M-H., Sonoda, Y., Sasaki, K., Kaminaka, H. and Imai, R.: Interactome analysis reveals versatile functions of Arabidopsis COLD SHOCK DOMAIN PROTEIN 3 in RNA processing within the nucleus and cytoplasm. *Cell Stress and Chaperones*, **18**: 517-525 (July, 2013)
- 9) Kita, T., Ozoe, F., Azuma, M. and Ozoe, Y.: Differential distribution of glutamate- and GABA-gated chloride channels in the housefly *Musca domestica*. *Journal of Insect Physiology*, **59**: 887-893 (Sep., 2013)
- 10) Mase, K., Ishihama, N., Mori, H., Takahashi, H., Kaminaka, H., Kodama, M. and Yoshioka, H.: Ethylene-responsive AP2/ERF transcription factor MACD1 participates in phytotoxin-triggered programmed cell death. *Molecular Plant-Microbe Interactions*, **26**: 868-879 (Aug., 2013)
- 11) Miyamoto, K., Oka, M., Uheda, E. and Ueda, J.: Changes in metabolism of cell wall polysaccharides in oat leaves during senescence: relevance to the senescence-promoting effect of methyl jasmonate. *Acta Physiologiae Plantarum*, **35**: 2675-2683 (May, 2013)
- 12) Nagae, T., Miyake, S., Kosaki, S. and Azuma, M.: Identification and characterization of a functional aquaporin water channel (*Anomala cuprea* DRIP) in a coleopteran insect. *Journal of Experimental Biology*, **216**: 2564-2572 (July, 2013)
- 13) Ueda, J., Miyamoto, K., Uheda, E., Oka, M., Yano, S., Higashibata, A. and Ishioka, N.: Close relationships between polar auxin transport and graviresponse in plants. *Plant Biology*, **16**: 43-49 (2014)(Oct., 2014)
- 14) Yin, L., Wang, S., Li, J., Tanaka, K. and Oka, M.: Application of silicon improves salt tolerance through ameliorating osmotic and ionic stresses in the seedling of *Sorghum bicolor*. *Acta Physiologiae Plantarum*, **35**: 3099-3107 (July, 2013)

## 【島根大学】

### 著 書

- 1) 秋吉英雄：両生類・爬虫類，サンゴ類. 改訂しまねレッドデータブック 2014 動物編（ホシザキグリーン財団，ISBN: 978-4-9906997-0-3）. 松江，pp. 69-77, pp 257-259（2014年3月）
- 2) Dong, S., Lin, S., Maarten, J., Christenhusz, J.B.: *Lindsaeaceae in Flora of China (Pteridophytes) Vol.2-3* (Edited by Wu, Z., Peter, H.R. and Hong, D., ISBN: 978-1-935641-11-7). Science Press, Beijing, Missouri Botanical Garden Press, St. Louis, pp. 139-146 (2013)
- 3) Fujishima, M. and Kodama, Y.: Insights into the Paramecium-Holospora and Paramecium-Chlorella symbioses. In, *Cilia/flagella and ciliates/flagellates* (Edited by Hausmann, K. and Radek, R., ISBN: 978-3-510-65287-7). Schweizerbart Science Publisher, Stuttgart, pp. 203-227 (Jan., 2014)
- 4) 石川孝博・田茂井政宏・鈴木健吾・重岡 成：ユーグレナによるバイオ燃料生産基盤技術の開発. 藻類オイル開発研究の最前線 (ISBN: 978-4-86469-085-0) . NTS, 東京, pp. 93-105 (2013年11月)
- 5) 松崎 貴：真皮毛根鞘細胞の機能と毛包再生技術. 毛髪再生の最前線 (前田憲寿監修, ISBN: 978-4-7813-0808-1) .シーエムシー出版, 東京, pp. 93-100 (2013年7月)
- 6) 戒能智宏・川向 誠・太田明德・福田良一：産業応用から基礎科学へ. 酵母の生命科学と生物学 (原島俊・高木博史編, ISBN: 978-4-7598-1508-5) . 化学同人, 京都, pp. 199-224 (2013年8月)
- 7) 川向 誠・戒能智宏・太田明德・福田良一：第13章 脂質の代謝. 酵母の生命科学と生物学 (原島俊・高木博史編, ISBN: 978-4-7598-1508-5) . 化学同人, 京都, pp. 199-224 (2013年8月)

### 論 文

- 1) Akiyoshi, Y., Ju, X.L., Furutani, S., Matsuda, K. and Ozoe, Y.: Electrophysiological evidence for 4-isobutyl-3-

isopropylbicyclophosphorothionate as a selective blocker of insect GABA-gated chloride channels. *Bioorganic and Medicinal Chemistry Letters*, **23**: 3373-3376 (June, 2013)

- 2) Arai, M., Matsuzaki, T. and Ihara, S.: Wound Closure on the Neonatal Rat Skin I. The Modulation of the Thickness of Epidermis at the Closing Incisional Wounds. *CellBio*, **2**: 248-256 (Dec., 2013)
- 3) Arai, M., Matsuzaki, T. and Ihara, S.: Wound Closure on the Neonatal Rat Skin II. The Potential Ability of Epidermis to Close Small-Sized Wounds Independently of the Underlying Dermis. *CellBio*, **2**: 257-266 (Dec., 2013)
- 4) Harata, A., Matsuzaki, T., Ozaki, K. and Ihara, S.: The Cell Sorting Process of *Xenopus* Gastrula Cells Progresses in a Stepwise Fashion Involving Concentricity and Polarization. *CellBio*, **2**: 54-63 (June, 2013)
- 5) Kato H., Kira, S. and Kawamukai, M.: The transcription factors Atf and Pcr1 are essential for transcriptional induction of the extracellular maltase Agl1 in fission yeast. *PLoS ONE*, **8**(3): e80572 (Nov., 2013)
- 6) Kishimoto, K., Shimajiri, Y., Oshima, A., Hase, A., Mikami, K. and Akama, K.: Functional expression of an animal type-Na<sup>+</sup>-ATPase gene from a marine red seaweed *Porphyra yezoensis* increases salinity tolerance in rice plants. *Plant Biotechnology*, **30**: 417-422 (Sep., 2013)
- 7) Kita, T., Ozoe, F. and Ozoe, Y.: Expression pattern and function of alternative splice variants of glutamate-gated chloride channel in the housefly *Musca domestica*. *Insect Biochemistry and Molecular Biology*, **45**: 1-10 (Feb., 2014)
- 8) Kita, T., Ozoe, F., Azuma, M. and Ozoe, Y.: Differential distribution of glutamate- and GABA-gated chloride channels in the housefly *Musca domestica*. *Journal of Insect Physiology*, **59**: 887-893 (Sep., 2013)
- 9) Kodama, Y.: Localization of attachment area of the symbiotic *Chlorella variabilis* of the ciliate *Paramecium bursaria* during the algal removal and reinfection. *Symbiosis*, **60**: 25-36 (Mar., 2013)
- 10) Kodama, Y. and Fujishima, M.: Synchronous Induction of Detachment and Reattachment of Symbiotic *Chlorella* spp. from the Cell Cortex of the Host *Paramecium bursaria*. *Protist*, **164**: 660-672 (July, 2013)
- 11) Kodama, Y., Suzuki, H., Dohra, H., Sugii, M., Kitazume, T., Yamaguchi, K., Shigenobu, S. and Fujishima, M.: Comparison of gene expression of *Paramecium bursaria* with and without *Chlorella variabilis* symbionts. *BMC Genomics*, **15**:183 (Mar., 2014) (KY and SH, equal contributors)
- 12) 林 蘇娟・初見真知子：明治の植物標本—長野菊次郎の植物標本の発見. *Bunrui* **13**(2): 109-117 (2013)
- 13) Nishida, T., Kaino, T., Ikarashi, R., Nakata, D., Terao, K., Ando, M., Hamaguchi, H., Kawamukai, M. and Yamamoto, T.: The effect of coenzyme Q10 included by  $\gamma$ -cyclodextrin on the growth of fission yeast studied by microscope Raman spectroscopy. *J. Molecular Structure*, **1048**: 375-381 (Sep., 2013)
- 14) Ozoe, Y., Kita, T., Ozoe, F., Nakao, T., Sato, K. and Hirase, K.: Insecticidal 3-benzamido-N-phenylbenzamide specifically bind with high affinity to a novel allosteric site in housefly GABA receptors. *Pesticide Biochemistry and Physiology*, **107**: 285-292 (Nov., 2013)
- 15) Shimajiri, Y., Oonishi, T., Ozaki, K., Kainou, K. and Akama, K.: Genetic manipulation of the  $\gamma$ -aminobutyric acid (GABA) shunt in rice: overexpression of truncated glutamate decarboxylase (GAD2) and knockdown of  $\gamma$ -aminobutyric acid transaminase (GABA-T) lead to sustained and high levels of GABA accumulation in rice kernels. *Plant Biotechnol Journal*, **11**: 594-604 (June, 2014)
- 16) Tanaka, Y., Nishimura, K., Kawamukai, M., Oshima, A. and Nakagawa, T.: Redundant function of two Arabidopsis COPII components, AtSec24B and AtSec24C, are essential for male and female gametogenesis. *Planta*, **238**: 561-575 (Sep., 2013)
- 17) Yoshimura, K., Nakane, T., Kume S., Shiomi, Y., Maruta, T., Ishikawa, T. and Shigeoka, S. Transient expression

analysis revealed the importance of VTC2 expression level in light/dark regulation of ascorbate biosynthesis in Arabidopsis. *Biosci. Biotechnol. Biochem*, **78**: 60-66 (Jan., 2014)

## その他

- 1) 赤間一仁：GABA 強化米の開発. 研究成果 5 1 0 新農業展開ゲノムプロジェクト GMO 領域, pp.157-166 (2014 年 3 月)
- 2) 秋吉英雄：沖縄県先島諸島西表島崎山半島の干潟域に生息するアセウツボの特異な消化器系臓器の研究. 島根大学汽水域研究センター報告平成 25 年度年次報告, **34** (2013 年 6 月)
- 3) 秋吉英雄・藤田恭久：細胞内脂肪球イメージング方法. イメージング用蛍光材およびイメージング蛍光材製造方法. 特許第 5493149 号 (2014 年 3 月)
- 4) 秋吉英雄・頓宮美樹・橋本英樹・山本達之・西村浩二・吉清恵介・山田高也・竹下治男・藤田恭久：酸化亜鉛ナノ粒子の生体への安全性評価. ー病理組織学的研究ー, S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 47-53 (2014 年 3 月)
- 5) 藤井政俊・橋本英樹・梅とも子・藤原純子・竹下治男・吉清恵介・秋吉英雄・山本達之・松本暁洋・藤田恭久・磯部 威：酸化亜鉛ナノ粒子の表面分析および吸光波長の制御. S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 22-24 (2014 年 3 月)
- 6) 橋本英樹・藤田恭久・頓宮美樹・山田高也・西村浩二・吉清恵介・秋吉英雄・山本達之・松本暁洋・藤井政俊・藤原純子・梅とも子・竹下治男・磯部 威：シリカコート酸化亜鉛ナノ粒子による蛍光標識剤の開発. S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 25-27 (2014 年 3 月)
- 7) 児玉有紀：細胞内共生説のモデル材料ミドリゾウリムシ. 数研出版, サイエンスネット, **48**:2-5 (2013 年 10 月)
- 8) 林 蘇娟：隠岐諸島に分布するオニヒョウタンボクー島根県準絶滅危惧種. 隠岐のブンカザイ, **30**: 7-12 (2013 年)
- 9) 松浦和枝・林 蘇娟：無配生殖型ベニシダ (*Dryopteris erythrosora*) 孢子培養の適正培地の検討. 島根大学生物資源科学部研究報告, **18**: 17-21 (2013 年 9 月)
- 10) 西村浩二・秋吉英雄・橋本英樹・藤田恭久：6.酸化亜鉛ナノ粒子による蛍光標識剤を用いた食品由来成分の可視化技術の開発. S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 60-61 (2014 年 3 月)
- 11) Noskor, S.C., Takiue, S. and Akiyoshi, H.: Comparative scanning electron microscope studies of hepatic parenchymal architecture in the three infradivisions of teleost fish, *Bulletin of Faculty of Life and Environmental Science. Shimane University*, **18**: 9-16 (Sep., 2013)
- 12) 山本達之・秋吉英雄・藤田恭久：顕微ラマン分光法による分裂酵母の代謝測定. S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 54-57 (2014 年 3 月)
- 13) 山本達之・秋吉英雄・橋本英樹・藤田恭久：5.酸化亜鉛ナノ粒子がヒト皮膚繊維芽細胞に与える影響. S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト終了報告書, 58-59 (2014 年 3 月)

## 【山口大学】

### 著 書

- 1) 小林 淳：バキュロウイルスの機能開発と利用. 最新昆虫病理学 (国見裕久・小林迪弘編, ISBN: 978-4-06-153740-8). 講談社サイエンティフィク, 東京, pp.223-230 (2014 年 2 月)

## 論文

- 1) Hamajima, R., Ito, Y., Uchikawa, H., Mitsutake, H., Kobayashi, J., Kobayashi, M. and Ikeda, M.: Degradation of rRNA in BM-N cells from the silkworm *Bombyx mori* during abortive infection with heterologous nucleopolyhedroviruses. *Journal of General Virology*, **94**: 2102-2111 (Sep., 2013)
- 2) Karim, M.M., Hisamoto, T., Matsunaga, T., Asahi, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and Azakami, H.: LuxS affects biofilm maturation and detachment of the periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens*. *Journal of Bioscience and Bioengineering*, **116**: 313-318 (Sep., 2013)
- 3) Karim, M.M., Nagao, A., Mansur, F.J., Matsunaga, T., Akakabe, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and Azakami, H.: The periodontopathogenic bacterium *Eikenella corrodens* produces an autoinducer-2-inactivating enzyme. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **77**: 1080-1085 (May, 2013)
- 4) Kosaka, T., Toh, H., Fujiyama, A., Sakaki, Y., Watanabe, K., Meng, X., Hanada, S. and Toyoda, A.: Physiological and genetic basis for self-aggregation of a thermophilic hydrogenotrophic methanogen, *Methanothermobacter* strain CaT2. *Environmental Microbiology Reports*, **6**: 268-277 (Mar., 2014)
- 5) Nagamitsu, H., Murata, M., Kosaka, T., Kawaguchi, J., Mori, H. and Yamada, M.: Crucial Roles of MicA and RybB as Vital Factors for sigma-Dependent Cell Lysis in *Escherichia coli* Long-Term Stationary Phase. *J Mol Microbiol Biotechnol*, **23**: 227-232 (Apr., 2013)
- 6) Usui, M., Harada, A., Ishimaru, T., Sakumichi, E., Saratani, F., Sato, C., Azakami, H., Miyasaki, T. and Hanaoka, K.: Contribution of structural reversibility to the heat stability of the tropomyosin shrimp allergen. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, **77**: 948-953 (May, 2013)

## その他

- 1) Kosaka, T., Toh, H. and Toyoda, A.: Complete Genome Sequence of a Thermophilic Hydrogenotrophic Methanogen, *Methanothermobacter* sp. Strain CaT2. *Genome Announc*, **1**: (Aug., 2013)

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【鳥取大学】

## 著書

- 1) 岩崎 崇 : 液性免疫. 最新昆虫病理学 (国見裕久、小林迪弘編, ISBN: 978-4-06-153740-8) . 講談社, 東京, pp.191-200 (2014年2月)
- 2) Shibata, K., Fukuwatari, T., Imai, E., Hayakawa, T., Watanabe, F., Takimoto, H., Watanabe, T. and Umegaki, K.: Dietary reference intakes for Japanese 2010. Water-soluble vitamins. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology*, **59**: S67-S82 (Apr., 2013)
- 3) Watanabe, F., Yabuta, Y., Tanioka, Y. and Bito, T.: Biologically active vitamin B<sub>12</sub> compounds in foods for preventing deficiency among vegetarians and elderly subjects. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 6769-7665 (June, 2013)
- 4) Watanabe, F., Yabuta, Y. and Bito, T.: Studies in Natural Products Chemistry, In *Tetrapyrrole Compounds of Cyanobacteria* (Edited by Atta-ur-Rahman, F.R.S., ISBN: 978-0-444-63281-4), Elsevier, UK, pp.341-351 (Mar., 2014)

## 論文

- 1) Bito, T., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Miniaturized HPTLC of vitamin B<sub>12</sub> compounds in foods. *Chromatographia*, **76**: 1333-1337 (Oct., 2013)
- 2) Bito, T., Ohishi, N., Hatanaka, Y., Takenaka, S., Nishihara, E., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Production and characterization of cyanocobalamin-enriched lettuce (*Lactuca sativa* L.) grown using hydroponics. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 3852-3858 (Apr., 2013)
- 3) 春口佐知・中島清実・増田健太・松永洋平・ウイヤダ モンコンタナーラク・金田依子・北村直樹・一柳剛・河野 強・霜村典宏・會見忠則：ツキヨタケ (*Omphalotus geupiniformis*) 由来物質 illudin S の毒性の再検討. 抗菌および抗線虫活性, 日本きのこ学会誌, **21**: 88-91 (2013年5月)
- 4) Ishihara, Y., Ueta, K., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Characterization of vitamin B<sub>12</sub> compounds from the brackish-water bivalve *Corbicula japonica*. *Fisheries Science*, **79**: 321-326 (Apr., 2013)
- 5) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Vitamin B<sub>12</sub>[c-lactone], a biologically inactive corrinoid compound, occurs in cultured and dried lion's Mane Mushroom (*Hericium erinaceus*) fruiting bodies. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **62**: 1726-1732 (Jan., 2014)
- 6) Teng, F., Bito, T., Takenaka, S., Takenaka, H., Yamaguchi, Y., Yabuta, Y. and Watanabe, F.: Characterization of corrinoid compounds in the edible cyanobacterium *Nostoc flagelliforme* the hair vegetable. *Food and Nutritional Sciences*, **5**: 334-340 (Feb., 2014)
- 7) Watanabe, F., Yabuta, Y., Tanioka, Y. and Bito, T.: Biologically active vitamin B<sub>12</sub> compounds in foods for preventing deficiency among vegetarians and elderly Subjects. *Journal of Agricultural and Food Chemistry*, **61**: 6769-6775 (July, 2013)
- 8) Yabuta, Y., Hashimoto, E., Takeuchi, T., Sakaki, S., Yamaguchi, Y., Takenaka, H. and Watanabe, F.: Characterization of a hot water extract of an edible cyanobacterium *Nostochopsis* sp. for use as an ingredient in cosmetics. *Food Science and Technology Research*, **20**: 505-507 (Dec., 2013)
- 9) Yabuta, Y., Tanaka, H., Yoshimura, S., Suzuki, A., Tamoi, M., Maruta, T. and Shigeoka, S.: Improvement of vitamin E quality and quantity in tobacco and lettuce by chloroplast genetic engineering. *Transgenic Research*, **22**: 391-402 (Apr., 2013)

## 【島根大学】

### 著書

- 1) 山本達之・川向 誠・寺尾啓二・濱口宏夫：シクロデキストリンの科学と技術. 第5編 第17章 機能性食品成分—シクロデキストリン包接体が分裂酵母の生育に及ぼす効果 (寺尾啓二・池田幸監修, ISBN: 978-4-7813-0822-7) . CMC 出版, pp.170-175 (2013年12月)
- 2) 山本達之・鈴木秀彦：南極観測における分光学の活用. *分光研究*, **62**:74-84 (2013年6月)
- 3) 横田一成：第1章 技術編 10.脂質分子に対する免疫原の作製と抗体の産生. 遺伝子医学 MOOK24号, 最新生理活性脂質研究-実験手法, 基礎的知識とその応用 (横溝岳彦・青木淳賢・杉本幸彦・村上 誠編, ISBN: 978-4-944157-54-9) . 株式会社メディカルドウ, 大阪, pp. 83-92 (2013)

## 論文

- 1) Akita, T., Matsui, Y. and Yamamoto, T.: A <sup>1</sup>H NMR Titration Study on the Binding Constants for D- and L-Tryptophan Inclusion Complexes with 6-O-α-D-Glucosyl-β-cyclodextrin. Formation of 1:1 and 2:1

(Host: Guest) Complexes. Journal of Molecular Structure, **1060**: 138–141 (Jan., 2014)

- 2) Kimura, H., Ishihara, T., Michida, M., Ogawa, S., Akihiro, T. and Yokota, K.: Identification and quantitative analysis of polyphenolic compounds from indigo plant (*Polygonum tinctorium* Lour). Natural Product Research, **28**: 492-495 (Jan., 2014)
- 3) Nishida, T., Kaino, T., Ikarashi, R., Nakata, D., Terao, K., Ando, M., Hamaguchi, H., Kawamukai, M. and Yamamoto, T.: The effect of coenzyme Q10 included by  $\gamma$ -cyclodextrin on the growth of fission yeast studied by microscope Raman spectroscopy. Journal of Molecular Structure, **1048**: 375-381 (June, 2013)
- 4) 小川智史・道田真帆子・木村英人・中村優子・有福一郎・横田一成：アスコルビン酸 2-グルコシドの抗酸化性に対するトレハロースの相乗的促進効果。日本食品科学工学会誌, **60**: 193-197 (2013 年 6 月)
- 5) Rahman, M.S., Syeda, P.K., Khan, F., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F. and Yokota, K.: Cultured preadipocytes undergoing stable transfection with cyclooxygenase-1 in the antisense direction accelerate adipogenesis during the maturation phase of adipocytes. Applied Biochemistry and Biotechnology, **171**: 128-144 (Sep., 2013)
- 6) Rahman, M.S., Khan, F., Syeda, P.K., Nishimura, K., Jisaka, M., Nagaya, T., Shono, F. and Yokota, K.: Endogenous synthesis of prostacyclin was positively regulated during the maturation phase of cultured adipocytes. Cytotechnology, **66**: 635-646 (July, 2013)
- 7) Takezawa, K., Matsui, Y., Yamamoto, T. and Yoshikiyo, K.: Inclusion complexation of three structural isomers of mono-(deoxy-guanidino)- $\alpha$ -cyclodextrin with the *p*-nitrophenolate ion. Bulletin of the Chemical Society of Japan, **87**: 412-416 (Dec., 2013)
- 8) Tanaka, Y., Nishimura, K., Kawamukai, M., Oshima, A. and Nakagawa, T.: Redundant function of two Arabidopsis COPII components, AtSec24B and AtSec24C, is essential for male and female gametogenesis. Planta, **238**(3): 561-575 (Sep., 2013)

#### その他

- 1) 秋吉英雄・山本達之・頓宮美樹・橋本英樹・山本達之・西村浩二・吉清恵介・山田高也・竹下治男・藤田恭久：酸化亜鉛ナノ粒子の生体への安全性評価（病理組織学的検討）。島根大学プロジェクト研究推進機構『重点研究部門』S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト最終報告書，（2014 年 2 月）
- 2) 西村浩二・秋吉英雄・橋本英樹・藤田恭久：酸化亜鉛ナノ粒子による蛍光標識剤を用いた食品由来成分の可視化技術の開発。島根大学プロジェクト研究推進機構『重点研究部門』S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト最終報告書，（2014 年 2 月）

#### 【山口大学】

##### 著 書

- 1) 赤壁善彦：人を幸せにする目からウロコ！研究（萩原一郎編，ISBN: 978-4-00-500765-3）。岩波出版，東京，pp. 23-36（2014 年 1 月）

##### 論 文

- 1) Adachi, O., Hours, R.A., Akakabe, Y., Shinagawa, E., Ano, Y., Yakushi, T. and Matsushita, K.: Pentose Oxidation by Acetic Acid Bacteria Led to a Finding of Membrane-Bound Purine Nucleosidase Bioscience,

Biotechnology, and Biochemistry, **77**: 1131-1133 (May, 2013)

- 2) 赤壁善彦：ニオイ成分の人へ与える影響. 香料, **258**: 33-45 (2013年6月)
- 3) 赤壁善彦：柑橘風味のする鮎「柑味鮎(かんみあゆ)」の開発. におい・かおり環境学会誌, **44**: 323-327 (2013年9月)
- 4) Iwakiri, T., Mase, S., Murakami, T., Matsumoto, M., Hamada, H., Nakayama, T. and Ozaki, S.: Glucosylation of hydroxyflavones by glucosyltransferases from *Phytolacca americana*. Journal of Molecular Catalysis B: Enzymatic, **90**: 61-65 (June, 2013)
- 5) Karim, M.M., Nagao, A., Mansur, F.J., Matsunaga, T., Akakabe, Y., Noiri, Y., Ebisu, S., Kato, A. and Azakami, H.: The Periodontopathogenic Bacterium *Eikenella corrodens* Produces an Autoinducer-2-Inactivating Enzyme. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, **77**: 1080-1085 (May, 2013).
- 6) Konno, T., Otsuki, N., Kurahashi, T., Kibe, N., Tsunoda, S., Iuchi, Y. and Fujii, J.: Reactive oxygen species exacerbate autoimmune hemolytic anemia in New Zealand black mice. Free Radical Biology and Medicine, **65**:1378-1384 (Dec., 2013)
- 7) Shirataki, C., Shoji, O., Terada, M., Ozaki, S., Sugimoto, H., Shiro, Y. and Watanabe, Y.: Inhibition of heme uptake in *Pseudomonas aeruginosa* by its hemophore (HasA(p)) bound to synthetic metal complexes. Angewandte Chemie, **53**: 2862-2866 (Feb., 2014)

#### その他

- 1) 井内良仁：昆虫食の新たな可能性. ニューフードインダストリー, 食品資材研究会, **56**(1): 35-41 (2014年1月)

## (4) 国際乾燥地科学連合専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

#### 【鳥取大学】

#### 著書

- 1) An, P., Inoue, T., Zheng, M., Eneji, A.E., Inanaga, S.: Agriculture on the Loess Plateau. In: *Restoration and Development of Degraded Loess Plateau, China* (Edited by Tsunekawa A. eds., ISBN: 978-4-431-54480-7), Springer, Tokyo, pp. 61-73 (Nov., 2013)
- 2) 藤山英保：塩類土壌を修復する「好塩性作物」。乾燥地を救う知恵と技術(恒川篤史編, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, pp.88-89 (2014年3月)
- 3) 河合隆行・齊藤忠臣：第2章1節 乾燥地の砂. 国立科学博物館行叢書⑮ 砂漠誌-人間・動物・植物が水を分かち合う知恵 第1版(縄田浩志・篠田謙一編著, ISBN: 978-4-486-02012-7)。東海大学出版, 神奈川, pp. 85-91 (2014年3月)
- 4) Kimura, R. and Takayama, N.: Climate of the Loess Plateau. Restoration and Development of the Degraded Loess Plateau, China (Edited by Tsunekawa, A. et al., ISBN: 978-4-431-54480-7). Springer, Japan, pp. 23-33 (Sep., 2013)
- 5) Kimura, R.: Monitoring regional desertification. Restoration and Development of the Degraded Loess Plateau, China (Edited by Tsunekawa, A. et al., ISBN: 978-4-431-54480-7). Springer, Japan, pp. 175-182 (Sep., 2013)
- 6) 北村義信：3章 水の有効利用, 3.1. 現状と課題(北村)。3.2. 天水を集めて各種用水に使う「ウォーター

ーハーベスティング」(北村・清水)。乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(分担)(鳥取大学乾燥地研究センター監修, 恒川篤史編集代表, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, pp. 40-45, pp. 46-49 (2014年3月)

- 7) Kitamura, Y., Yang, S.L. and Shimizu, K. (corresponding author): Chapter 15 Secondary salinization and its countermeasures. Chapter 7 Irrigated agriculture and salinization., Restoration and development of the degraded Loess Plateau, China (分担) (Edited by Tsunekawa, A., Liu, G., Yamanaka, N. and Du, S., ISBN: 978-4-431-54481-4), Springer, Tokyo, Japan, pp.199-213: DOI 10.1007/918-4-431-54481-4\_15, pp.93-110: DOI 10.1007/918-4-431-54481-4\_7 (Aug., 2013)
- 8) Otsuki, K., Yamanaka, N. and Du, S.: Vegetation Restoration in Loess Plateau. *In Restoration and Development of Degraded Loess Plateau, China* (Edited by Tsunekawa, A., Liu, G., Yamanaka, N. and Du, S., ISBN: 978-4-431-54480-7), Springer, pp. 233-251(Oct., 2013)
- 9) 齊藤忠臣: 第2章2節 水食を食い止める「ストーンライン」, 乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(鳥取大学乾燥地研究センター監修, ISBN: 978-4-621-08753-4)。第1版, 丸善, 東京, pp. 32-33 (2014年3月)
- 10) 清水克之: 3.2. 天水を集めて各種用水に使う「ウォーターハーベスティング」(北村・清水), 乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(分担)(鳥取大学乾燥地研究センター監修, 恒川篤史編集代表, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, pp. 46-49 (2014年3月)
- 11) 辻本 壽: 第6章 不安定な食糧生産, 6.1. 現状と課題. 乾燥地を救う知恵と技術(砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法)(恒川篤史編集代表, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, pp. 80-83 (2014年3月)
- 12) 辻本 壽: 第6章 不安定な食糧生産, 6.4. 乾燥地に耐える作物を作る「農民参加型育種」。乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(恒川篤史編集代表, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, pp. 90-91 (2014年3月)
- 13) 恒川篤史編集代表: 乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(鳥取大学乾燥地研究センター監修, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善出版, 東京, 153p (2014年3月)
- 14) Tsunekawa, A., Liu G, Yamanaka, N., Du, S. (eds). 2014. Restoration and Development of the Degraded Loess Plateau, China, Tokyo: Springer, 288p. (ISSN 2191-0707, ISSN 2191-0715 (electronic), ISBN: 078-4-431-54480-7, ISBN: 978-4-431-54481-4 (eBook), DOI 10.1007/978-4-431-54481-4)
- 15) Yan, M., He, Q., Yamanaka, N. and Du, S.: Location, Geology and Landforms of the Loess Plateau. *In Restoration and Development of Degraded Loess Plateau, China* (Edited by Tsunekawa, A., Liu, G., Yamanaka, N. and Du, S., ISBN: 978-4-431-54480-7). Springer, pp. 3-21 (Oct., 2013)
- 16) Yamanaka, N., Hou, Q. and Du, S.: Vegetation of Loess Plateau. *In Restoration and Development of Degraded Loess Plateau, China* (Edited by Tsunekawa, A., Liu, G., Yamanaka, N. and Du, S., ISBN: 978-4-431-54480-7). Springer, pp. 49-60 (Oct., 2013)
- 17) 山中典和: 砂丘地で風食を防止する「草方格」, 乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(鳥取大学乾燥地研究センター監修, ISBN: 978-4-621-08753-4)。丸善, 東京, pp. 34-35 (2014年3月)
- 18) 山中典和: 植生の劣化 - 現状と課題, 乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—(鳥取大学乾燥地研究センター監修, ISBN: 978-4-621-08753-4), 丸善, 東京, pp. 56-59 (2014年3月)

- 19) 山中典和：その土地にあった木を植える「適地適木植栽」，乾燥地を救う知恵と技術—砂漠化・土地劣化・干ばつ問題への対処法—（鳥取大学乾燥地研究センター監修，ISBN: 978-4-621-08753-4）．丸善，東京，pp. 64-65（2014年3月）

## 論文

- 1) Abdelbasit, M.A.M., Ohja, C.S.P., Huang, J., Yasuda, H., Kimura, R. and Ahmed, Z.: Relationship between rainfall erosivity indicators under arid environments: Case of Liudaogou basin in Chinese Loess Plateau. *Journal of Food, Agriculture & Environment*, **11(2)**: 1073-1077 (Apr., 2013)
- 2) Akaji, Y., Hirobe, M., Harada, M., Otoda, T., Yamanaka, N. and Sakamoto, k.: Microphysical environmental factors affecting the local distribution of dwarf bamboo (*Sasa palmata*) in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Japan. *Ecoscience*, **20(4)**: 339-344 (Mar., 2014)
- 3) Ando, T.\*, Tsunekawa, A., Tsubo, M., Kobayashi, H.: Identification of factors impeding the spread of jatropha cultivation in the State of Chiapas, Mexico. *Sustainable Agriculture Research*, **2(2)**: 54-59 (May, 2013)
- 4) 安西俊彦・清水克之・北村義信：灌漑地区における農地・水利用がイリ川に及ぼす影響に対する考察，*沙漠研究*，**23(2)**：41-49（2013年9月）
- 5) Anzai, T., Kitamura, Y. and Shimizu, K.: The influence of seepage from canals and paddy fields on the groundwater level of neighboring rotation cropping fields: a case study from the lower Ili River Basin, Kazakhstan. *Paddy and Water Environment (IF=1.025)*, DOI 10.1007/s10333-013-0393-z. (on-line) (Sep., 2013)
- 6) Eneji, A.E., Islam, R., An, P., Amalu, U.C.: Nitrate retention and physiological adjustment of maize to soil amendment with superabsorbent polymers. *Journal of Cleaner Production*, **52**: 474-480 (Aug., 2013)
- 7) Han, L.\*, Tsunekawa, A., Tsubo, M.: Shifting of frozen ground boundary in response to temperature variations at northern China and Mongolia, 2000-2007. *International Journal of Climatology*, **33**: 1844-1848 (June, 2013)
- 8) Han, L.\*, Tsunekawa, A., Tsubo, M., Zhou, W.: An enhanced dust index for Asian dust detection with MODIS images. *International Journal of Remote Sensing*, **34(19)**: 6484-6495 (Oct., 2013)
- 9) Han, X.W., Tsunekawa, A., Tsubo, M., Shao, H.B.\*: Responses of plant-soil properties to increasing N deposition and implications for large-scale eco-restoration in the semiarid grassland of the northern Loess Plateau, China. *Ecological Engineering*, **60**: 1-9 (Nov., 2013)
- 10) Haregeweyn, N.\*, Tsunekawa, A., Tsubo, M., Meshesha, D., Melkie, A.: Analysis of the invasion rate, impacts and control measures of *Prosopis juliflora*: a case study of Amibara District, Eastern Ethiopia. *Environmental Monitoring and Assessment*, **185**: 7527-7542 (Sep., 2013)
- 11) Hishida, M., Ascencio-Valle, F., Fujiyama, H., Ortuño-Crus, A., Endo, T. and Larrinaga-Mayoral, J.: Differential Responses of *Jatropha* Species on Growth and Physiological Parameters to Salinity Stress at Seedlings Plant Stage. *Communications in Soil Science and Plant Analysis*, **44**: 2820-2829 (Aug., 2013) published online (Oct., 2013)
- 12) Hishida, M., F. Ascencio-Valle, Fujiyama, H., A. Ortuño-Crus, Endo, T., J.A. Larrinaga-Mayoral.: Antioxidant enzyme responses to salinity stress of *Jatropha curcus* and *J. cinerea* at seedling stage. *Russian J. Plant Physiol*, **61**, 53-62 (Aug., 2013)
- 13) Imada, S., Taniguchi, T., Acharya, K. and Yamanaka, N.: Vertical distribution of fine roots of *Tamarix ramosissima* in an arid region of southern Nevada. *Journal of Arid Environments*, **92**: 46-52 (May, 2013)
- 14) Imada, S., Acharya, K., Li, I., Taniguchi, T., Iwanaga, F., Yamamoto, F. and Yamanaka, N.: Salt dynamics in

- Tamarix ramosissima* in the lower Virgin River floodplain, Nevada. *Trees*, **27**: 949–958 (Aug., 2013)
- 15) 猪迫耕二・廣田智子・大津裕章・齊藤忠臣：焼成した造粒凝灰岩風化土のリン酸吸着特性. 雨水資源化システム学会, **20**: 37-41 (2014年7月)
  - 16) Ito, TY.\*, Tsuge, M., Lhagvasuren, B., Buuveibaatar, B., Chimeddorj, B., Takatsuki, S., Tsunekawa, A., Shinoda, M.: Effects of interannual variations in environmental conditions on seasonal range selection by Mongolian gazelles. *Journal of Arid Environments*, **91**: 61-68 (Apr., 2013)
  - 17) 岩永史子・山本福壽・Ailijiang Maimaiti・吉田祐美・森 信寛・谷口真吾・山中典和：西表島に生育するマングローブ4種の浸透調節物質の濃度変化と陽イオンとの関係. 日本緑化工学会誌, **39**(1): 21-26 (2013年8月)
  - 18) Kimura, R., Moriyama, M., Abulaiti, A.: Application of index based on the land surface temperature to estimate the threshold wind speed for saltation activity. *Journal of Environmental Science and Engineering*, **B2**(4): 238-247 (Apr., 2013)
  - 19) Kimura, R.: Field studies of frontal area index in rangeland of Mongolia. *Journal of Environmental Science and Engineering*, **A2**(6): 359-363 (June, 2013)
  - 20) 木村玲二・阿不来堤阿不力堤甫・多炭雅博・王 維真：中国河西回廊の草原荒廃地における蒸発散量. 沙漠研究, **23**: 93-99 (2014年3月)
  - 21) 香口成美・岡田憲和・山本福壽・森 信寛・山中典和：中国乾燥地で植栽されるサリュウとハンリュウの耐塩性および浸透調節能. 日本緑化工学会誌, **39**(1): 44-49 (2013年8月)
  - 22) Li, R., Tsunekawa, A., Tsub, M.: Index-based assessment of agricultural drought in a semi-arid region of Inner Mongolia. *China Journal of Arid Land*, **6**(1): 3-15 (Feb., 2014)
  - 23) Matsuo, N., Ojika, K., Shuyskaya, E., Radjabov, T., Toderich, K. and Yamanaka, N.: Responses of the carbon and oxygen isotope compositions of desert plants to spatial variation in soil salinity in Central Asia. *Ecological Research*. **28**: 717–723 (Sep., 2013)
  - 24) Matsuoka, Y., Nasuda, S., Ashida, Y., Nitta, M., Tsujimoto, H., Takumi, S. and Kawahara, T.: Genetic basis for spontaneous hybrid genome doubling during allopolyploid speciation of common wheat shown by natural variation analyses of parental species. *PLOS ONE*, **8**: e68310 (Aug., 2013)
  - 25) Mohamed, A.I.A., Eltayeb, M.M., Arima, J., Mori, N., Yamanaka, N. and Taniguchi T.: Screening for enzymatic activities in the degradation pathway of homocholine by soil microorganisms. *Australian Journal of Basic and Applied Sciences*, **8**(2): 222-233 (Feb., 2014)
  - 26) Mohammed, Y.S.A., Eltayeb, A.E. and Tsujimoto H.: Enhancement of aluminum tolerance in wheat by addition of chromosomes from wild relative *Leymus racemosus*. *Breeding Science*, **63**: 407-416 (Dec., 2013)
  - 27) Mohammed, Y.S.A., Tahir, I.S.A., Kamal, N.M., Eltayeb, A.E., Ali, A.M. and Tsujimoto, H.: Impact of wheat-*Leymus racemosus* added chromosomes on wheat adaptation and tolerance to heat stress. *Breeding Science*, **63**: 450-460 (Jan., 2014)
  - 28) 永松 大・山中典和・福本愛弓・杜 盛・候 慶春・張 文輝：黄土高原の山腹緑化に地形と降水量が与える影響. 日本緑化工学会誌 **39**(1): 86-91 (2013年8月)
  - 29) Osman, S.A., Abdalla, A.W.H., Osman, M.A., Inoue, T., An, P., Babiker, E.E.: Change in total and extractable macroelements of grains of sorghum cultivars grown under different levels of micronutrients. *International Journal of Innovation and Applied Studies*, **4**(4): 649-657 (Dec., 2013)
  - 30) Saito, T., Fujimaki, H., Yasuda, H., Inosako, K. and Inoue, M.: Calibration of temperature effect on dielectric probes using time series field data. *Vadose Zone Journal*, doi:10.2136/vzj2012.0184 (May, 2013)

- 31) 佐藤敏雄・山本定博・Manzoor Qadir・遠藤常嘉・増永二之・北村義信：世界の都市下水生成量および処理量の推定. 水利科学, **334**(57-5): 126-147 (2013年12月)
- 32) 立石麻紀子・宮崎寛大・山本福寿・岡田憲和・山中典和：中国内蒙古クブチ砂漠に植栽された小葉楊(*Populus simonii* Carr.)の水利用と成長に及ぼす埋砂の影響. 日本緑化工学会誌, **39**(1): 68-73 (2013年8月)
- 33) Uozumi, Y., Yamada, S., Masunaga, T., Hioki, Y. and Fujiyama, H.: Effect of N, P and K levels in the medium on growth and N metabolisms in *Carex foliosissima* and *Polygonum cuspidatum*. Sand Dune Reserache, **60**(3): 97-114 (Mar., 2014)
- 34) Xu, R., Yamada, M. and Fujiyama, H.: Lipid peroxidation and antioxidative enzymes of two turfgrass species under salinity stress. Pedosphere, **23**: 213-222 (Apr., 2013)
- 35) Xu, R. and Fujiyama, H.: Comparison of ionic concentration, organic solute accumulation and osmotic adaptation in Kentucky bluegrass and Tall fescue under NaCl stress, Soil Science and plant nutrition, **59**: 168-179 (Apr., 2013)
- 36) Yan, M., Yamamoto, M., Yamanaka, N., Yamamoto, F., Liu, G. and Du, S.: Comparison of pressure–volume curves with and without rehydration pretreatment in eight woody species of the semiarid Loess Plateau. Acta Physiologiae Plantarum, **35**: 1051–1060 (Apr., 2013)
- 37) Zheng, Y., Jiang, L., Gao, Y., Chen, X., Luo, G., Feng, X., Yu, Y., An, P., Yu, Y., Shimizu, H.: Persistence of four dominant psammophyte species in central Inner Mongolia of China under continual drought. Journal of Arid Land, **5**: 331-339 (Sep., 2013)

#### その他

- 1) 安 萍・梶原真悟・井上知恵・李 向軍・稲永 忍：塩類集積地における塩生植物の農業利用. 日本砂丘学会誌, **60**(1): 9-18 (2013年10月)
- 2) 北村義信：巻頭言「アフリカは水文・水資源研究の宝庫」. 水文・水資源学会誌, **26**(4): 199-200 (2013年7月)

#### 【島根大学】

##### 論文

- 1) 増永二之・佐藤邦明・小泉木綿子・岩島範子：浄水発生土の芝緑化地の基盤土としての利用. 用水と廃水, (2013年5月)
- 2) 鈴木 裕・北山 峻・山内恵利・宋 相憲・加藤和雄・盧 尚建：反芻動物の糖脂質代謝系における Chemerin の生理的作用機構と生産性との関連. 家畜栄養生理研究会報, **57**(1): 45-54 (2013年5月)
- 3) Alarima, C.I., Adamu, C.O., Awotunde, J.M., Bandoh, M.N., Masunaga, T., Wakatsuki, T.: Determinants of Adoption of Sawah Rice Technology among Farmers in Ashanti Region of Ghana. Journal of Agricultural Science and Technology, **B3**(7): 459-468 (July, 2013)
- 4) 増永二之・横井絵美・岩島範子・佐藤邦明：浄水発生土の芝緑化地の基盤土としての利用. 用水と廃水, **55**(8): 613-619 (Aug., 2013)
- 5) 佐藤敏雄・山本定博・Manzoor Qadir・遠藤常嘉・増永二之・北村義信：世界の都市下水生成量および処理量の推定. 水利科学, **57**(5), 126-147 (Dec., 2013)
- 6) Uozumi, Y., Yamda, S., Masunaga, T., Hioki, Y. and Fujiyama, H.: Effect of N, P and K levels in the medium on growth and N metabolism in *Carex foliosissima* and *Polygonum cuspidatum*. Sand Dune Reserache,

その他

- 1) Fujihara, T., Ichinohe, T. and Harumoto, T.: Measurement of digestibility of cell wall constituents in grass and legume forages by an artificial rumen method. Bulletin of Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, **18**: 23-28 (Sep., 2013)
- 2) Fujihara, T., Hara-Iwakuni, M., Kyle, D.J., Orskov, E.R. and Ichinohe, T.: Effect of feeding level and frequency on microbial protein yield in the rumen of growing lambs. Bulletin of Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, **18**: 29-39 (Sep., 2013)
- 3) 一戸俊義・深町郁李：灘羊繁殖雌の妊娠および泌乳に要するタンパク質充足率の再検討－中国肉羊飼養標準と連合王国飼養標準との比較－. 第10回日中国際学術セミナー論文集, 53-59 (2014年1月)

## 第2章 招待講演

### (1) 生物生産科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

国際学会等

- 1) Kodama, M., Akagi, Y., Takao, K. and Tsuge, T.: Pathogenicity chromosomes in host-specific toxin-producing *Alternaria* species. 12th European Conference on Fungal Genetics, Seville, Spain (Mar., 2014)

##### 【島根大学】

国際学会等

- 1) Itamura, H.: Research and utilization of persimmon (*Diospyros kaki*) fruit in Japan. International Academic Seminar of Germplasm Innovation and Use of China- ASEAN Subtropical Fruits and Vegetables. Guangxi University, Nanning, China (Nov., 2013)

国内学会等

- 1) 浅尾俊樹：養液栽培による低カリウム野菜の生産とその課題. 第1回けいはんな植物工場ネットワーク会議（京都府精華町）（2013年9月）
- 2) 浅尾俊樹：植物工場による低カリウムメロンの生産とその展望. 課題-本当に低カリウムメロンは必要か？-, 植物工場セミナー, 情報機構, (東京都江東区)（2013年9月）
- 3) 小林伸雄：「フィールドワークが原点！！～植物で地域活性化から産業へ」. 夏の関西園芸同友会交流会（大阪国際会議場）（2013年8月）
- 4) 小林伸雄：世界に誇る日本のツツジ. (財)京都園芸倶楽部・京都府立植物園協力会共催公開講演会（京都府立植物園）（2013年10月）
- 5) 小林伸雄：のとキリシマツツジの研究を活用した地域活性化. 金沢大学能登キャンパス構想推進協議会平成25年度地域・大学連携サミット（能登町役場能都庁舎）（2013年11月）
- 6) 小林伸雄：島根の“味の縁結び”；「出雲おろち大根」の育成と地域普及. だいこんサミット2013＝だいこんの魅力に迫る＝（宇都宮大学峰ヶ丘講堂）（2013年12月）
- 7) 小林伸雄：DNAからみた「のとキリシマツツジ」の品種発達と起源の推定. のとキリシマツツジシンポジウム～園芸文化の保護と育成～（新宿御苑インフォメーションセンター）（2014年3月）

##### 【山口大学】

国際学会等

- 1) Shigyo, M.: Genetic resources and breeding research on *Allium* vegetables. Workshop on Golden Seed Project, Suncheon, Korea (Nov., 2013)
- 2) Shigyo, M.: Allium omics: Development of a metabolic atlas of *Allium* vegetables to enable dissection of functional properties. Japan-New Zealand Joint Workshop on Functional Food, Tokyo, Japan (Sep., 2013)
- 3) Vu Q.H. and Shigyo, M.: Exploitation of indigenous *Allium* germplasm in Southeast Asia and its application to practical cytogenetic studies. Workshop on the Conservation and Utilization of PGRs, Yezin

国内学会等

- 1) 執行正義：新規植物育成法. 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター主催, 平成 25 年度ビジネスマッチング交流会 (メルパルク広島, 広島市) (2014 年 1 月 29 日)
- 2) 執行正義：LED を用いた光環境制御による新たな野菜工場生産技術について. 第 24 回 SHITA シンポジウム「植物工場の新展開」(中央大学駿河台記念館, 東京) (2014 年 1 月 24 日)
- 3) 執行正義：ネギ類育種における変異拡大戦略と新規選抜指標について. 野菜茶業研究所課題別研究会～ネギ属野菜の需要の変化に対応した育種・栽培に関する諸問題～(愛知県名古屋市) (2013 年 10 月 30 日)

## 2) 森林資源学連合講座

### 【島根大学】

国内学会等

- 1) 千布拓生・日置佳之：奥大山地区を事例とした国立公園の生物多様性に資する植生データベースの構築. 日本景観生態学会第 23 回盛岡大会講演要旨集, p 38, 盛岡 (2013 年 6 月)
- 2) 日置佳之：大山蒜山地域の土塁. 日本景観生態学会第 23 回盛岡大会講演要旨集, p 54, 盛岡 (2013 年 6 月)

## 3) 経済・経営学連合講座

### (2) 生物環境科学専攻

#### 1) 生産環境工学連合講座

### 【鳥取大学】

国内学会等

- 1) 緒方英彦：劣化の評価・判定・劣化予測. 農業水利施設機能総合診断士試験講習会 (主催：農業土木事業協会) (国立オリンピック記念青少年総合センター) (2013 年 10 月)

### 【島根大学】

- 1) 宗村広昭：[Keynote Speech] Estimation of nutrient loadings from a river basin to a downstream lake. Korea AG-BMP Forum The 4th International Conference "AG-NPS Pollution Control and Local Community Development", Jeollabuk-do Provincial Government (Jeonju) (27 Sep., 2013)

## 2) 環境科学連合講座

### 【鳥取大学】

国際学会等

- 1) Kodama, M., Akagi, Y., Takao, K. and Tsuge, T.: Pathogenicity chromosomes in host-specific toxin-producing *Alternaria* species. 12th European Conference on Fungal Genetics, Seville, Spain (Mar., 2014)

### 【島根大学】

国内学会等

- 1) 井藤和人：土壌中における農薬分解菌の生態と農薬が及ぼす影響評価に関する研究. 平成 26 年度日本農薬学会学会賞受賞者講演（京都大学）（2014 年 3 月）
- 2) 佐藤利夫：ドロマイトの新規用途開発の研究. 栃木県石灰工業協同組合—未来ドロマイト会議（栃木県佐野市）（2013 年 6 月）
- 3) 佐藤利夫：地域資源を活用した高品質水産加工品の開発による地域活性化. 平成 25 年度文部科学省復興共生プロジェクト関連シンポジウム（宮城県石巻市）（2014 年 3 月）
- 4) 佐藤利夫：地域資源を最大限に利用した地域活性化. 日本海水学会, 環境・生物資源研究会主催「地元資源を活用した地域活性化シンポジウム（宮城県石巻市）（2014 年 3 月）
- 5) 山口啓子・鈴木秀幸・瀬戸浩二：中海の底質と二枚貝の生息環境. 地学団体研究会島根総会シンポジウム II 「完新世における汽水域およびその周辺地域の環境変遷史」（松江市）（2013 年 8 月）

### 【山口大学】

国内学会等

- 1) 伊藤真一\*：ネギ類に感染する *Fusarium* の遺伝的多様性. 平成 25 年度野菜茶業課題別研究会, 「ネギ属野菜の需要の変化に対応した育種・栽培に関する諸問題」（愛知県名古屋市）（2013 年 10 月）
- 2) 竹松葉子：おもしろい虫の話-熱帯雨林の不思議なシロアリを中心に-. 第 48 回ペストコントロールフォーラム山口大会（下関市）（2014 年 2 月）

## (3) 生物資源科学専攻

### 1) 生物機能科学連合講座

### 【島根大学】

国際学会等

- 1) Ishikawa, T.\*: Basic technology development for biofuel production from *Euglena* (Oral). The 1st Korea-Japan Microalgae Symposium, Daejeon, Korea (Oct., 2013)
- 2) Kodama, Y.: Endosymbiosis between the ciliate *Paramecium bursaria* and *Chlorella* spp. International Symposium on Endosymbiosis, Yamaguchi 2013, Yamaguchi, Japan (Dec., 2013)
- 3) Matsuo, Y., Nishino, K., Kawamukai, M.\*: Polypeptone induces dramatic cell lysis in *ura4*-mutants of fission yeast. Th 7<sup>th</sup> International Fission Yeast Meeting, London, (June, 2013)

国内学会等

- 1) 川向 誠：分裂酵母の細胞溶解機構. 日本生物工学会シンポジウム「酵母の生存戦略から学ぶ—環境応答機構と産業利用—」（広島市）（2013 年 9 月）
- 2) 川向 誠：コエンザイム Q の生合成と微生物生産. 福山大学グリーンサイエンス研究センター公開講演

会「微生物の機能開発」-環境バイオの最前線- (福山市) (2013年12月)

- 3) 川向 誠: ゲノムを活用した CoQ10 代謝工学. 日本農芸化学会 2014 年度大会シンポジウム「ゲノムからアプローチした微生物代謝工学」 (東京都) (2014年3月)
- 4) 永島聖也・林 蘇娟: 伊豆半島, 島根半島と隠岐諸島に自生するスイカズラの形態と遺伝的多型. 日本植物学会第 77 回大会 (札幌市) (2013年9月)
- 5) 永島聖也・林 蘇娟: スイカズラ (*Lonicera japonica* Thumb.) の伊豆半島, 島根半島と隠岐諸島における地理的変異. 日本植物分類学会第 13 回大会 (熊本) (2014年3月)

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【島根大学】

国際学会等

- 1) Fujita, Y.\*, Hashimoto, H., Miki Tongu, M., Yamada, T., Nishimura, K., Yoshikiyo, K., Akiyoshi, H., Yamamoto, T., Matsumoto, A., Fujii, M., Fujihara, J., Toga, T., Takeshita, H. and Isobe, T.: Investigation of functional Zinc Oxide nanoparticles for biomedical applications. 7th International Symposium on Nanomedicine, Kitakyusyu, Fukuoka, Japan (Nov., 2013)
- 2) Fujita, Y.\*, Hashimoto, H., Miki, Tongu, M., Yamada, T., Nishimura, K., Yoshikiyo, K., Akiyoshi, H., Yamamoto, T., Matsumoto, A., Fujii, M., Fujihara, J., Toga, T., Takeshita, H. and Isobe, T.: Investigation of functional Zinc Oxide nanoparticles for biomedical applications. The China-Japan Symposium on Nanomedicine. Jiangsu, China (Oct., 2013)
- 3) Yamamoto, T.: Normal modes and vibrational analysis, characteristic Raman bands – Proteins and amino acids –. The First Taiwan International Symposium on Raman Spectroscopy, Hsinch, Taiwan (July, 2013)

## (4) 国際乾燥地科学連合専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

### 【鳥取大学】

国際学会等

- 1) An, P.: Effects of Na<sup>+</sup> and Ca<sup>2+</sup> on root cell wall composition in two soybean cultivars differing in salt tolerance. International Workshop on Mechanisms of Plant Stress Tolerance and Sustainable Use of Saline Resources. Shijiazhuang, China (Oct., 2013)
- 2) Tsujimoto, H.: Novel traits of *Leymus* species that may contribute on wheat improvement. 7<sup>th</sup> International Triticeae Symposium, Chengdu, China (June, 2013)
- 3) Tsujimoto, H.\*, Matsuoka, Y. and Sohail, Q.: Broadening the genetic diversity of common and durum wheat for screening abiotic stress tolerance. 12<sup>th</sup> International Wheat Genetics Symposium, Yokohama, Japan (Sep., 2013)
- 4) Tsujimoto, H.: Exploitation of novel traits in wild species for wheat breeding in the next generation. JSPS, Asia CORE Program ‘Symposium on Plant Genetic Resources in East Asia’, Okayama, Japan (Sep., 2013)

国内学会等

- 1) 木村玲二：東アジア黄砂発生監視システムの開発. 第 12 回情報科学技術フォーラム（鳥取県鳥取市）  
（2013 年 9 月）
- 2) 北村義信・猪迫耕二・山本定博・清水克之：小アラル・シルダリア川流域における上下流間の利水競合と  
水土の劣化. 日本砂丘学第 59 回全国大会シンポジウム「乾燥地における食料問題のゆくえ」,  
東京（2013 年 7 月）
- 3) 辻本 壽：遺伝資源としてのイネ科野生植物種とその育種利用. 染色体学会公開シンポジウム（富山県富  
山市）（2013 年 11 月）

### 第3章 学術賞等の受賞

#### (1) 生物生産科学専攻

##### 1) 農業生産学連合講座

#### 【鳥取大学】

田中 裕之：染色体学会論文賞（2013年11月9日）

##### 2) 森林資源学連合講座

##### 3) 経済・経営学連合講座

#### (2) 生物環境科学専攻

##### 1) 生産環境工学連合講座

##### 2) 環境科学連合講座

#### 【島根大学】

井藤 和人：平成26年度日本農薬学会学会賞，業績賞（研究）（2014年3月）

平成25年度（第28回）望月喜多司記念賞，業績賞（2014年3月）

#### (3) 生物資源科学専攻

##### 1) 資源生物科学連合講座

##### 2) 資源利用化学連合講座

#### (4) 国際乾燥地科学連合専攻

##### 国際乾燥地科学連合講座

#### 【鳥取大学】

恒川 篤史：日本砂丘学会より乾燥地科学シリーズ編集委員会（代表 恒川篤史）に対して学術賞を授与（2013年7月4日）

乾燥地科学シリーズ編集委員会に対して平成25年度鳥取大学研究功績賞を授与  
(2014年2月28日)

**【山口大学】**

鈴木 賢士：水文・水資源学会 2013 年度研究発表会ポスター賞（金賞）（2013 年 9 月 25 日）

## 第4章 研究助成

### (1) 生物生産科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

###### 科学研究費

板井 章浩	基盤研究 (B)	大規模ゲノム情報と自殖F2集団を利用したナシ育種の効率化と新規優良品種の育成
	基盤研究 (B)	ナシ属植物の伝播にともなう果実形質および病原菌の共進化過程の解析
山口 武視	基盤研究 (C)	ダイズ種子への微生物塗布による湿害回避技術の確立
田中 裕之	基盤研究 (C)	小麦粉品質の多様性拡大に向けた野生種染色体の微細領域導入による新規育種素材の開発
板井 章浩	挑戦的萌芽研究	ナシにおけるメタキセニア現象の分子機構解明と栽培技術への応用

###### その他

近藤 健介	奨学寄附金	: 2件, 共同研究 : 2件
板井 章浩	共同研究	: 2件
田村 文男	受託研究	: 3件
児玉基一郎	受託研究	: 2件, 共同研究 : 2件

##### 【島根大学】

###### 科学研究費

中務 明	基盤研究 (C)	アントシアニン着色における環境要因および遺伝要因を探る
板村 裕之	基盤研究 (C)	カキ果実の軟化およびエチレン生成誘導要因の解明

###### その他

浅尾 俊樹	奨学寄附金	: 2件, 共同研究 : 2件
小林 伸雄	共同研究	: 1件

##### 【山口大学】

###### 科学研究費

山本 晴彦	基盤研究 (B)	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における風水害に伴う遺産劣化モニタリングと保全
-------	----------	--

###### その他

山内 直樹	共同研究	: 1件
荒木 英樹	共同研究	: 2件
高橋 肇	受託研究	: 1件

山本 晴彦 奨学寄付金：2件，受託研究：3件  
執行 正義 奨学寄附金：2件，受託研究：4件，共同研究：2件

## 2) 森林資源学連合講座

### 【鳥取大学】

その他

日置 佳之 奨学寄附金：1件，受託研究：1件  
その他：2件（持続的過疎社会形成研究費，鳥取大学地域貢献支援事業）  
藤本 高明 受託研究：1件

### 【島根大学】

その他

藤巻 玲路 奨学寄附金：1件

## 3) 経済・経営学連合講座

### 【鳥取大学】

科学研究費

松田 敏信 基盤研究（C） ビッグデータによる原子力発電所事故の食料需要への影響分析  
万 里 挑戦的萌芽研究 青果物の流通費用・規格外品削減による自給率向上に関する研究

その他

古塚 秀夫 共同研究：1件  
小林 一 学長経費：3件  
松田 敏信 受託研究：1件

### 【島根大学】

科学研究費

井上 憲一 若手研究（B） 中山間地域耕畜連携システムの持続性に関する実証的研究  
森 佳子 若手研究（B） リレーションシップバンキングを基軸とした農業金融の新手法と金融機関連携の研究

その他

伊藤 康宏 共同研究：2件

## (2) 生物環境科学専攻

### 1) 生産環境工学連合講座

### 【鳥取大学】

科学研究費

緒方 秀彦 基盤研究 (B) 積雪寒冷地における農業水利施設の長寿命化に向けた診断と対策に関する研究

猪迫 耕二 基盤研究 (C) 乾燥地・半乾燥地に展開する農地の持続的利用のための除塩・防塩システムの構築

その他

猪迫 耕二 奨学寄附金：1件、受託研究：1件、共同研究：1件

緒方 英彦 奨学寄附金：1件、受託研究：1件、共同研究：2件

山名 伸樹 共同研究：1件

**【島根大学】**

科学研究費

谷野 章 基盤研究 (C)：シースルー太陽電池モジュールを用いたガラス温室太陽光発電システム

宗村 広昭 若手研究 (B)：汽水湖水環境の修復に向けた周辺河川流域の影響解析

その他

谷野 章 受託研究：1件、共同研究：1件

**2) 環境科学連合講座**

**【鳥取大学】**

科学研究費

児玉基一郎 基盤研究 (B) 毒素とエリシター：病原菌に由来する細胞死誘導因子の機能と病理学的役割の比較研究

一柳 剛 基盤研究 (C) LPSの内部コア糖鎖に結合するヒト抗体のエピトープ解明に向けた糖鎖プローブ合成

會見 忠則 基盤研究 (C) 毒きこの等難栽培性きこの栽培のための基盤技術開発

松本 晃幸 基盤研究 (C) 栽培きこの類子実体の発達異常の原因遺伝子同定と検出マーカーの開発

石原 亨 基盤研究 (C) エンドファイトが感染したマメ科植物に蓄積するアルカロイドの生理・生態学的役割

中桐 昭 基盤研究 (C) 微好気培養法による未知水生菌類の探索と培養株の収集・保存

中島 廣光 基盤研究 (C) (採択されたが辞退)

その他

一柳 剛 受託研究：1件、共同研究：1件

會見 忠則 受託研究：2件、共同研究：2件

児玉基一郎 受託研究：2件、共同研究：2件

石原 亨 受託研究：3件

松本 晃幸 受託研究：1件

霜村 典宏 受託研究：1件

中桐 昭 奨学寄附金：1件

## 【島根大学】

### 科学研究費

- 堀之内正博 基盤研究 (B) 造成海草藻場動物群集の種多様性や個体密度をより高めるには？  
タイ沿岸の環境修復
- 木原 淳一 若手研究 (B) 糸状菌の紫外線センシング：紫外線受容体の解明に向けた多面的  
アプローチ
- 桑原 智之 若手研究 (B) 3元素系複合含水酸化物を用いた温泉排水の超高度フッ素除去・回収シス  
テムの構築

### その他

- 井藤 和人 共同研究 : 1件
- 荒西 太士 受託研究 : 3件
- 桑原 智之 奨学寄附金: 1件, 受託研究: 1件, 共同研究: 2件
- 上野 誠 奨学寄附金: 4件, 受託研究: 1件, 共同研究: 3件
- 佐藤 利夫 奨学寄附金: 1件, 共同研究: 2件
- 山口 啓子 奨学寄附金: 1件, 受託研究: 1件, 共同研究: 1件

## 【山口大学】

### 科学研究費

- 伊藤 真一 基盤研究 (C) タマネギ乾腐病菌が生産するファイトトキシン様タンパク質
- 横山 和平 挑戦的萌芽研究 土壌中の亜酸化窒素還元酵素群の「活性メタプロテオーム」解析

### その他

- 伊藤 真一 奨学寄附金: 1件, 受託研究: 1件, 共同研究: 3件
- 田中 秀平 奨学寄附金: 1件, 共同研究: 1件
- 横山 和平 奨学寄附金: 1件, 共同研究: 1件
- 竹松 葉子 受託研究 : 1件
- 藤間 充 共同研究 : 2件

## (3) 生物資源科学専攻

### 1) 生物機能科学連合講座

## 【鳥取大学】

### 科学研究費

- 東 政明 基盤研究 (C) トランスポーター搭載の人工膜 (プロテオリポソーム) による昆虫の排泄  
機能の解析
- 上中 弘典 若手研究 (B) エンハンセオソーム転写因子複合体の形成による植物細胞死の誘導の分子  
機構
- 有馬 二郎 若手研究 (B) セリンアミノペプチダーゼを基盤とした新たな生体触媒の創出

東 政明 JST 研究成果展開事業 (A-STEP) シロアリの水分利用機能を破綻させることによるシロアリ  
生息制御技術の開発

上中 弘典 新学術領域研究 菌根共生との共進化による植物の菌従属栄養性獲得に関する遺伝子基盤の  
解明 (研究領域提案型) 「複合適応形質進化の遺伝子基盤解明」

その他

岡真 理子 共同研究 : 1 件

有馬 二郎 奨学寄附金 : 1 件

上中 弘典 奨学寄附金 : 1 件, 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 2 件

### 【島根大学】

科学研究費

石川 孝博 基盤研究 (B) ソース・シンク器官におけるアスコルビン酸プールサイズ制御機構の解明

川向 誠 基盤研究 (B) 真核生物のコエンザイムQ合成反応の解明

松崎 貴 基盤研究 (C) 表皮バリア機能発達過程解析をモデルにしたオポッサム皮膚への遺伝子  
導入法の開発

児玉 有紀 若手研究 (B) 二次共生成立に関与する遺伝子と遺伝子産物の網羅的解析

川向 誠 戦略的萌芽研究 分裂酵母に劇的な細胞死を誘導するメカニズム

その他

赤間 一仁 奨学寄附金 : 1 件, 受託研究 : 1 件

石川 孝博 受託研究 : 1 件, 共同研究 : 1 件

川向 誠 受託研究 : 1 件, 奨学寄付金 : 1 件

松崎 貴 奨学寄附金 : 2 件, 共同研究 : 4 件

尾添 嘉久 奨学寄附金 : 2 件, 共同研究 : 1 件

林 蘇娟 奨学寄附金 : 1 件

児玉 有紀 共同研究 : 1 件

秋吉 英雄 共同研究 : 1 件

### 【山口大学】

科学研究費

小林 淳 基盤研究 (B) 東～南アジアの野蚕 NPV の防除と利用に役立つ比較ゲノム研究

阿座上弘行 基盤研究 (C) オートインデューサーの変換による新たな口腔細菌間コミュニケーション  
の解明と応用

小林 淳 挑戦的萌芽研究 蛹休眠能力を有するカイコ基盤系統の創出

その他

高坂 智之 : 受託研究 : 2 件

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【鳥取大学】

科学研究費

河野 強	基盤研究 (C)	線虫の休眠・寿命を制御するインスリン様ペプチドの統合的機能解析
渡邊 文雄	基盤研究 (C)	食品に含まれる疑似ビタミンB12群が生体に及ぼす影響の精密解析
藪田 行哲	若手研究 (B)	シロイヌナズナ熱ショック転写因子 A1d および A1e の活性化機構の解明とその利用
岩崎 崇	若手研究 (B)	新しい細胞膜透過ペプチド『ポリヒスチジン』の分子機構の解明

その他

岩崎 崇	奨学寄附金：1件，受託研究：1件
渡邊 文雄	奨学寄付金：3件，受託研究：2件，共同研究：4件
河野 強	奨学寄附金：1件，受託研究：2件

### 【島根大学】

科学研究費

横田 一成	基盤研究 (C)	異なるライフステージでの脂肪細胞のアラキドン酸カスケード反応経路の発現調節と役割
横田 一成	特別研究員奨励費	プロスタグランジン D2 と J2 シリーズの生合成と脂肪細胞形成と肥満での多様な作用

その他

横田 一成	共同研究	: 1件
-------	------	------

### 【山口大学】

科学研究費

井内 良仁	基盤研究 (C)	昆虫食の機能性評価
小崎 紳一	基盤研究 (C)	へム要求性菌周病菌の「へム取り込み機構の解明」および「生育阻害剤の探索」

その他

赤壁 善彦	奨学寄附金：1件，受託研究：1件，共同研究：2件
-------	--------------------------

## (4) 国際乾燥地科学連合専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

### 【鳥取大学】

科学研究費

恒川 篤史	基盤研究 (A)	干ばつ 2013～2017 年度「国際河川・青ナイル川流域における土壌侵食・土壌流亡緩和のための土地管理」
辻本 壽	基盤研究 (B)	節肥性を示す異種染色体添加コムギおよび合成コムギの遺伝育種学的研究
山中 典和	基盤研究 (B)	黄砂発生域における草原生態系の菌根共生とグロマリン蓄積
木村 玲二	基盤研究 (B)	東アジア黄砂発生監視システムの開発
清水 克之	基盤研究 (C)	中国・黄土高原における天水農地の塩類集積とそのメカニズムの解明

その他

藤山 英保	共同研究	: 1 件
齊藤 忠臣	共同研究	: 1 件
辻本 壽	受託研究	: 3 件
清水 克之	受託研究	: 1 件, 共同研究 : 1 件
藤巻 晴行	共同研究	: 1 件

**【島根大学】**

科学研究費

増永 二之	基盤研究 (B)	熱帯地域における可給態ケイ酸動態調査と稲作のための自然供給システム構築
-------	----------	-------------------------------------

その他

一戸 俊義	共同研究	: 2 件
増永 二之	受託研究	: 1 件

**【山口大学】**

科学研究費

鈴木 賢士	挑戦的萌芽研究	台風の降水機構解明のための気球型雲微物理直接観測装置の開発研究
-------	---------	---------------------------------

その他

鈴木 賢士	受託研究	: 2 件, 共同研究 : 1 件
-------	------	-------------------

## 第5章 その他の教育研究活動

### (1) 生物生産科学専攻

#### 1) 農業生産学連合講座

##### 【鳥取大学】

近藤 謙介 ・サウジアラビア王国農場視察（2013年4月20日～25日）

##### 【島根大学】

小林 伸雄 ・のとキリシマツツジ育成講習会講師。石川県立能登産業技術専門校（石川県能登町）（2013年5月，10月）  
・島根大学公開講座。はじめてのそば作り～地元のそば，出雲おろち大根を味わう～。（島根大学神西砂丘農場）（2013年8月～12月，全7回）  
・島根大学公開講座。島大のブランド農産品「出雲おろち大根」「神在の里」を味わう。（松江市内和食店）（2014年2月）

##### 【山口大学】

山本 晴彦 ・平成25年度サイエンス・リーダーズ・キャンプ，ミクロな細胞からマクロな生態系に至る可視化技術，講師

#### 2) 森林資源学連合講座

##### 【島根大学】

久保 満佐子 ・「理数科校外研修 フィールドワーク研修（植生調査）」講師。岡山県立倉敷天城高等学校，鳥取県江府町（2013年8月2日）

#### 3) 経済・経営学連合講座

##### 【島根大学】

井上 憲一 ・一般農業情勢，農業・農村地域の実態。J A島根ユースカレッジ（J A島根中央会，松江市，2013年4月）  
・組織マネジメント。J A戦略型中核人材育成研修（J A島根中央会，松江市，2013年8月）  
・第8回学習会アドバイザー。食料・農林漁業・環境を考える島根県民フォーラム（出雲市，2013年8月）  
・経営戦略。J A戦略型中核人材育成研修（J A島根中央会，松江市，2013年10月）  
森 佳子 ・松江市公平委員（2013年4月～2014年3月：松江市役所）

## (2) 生物環境科学専攻

### 1) 生産環境工学連合講座

#### 【鳥取大学】

- 猪迫 耕二
- ・鳥取農業大学校非常勤講師
  - ・JICA 集団研修「乾燥地における持続的農業のための土地・水資源の適性管理」の代表および講師
- 緒方 英彦
- ・農村工学会 研究委員会委員，プログラム編成小委員会委員長，材料施工研究部会幹事，農村道路研究部会副部長
  - ・食料・農業・農村政策審議会農村振興分科会農業農村整備部会技術小委員会「農業水利施設のストックマネジメントに係る有識者委員会」（農林水産省農村振興局整備部水資源課）委員
  - ・長寿命化技術体系化検討委員会（農林水産省農村振興局設計課）委員
  - ・農業水利施設機能総合診断士試験講習会（農業土木事業協会）講師
  - ・鳥取県河川委員会（鳥取県土整備部河川課）委員
  - ・鉱山跡措置技術委員会（独立行政法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター）委員
  - ・東伯地区国営施設機能保全事業調整協議会（農林水産省中国四国農政局中国土地改良調査管理事務所）委員
  - ・財）日本水土総合研究所 客員研究員

#### 【島根大学】

- 武田 育郎
- ・環境技術学会「環境技術」編集委員, Editorial Board (The Open Hydrology Journal)

### 2) 環境科学連合講座

#### 【鳥取大学】

- 石原 亨
- ・ひらめきときめきサイエンス（日本学術振興会）実施。（鳥取市，鳥取大学）（2013年8月6, 7日）
  - ・鳥取産業フェスティバル2013（鳥取市，鳥取産業体育館）（2013年9月6日）
  - ・メタボロミクスワークショップ（奈良市，新公会堂）（2013年9月19, 20日）
  - ・出前技術講演会（米子市，鳥取大学医学部）（2014年1月16日）
- 早乙女 梢
- ・関西菌類談話会講習会講師。「タマチョレイタケ属の分類学的再編～新属ハチノスタケ属と Favolus 属（和名なし）について～」(京都府京都市)（2013年4月21日）
  - ・鳥取大学公開講座「鳥取大学菌類きこの観察講座～野外観察と顕微鏡実習～」(鳥取大学農学部附属菌類きこの遺伝資源研究センター)（2013年10月13日）
  - ・鳥取大学とっとり駅南教室講師。「知られざるきこのワールド～その多様性と可能性～」(鳥取県鳥取市)（2013年11月13日）
  - ・平成25年度鳥取大学大学開放推進事業講師。「菌類きこの遺伝資源研究センターサイエンス教室」（2013年12月23-25日）

中桐 昭 ・大学開放推進事業(社会貢献) 中桐 昭, 早乙女 梢「菌類きこの遺伝資源研究センター公開サイエンス教室」鳥取大学農学部附属菌類きこの遺伝資源研究センター(平成 25 年 12 月 21~23 日)

### 【島根大学】

佐藤 利夫 ・日本防菌防黴学会 理事・評議員・編集委員長  
・日本海水学会 評議員  
・水環境学会 中四国支部副支部長  
・廃棄物資源循環学会中国・四国支部理事  
・島根県農林水産部試験研究課題外部評価委員  
・島根県宍道湖流域下水道発生汚泥処理検討委員会委員

堀之内 正博 ・島根大学公開講座 「汽水域の調査を体験してみよう」(2013 年 6 月 1 日「地曳網を使った魚類の定量採集」) 中海沿岸域。

### 【山口大学】

藤間 充 ・社会貢献活動 「今日からはじめるグリーンライフ講座」講師. 山口大学公開講座. 6 月 21 日, 11 月 29 日, 山口大学農学部附属農場

横山 和乎 ・平成 25 年度岡山大学資源植物科学研究所共同研究

## (3) 生物資源科学専攻

### 1) 生物機能科学連合講座

#### 【鳥取大学】

(特許)

上中 弘典 ・上中弘典・河毛真由美・伊福伸介・中神弘史・松井英譲: 特願 2013-227282「ナノファイバー化したキチン・キトサンによる植物の病害抵抗性誘導技術」(平成 25 年 10 月)

#### 【島根大学】

戒能 智宏 ・出雲医療看護専門学校 非常勤講師「生物学」(2013 年 8 月, 9 月)

児玉 有紀 ・日本発生物学会第 46 回大会市民講座. 生物好きをもっと増やしたいー生き物ワールドへの水先案内ーパネルディスカッション, パネラー(松江市)(2013 年 6 月)  
・ひらめきときめきサイエンス. 細胞の世界, ミクロの世界をさぐる. 講師(松江市)(2013 年 8 月)  
・島根大学研究機構総合科学研究支援センター公開講演会. 講師(松江市)(2013 年 11 月)

松崎 貴 ・The 46th Annual Meeting of JSDB Jointly Sponsored by APDBN (大会長)  
・日本国特許登録 第 5396135 号「光照射装置」発明者: 濱田長生・三澤雅子, ・松崎 貴: 出願・発明権利者: パナソニック株式会社, 島根大学(2013 年 10 月 25 日)  
・米国特許登録 第 8,568,463 号「Hair growth modulating method and modulating device thereof」発明者: Hamada, C., Kinoshita, M., Naganuma, K., and Matsuzaki, T., 出願・発明権利者: Panasonic Corporation and Shimane University(2013 年 12 月 5 日)

- ・中華人民共和国特許登録 登録番号 200780052445 「Hair growth control method and apparatus for the method」 発明者: Hamada, C., Kinoshita, M., Naganuma, K., and Matsuzaki, T., 出願・発明権利者: Panasonic Elec Works Co., Ltd. and Shimnane University (2014年2月3日)

- 赤間 一仁
- ・JST「二酸化炭素資源化を目指した植物の物質生産強化と生産物活用のための基盤技術の創出」研究領域における書類査読者 (2013年6月～7月)

## 2) 資源利用化学連合講座

### 【山口大学】

- 赤壁 善彦
- ・山口県食品開発推進協議会委員
  - ・山口市森林セラピー協議会委員
  - ・樺野川流域の魚食文化を普及する会委員
  - ・山口大学公開講座「香りを科学する」(2013年9月)
  - ・山口市森の案内人養成講座「森林の香り」(2013年11月)
  - ・山口県立徳山高校 出前講義「生活の中のニオイとその役割」(2013年3月)
- 右田 たい子
- ・生物無機化学セミナー 講師. 生物無機化学研究会主催, ひたちなか市, 講義タイトル: ESR(電子スピン共鳴法)が決める酵素反応機構 (2013年8月23-25日)

## (4) 国際乾燥地科学連合専攻

### 国際乾燥地科学連合講座

### 【鳥取大学】

- 安 萍
- ・平成25年度海外農業農村地球環境問題等調査事業(地下水制御による農地塩害対策調査)検討委員会委員. (国際農林水産業研究センター)
- 北村 義信
- ・JST-JICA 地球規模課題対応科学技術協力事業「ナイル流域における食糧・燃料の持続的生産」への参画(2009～2014)
- 恒川 篤史
- ・鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム(ITP) 担当教員
  - ・農林水産省 農林水産技術会議専門委員(評価専門委員会委員)
  - ・ポストグローバル COE プロジェクト(乾燥地科学)
- 齊藤 忠臣
- ・国立科学博物館「砂漠を生き抜く-人間・動物・植物の知恵-」, 実験講座「砂漠のオアシスにわきでる泉の科学」(東京・上野公園)(2014年1月)
- 辻本 壽
- ・植物遺伝資源調査・キルギス(2013年7月)
- 藤巻 晴行
- ・サイエンス・アカデミー講師. 「倍増する人口をどう養うか」(とりぎん文化センター)(4月27日)



## 第3部 組織・運営

### 第3部 組織・運営

#### 第1章 主指導教員の教育研究分野一覧

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野		
				名称	内容	
生物生産科学	農業生産学	青木 宣明	島根大学	施設生産技術学	鑑賞植物の施設栽培とその制御	
		浅尾 俊樹	島根大学	園芸生産学	野菜・花卉の生産技術に関する研究	
		板井 章浩	鳥取大学	園芸科学	分子生物学的手法を用いた果樹の育種と生理現象の解明	
		板村 裕之	島根大学	果実成熟生理学	果実の成熟に伴う生理的变化に関する研究	
		小葉田 亨	島根大学	作物生産生態学	作物の生産改善のための生理・生態的研究	
		小林 伸雄	島根大学	園芸育種学	植物遺伝資源の評価と育種利用	
		執行 正義	山口大学	園芸作物遺伝育種学	染色体工学的手法を用いた園芸作物の改良	
		高橋 肇	山口大学	作物生物学	作物の省力・低投入型栽培体系の確立に関する研究	
		田村 文男	鳥取大学	園芸学	ニホンナシの自発休眠制御に関する研究	
		中田 昇	鳥取大学	作物改良技術学	遠縁交雑による作物の改良	
		中務 明	島根大学	園芸分子育種学	園芸作物における有用形質関連遺伝子の解析と育種利用	
		福田 善通	※鳥取大学	作物遺伝育種学	イネ農業形質の多様性、分化、遺伝様式に関する遺伝育種学研究	
		松本 真悟	島根大学	土壌・作物栄養学	土壌肥沃度に対応した作物の養分獲得機構の解明	
		松本 敏一	島根大学	果樹園芸学	果樹栽培と加工品に関する研究	
		山内 直樹	山口大学	園芸作物利用学	園芸作物の収穫後生理学	
山本 晴彦	山口大学	環境情報科学	光学的計測法による植物の生育診断			
生物生産科学	森林資源学	伊藤 勝久	島根大学	森林政策学	森林・林業政策及び条件不利地域対策に関する実証的研究	
		小池浩一郎	島根大学	森林科学	森林と社会との物質代謝、バイオエネルギー	
		長澤 良太	鳥取大学	景観生態学	中山間地域における自然、人文、社会環境の景観生態学的研究	
		日置 佳一	鳥取大学	生態系保全・復元計画学	生物多様性の保全と復元のための生態学的な計画と技術	
		山本 福壽	鳥取大学	樹木生理学	樹木の生殖と成長の生理機構	
生物生産科学	経済・経営学	石田 章	島根大学	開発経済学	発展途上国の貧困問題に関する実証分析	
		伊藤 康宏	島根大学	漁業史	日本漁業の近現代史研究	
		内田 和義	島根大学	農業史	日本における近代農業成立の研究	
		小林 一	鳥取大学	農業経営学	農業経営発展と経営情報システム	
		小美 誠	鳥取大学	地域産業計画学	地域農業計画・分析手法の開発および適用	
		古塚 秀夫	鳥取大学	農業会計学	農業会計原則と農産物生産費計算の確立	
松田 敏信	鳥取大学	消費者行動学	計量経済学による消費者行動の研究、特に食料需要の実証分析			
生物環境科学	生産環境工学	青柳 里果	島根大学	生物物理学	計測システムの開発および生物システムの解明に関する研究	
		緒方 英彦	鳥取大学	水利施設工学	水利構造物の建設材料と構造性能の評価	
		喜多威知郎	島根大学	水緑利用学	合理的な水資源利用計画と管理および緑化による環境改善	
		武田 育郎	島根大学	水質水文学	集水域における面源汚濁の評価と制御	
		長束 勇	島根大学	施設機能工学	水利施設ストックマネジメントのための機能評価	
		野中 資博	島根大学	施設材料工学	水貯留コンクリート構造物の設計と耐久性	
		深田 三夫	山口大学	農地保全学	土壌浸食、農地からの水土流出抑止法	
		山名 伸樹	鳥取大学	生物生産機械学	農作業の省力化と快適化のための機械の開発	
		谷野 章	島根大学	生物環境電気工学	生物環境関連技術への電気工学の適用	
	生物環境科学	環境科学	會見 忠則	鳥取大学	微生物生産科学	微生物による食料及び有用物質生産の生化学・分子生物学
			荒瀬 榮	島根大学	植物病理学	植物病原菌の宿主選択的感染機構
			荒西 太士	島根大学	遺伝生態学	水域生物資源の進化、生態および保全に関する分子遺伝学研究
			石原 亨	鳥取大学	天然物化学	植物・微生物が合成する代謝産物の機能、生理活性、生合成に関する研究
			井藤 和人	島根大学	環境微生物学	農薬分解菌の遺伝生態
			伊藤 真一	山口大学	植物病理学	植物病原体ゲノムの構造と機能
木原 淳一	島根大学	植物病理学	植物病原糸状菌の光環境応答			
國井 秀伸	島根大学	植物生態学	水生大型植物の生活史戦略の解明と保全に関する研究			
児玉基一朗	鳥取大学	植物病理学	植物-微生物相互作用と植物耐病性の分子機構			
佐藤 利夫	島根大学	環境衛生工学	排水の高度処理や環境水の浄化・保全のための新技術や機能性材料の開発			
霜村 典宏	鳥取大学	菌類育種栽培学	きのこ類遺伝資源の育種・栽培に関する研究			

専攻	連合講座	主指導教員氏名	所属大学	教育研究分野	
				名称	内容
生物環境科学	環境科学	竹松 葉子 田中 秀平 中桐 昭 中島 廣光 前川二太郎 松本 晃幸 横山 和平	山口大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 山口大学	昆虫生態学 植物病理学 菌類多様性学 応用環境微生物学 菌叢分類生態学 菌類遺伝資源学 土壌微生物学	シロアリの多様性と生態に関する研究 アブラナ科野菜根こぶ病菌の病理性と生理・生態 水生環境に生息する菌類の分類・生態・適応進化 糸状菌のつくる植物毒とマイコトキシンの化学 きのこ類の種多様性と生態的機能に関する研究 菌類遺伝資源が持つ有用遺伝子の単離・解析とその活用 土壌あるいは地圏の窒素循環に関与する微生物群の生態学的解析と活性制御
生物資源科学	生物機能科学	赤間 一仁 阿座上弘行 東 政明 有馬 二郎 石川 孝博 尾添 嘉久 川向 誠 小杉 昭彦 小林 淳 澤 嘉弘 中川 強 松崎 貴 真野 純一 森 信寛	島根大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 島根大学 島根大学 島根大学 ※鳥取大学 山口大学 島根大学 島根大学 島根大学 山口大学 鳥取大学	植物分子生物学 分子微生物学 分子昆虫学 生命機能科学 植物分子生理学 化学生物学 遺伝子工学 応用微生物学 分子昆虫学 酵素科学 植物分子遺伝学 発生生物学 植物生産生理学 微生物工学	植物のtRNAの発現制御機構とγ-アミノ酪酸の生理機能の解明 バクテリアの宿主表面への定着の分子メカニズム 昆虫細胞の特異的機構の解明とその有効利用 微生物・酵素の新奇機能探索とメカニズムの解明、及びその利用 光合成生物における抗酸化物質合成と活性酸素代謝機構 神経伝達物質受容体とイオンチャネルの生体分子シグナリング機構 真核生物情報伝達系と細胞周期の制御、コエンザイムQの生合成 微生物機能を用いたバイオマス資源利用技術の開発 ゲノム情報を応用した昆虫利用・管理技術開発 アミノ酸代謝関連酵素の構造と機能 植物の発達メカニズムの解明と植物遺伝子解析技術の開発 皮膚および付属器の発生ならびに再生機構 植物の環境ストレス耐性機構の解明と応用 微生物酵素の構造と機能及び応用
	資源利用化学	赤壁 善彦 小崎 紳一 河野 強 中原 和彦 藤井 克彦 山口大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学	山口大学 山口大学 鳥取大学 ※鳥取大学 山口大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学	有機化学 生体反応化学 生物有機化学 応用微生物学 環境微生物学 生物無機化学 応用生物化学 生物物理化学 細胞生命化学 食品科学	天然生物活性物質の探索と合成 金属含有酵素の機能と構造の解明 環境応答による休眠・代謝・寿命の制御機構 微生物及び植物由来天然化合物の生理活性に関する研究 炭素循環に関わる微生物の機能解析 金属酵素の物質代謝における金属イオンの役割と酵素反応機構 複合糖質の免疫と立体化学 蛋白質や包接化合物の分子分光学的研究 食品・医薬品関連物質と生体との相互作用に関する分子細胞生物学的研究 食品に含まれるビタミンB12関連化合物の化学的性質と栄養評価に関する研究
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	一戸 俊義 荊木 康臣 北村 義信 木村 玲二 国末 達也 篠田 雅人 辻本 壽 恒川 篤史 藤巻 晴行 藤山 英保 増永 二之 安田 裕 山中 典和 山本 定博	島根大学 山口大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学	家畜飼養学 生物環境調節工学 水利用計画学 境界層気象学 環境汚染物質化学 生態気候学 分子育種学 保全情報学 土壌保全学 生物環境化学 土壌圏生態工学 乾地環境システム工学 乾地緑化学 環境土壌学	反すう家畜の栄養と生産システムの評価 環境制御型植物生産システムに関する研究 持続可能な水利用・水管理システムの構築に関する研究 乾燥地における熱収支・水収支の解明に関する研究 有害化学物質による環境汚染と生物蓄積・リスク評価に関する研究 乾燥地における生態気候システムの動態研究 遺伝子および染色体工学的的手法による乾燥乾性作物系統の育種 乾燥地における植物生産および生態系変化のモニタリングとモデリング 乾燥地における塩類集積および土壌侵食の防止と修復技術の開発 環境と生物資源間の相互作用の化学的解析 土壌の環境維持・修復機能および植物生産機能の制御と利用 乾燥地における水圏環境システムの定量的評価 乾燥地における樹木の生態学的研究 乾燥地における土壌環境の保全と農耕地の持続的利用に関する研究

※協力機関（JIRCAS）との連携

平成25年5月1日現在

## 第2章 委員会

### 1 研究科委員会

#### (1) 委員

平成26年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学		島根大学		山口大学	
		教授	准教授	教授	准教授	教授	准教授
生物生産科学	農業生産学	中田 昇 田村 文男 ◆福田 善通 山口 武視	板井 章浩 田中 裕之	小葉田 亨 板村 裕之 青木 宣明 浅尾 俊樹 小林 伸雄	中務 明 松本 真悟 松本 敏一	山内 直樹 山本 晴彦 執行 正義 高橋 肇	細井 栄嗣 荒木 英樹
	森林資源学	山本 福壽 長澤 良太 日置 佳之	芳賀 弘和	小池浩一郎 伊藤 勝久	川口 英之 米 康充		
	経済・経営学	小林 一 能美 誠 古塚 秀夫 松田 敏信	安延 久美	内田 和義	石田 章 井上 憲一		
生物環境科学	生産環境工学		緒方 英彦	喜多威知郎 長束 勇 谷野 章	青柳 里果 宗村 広昭		
	環境科学	中島 廣光 前川二郎 児玉基一朗 會見 忠則 松本 晃幸 石原 亨 霜村 典宏		荒瀬 榮 佐藤 利夫 國井 秀伸 井藤 和人 荒西 太士 宮永 龍一	山口 啓子 上野 誠 桑原 智之	伊藤 真一 横山 和平 田中 秀平 竹松 葉子	
生物資源科学	生物機能科学	東 政明 森 信寛	有馬 二郎 (助教) 中 秀司	澤 嘉弘 尾添 嘉久 川向 誠 中川 強 石川 孝博 松崎 貴	秋吉 英雄 石田 秀樹 池田 泉 戒能 智宏 (助教) 古田賢次郎	小林 淳 真野 純一	阿座上弘行
	資源利用化学	渡辺 文雄 山崎 良平 河野 強	一柳 剛 藪田 行哲	横田 一成 山本 達之	地阪 光生 (助教) 吉清 恵介	赤壁 善彦 右田たい子	
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	北村 義信 藤山 英保 辻本 壽 恒川 篤史 山中 典和 山本 定博	山田 智 安 萍 西原 英治 明石 欣也 (講師) 清水 克之	一戸 俊義 増永 二之	(助教) 佐藤 邦明 宋 相憲	荊木 康臣	
計		29	14	27	21	13	3
合計		107					

◆はJIRCAS（協力）の客員教員を示す。

(2) 審議事項等

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項
平成25年8月23日 (金)	<p>第69回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農学特論Ⅰ (連合一般ゼミナール (日本語)) の実施について</li> <li>・農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール (英語)) の実施について</li> <li>・各専攻特論の実施について</li> <li>・科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について</li> <li>・博士課程教育リーディングプログラムへの申請について</li> <li>・平成27年度改組について</li> <li>・農学分野のミッションについて</li> <li>・平成25年度外国人留学生特別プログラム入学予定者について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・平成25年度予算配分について</li> <li>・学位規則の改正 (博士論文のインターネット公表) について</li> <li>・平成25年度入学者選抜試験 (10月入学) 合格者の決定について</li> <li>・平成25年度入学予定者 (10月入学) に係る指導教員等について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・学位論文の合否決定について</li> <li>・博士学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について</li> <li>・連合農学研究科教員の資格審査について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> </ul>
平成26年2月14日 (金)	<p>第70回研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度連合農学研究科年間スケジュールについて</li> <li>・平成25年度科学コミュニケーション (研究セミナー) の実施について</li> <li>・平成25年度農学特論Ⅱ (連合一般ゼミナール (英語)) の実施について</li> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」申請の審査結果について</li> <li>・農学分野のミッションについて</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・平成26年度入学者選抜試験合格者の決定について</li> <li>・平成26年度入学予定者に係る指導教員等について</li> <li>・学位論文の合否決定について</li> <li>・学位論文の全文に代えて要約を公表する申立について</li> <li>・連合農学研究科教員の資格審査について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・専攻長の選出について</li> <li>・平成26年度年度計画について</li> <li>・RAの拡充及び海外出張支援制度について</li> <li>・平成26年度連合農学研究科予算配分基本方針 (案) について</li> <li>・連合農学研究科の改組について</li> </ul>

## 2 代議委員会

### (1) 委員

所属専攻名等	所属連合講座名	氏名(所属大学)	任期
研究科長		前川 二太郎	
副研究科長		東 政明	
生物生産科学	農業生産学	山本晴彦(山口大学)	平成25年4月1日～平成27年3月31日
	森林資源学	<u>日置佳之(鳥取大学)</u>	〃
	経済・経営学	能美 誠(鳥取大学)	〃
生物環境科学	生産環境工学	<u>喜多 威知郎(島根大学)</u>	〃
	環境科学	井藤和人(島根大学)	〃
生物資源科学	生物機能科学	<u>中川 強(島根大学)</u>	〃
	資源利用化学	右田 たい子(山口大学)	〃
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	<u>山中典和(鳥取大学)</u>	〃

※下線は専攻長

### (2) 審議事項等

年月日(曜日)	審議事項等
平成25年 4月12日(金)	<p>第293回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について</li> <li>・平成25年度農学特論Ⅰ(前期連合一般ゼミナール)(日本語)日程表について</li> <li>・平成25年度各専攻特論講義担当講師について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・平成25年度学生募集要項(10月入学)について</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・連合農学研究科の27年度改組について</li> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について</li> <li>・教員資格審査の日程について</li> <li>・平成25年度鳥取大学大学院連合農学研究科学生及び指導教員等一覧並びに鳥取大学大学院連合農学研究科有資格教員名簿について</li> <li>・平成24年度連合農学研究科「大山会」決算報告について</li> </ul>

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成25年 4月18日(木)	第294回代議委員会 (TV 会議) ・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について
平成25年 5月24日(金)	第295回代議委員会 (於山口大学) ・平成25年度各専攻特論について ・博士課程教育リーディングプログラムへの申請について ・入学者選抜試験合格判定 (生物資源・環境科学留学生特別プログラム編入学生：私費留学生) について ・教員資格審査委員会委員の選出について ・学位論文審査委員会の設置及び委員の決定について ・平成25年度予算配分 (案) について ・学位規則の改正 (博士論文のインターネット公表) について ・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について ・連合農学研究科の平成27年度改組について
平成25年 6月 3日(月)	第296回代議委員会 (TV 会議) ・学位規則の改正 (博士論文のインターネット公表) について
平成25年 7月 5日(金)	第297回代議委員会 ・平成25年度 (第1回) 全国連合農学研究科長会議について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について ・平成25年度農学特論 I (前期連合一般ゼミナール) (日本語) について ・学位論文受理の可否について ・学位論文審査委員会の設置及び委員の決定について ・学位規則の改正 (博士論文のインターネット公表) について ・平成25年度前期 連合農学研究科教員資格審査委員会委員の変更について ・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について ・連合農学研究科の27年度改組について ・平成25年度「濃く被害黒人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について
平成25年 7月18日(木)	第298回代議委員会 (TV 会議) ・連合農学研究科の27年度改組について ・平成25年度「濃く被害黒人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成25年 8月23日(金)	<p>第299回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度科学コミュニケーション(研究セミナー)の実施について</li> <li>・平成25年度農学特論Ⅱ(連合一般ゼミナール)(英語)について</li> <li>・博士課程教育リーディングプログラムへの申請について</li> <li>・農学分野のミッションについて</li> <li>・学位論文審査委員の変更について</li> <li>・平成25年度入学者選抜試験(10月入学)合否判定について</li> <li>・学生異動について</li> <li>・2014年度鳥取大学大学院連合農学研究科生物資源・環境科学留学生特別プログラム学生募集要項について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・連合農学研究科の27年度改組について</li> <li>・鳥取大学大学院連合農学研究科学位論文に関する細則の一部改正について</li> <li>・第69回研究科委員会について</li> <li>・教員資格審査の日程について</li> </ul>
平成25年10月 4日(金)	<p>第300回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農学分野のミッションについて</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・平成26年度学生募集要項(案)について</li> <li>・学位論文審査委員の選出について</li> <li>・学位論文公表にかかる英文様式等について</li> <li>・連合農学研究科の平成27年度改組について</li> </ul>
平成25年10月18日(金)	<p>第301回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「科学コミュニケーション」(研究セミナー)の実施について</li> <li>・平成25年度「科学コミュニケーション」(研究セミナー)の補講について</li> <li>・留学生特別プログラム(国費)(進学者)の推薦について</li> <li>・連合農学研究科の平成27年度改組について</li> </ul>
平成25年11月 5日(火)	<p>第302回代議委員会(TV会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合農学研究科の27年度改組について</li> </ul>

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成25年12月 6日(金)	<p>第303回代議委員会 (於島根大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度事業年度に係る業務の実績に関する報告書(中間報告)について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・平成25年度農学特論Ⅱ(連合一般ゼミナール)(英語)について</li> <li>・「東京農工大学シーズ・ニーズ創出ワークショップ」開催について</li> <li>・平成25年度第2回全国連合農学研究科協議会(研究科長会議)について</li> <li>・全国6連合農学研究科の連携協定書(案)について</li> <li>・平成26年度「年度計画」(案)について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・教員資格審査委員の決定について</li> <li>・「科学コミュニケーション」(科学セミナー)の補講実施に伴う学生への交通費等の支給について</li> <li>・平成26年度年間スケジュール(案)について</li> <li>・RAの拡充及び海外出張支援制度について</li> <li>・連合農学研究科の平成27年度改組について</li> </ul>
平成25年12月17日(火)	<p>第304回代議委員会 (TV会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の募集について</li> <li>・連合農学研究科の27年度改組について</li> </ul>
平成26年 1月 8日(水)	<p>第305回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の申請について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・出願資格認定審査について</li> <li>・学位論文受理の可否について</li> <li>・学位論文審査委員会の設置及び委員の選出について</li> <li>・平成26年度学位論文審査関係日程について</li> <li>・平成26年度教員資格審査関係日程について</li> <li>・平成26年度予算配分方針について</li> <li>・RAの拡充及び海外出張支援制度について</li> </ul>

年 月 日 (曜日)	審 議 事 項 等
平成26年 2月14日(金)	<p>第306回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」申請の審査結果について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・学生の海外渡航について</li> <li>・教員資格審査用学術雑誌リストへの追加について</li> <li>・平成26年度入学者選抜試験合否判定について</li> <li>・学業優秀による平成26年度入学科免除(半額免除)候補者の推薦について</li> <li>・日本学生支援機構第一種奨学金返還免除者の決定について</li> <li>・平成26年度年度計画について</li> <li>・RAの拡充及び海外出張支援制度について</li> <li>・平成26年度連合農学研究科予算配分基本方針(案)について</li> <li>・全国6連合農学研究科の連携協定書(案)について</li> <li>・第70回研究科委員会への提出議題について</li> </ul>
平成26年 2月27日(木)	<p>第307回代議委員会(TV会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員の公募について</li> </ul>
平成26年 3月14日(金)	<p>第308回代議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」申請の審査結果について</li> <li>・農学分野のミッションについて</li> <li>・指導教員等の変更について</li> <li>・学生の異動について</li> <li>・平成26年度各専攻特論講義担当講師について</li> <li>・2014年度鳥取大学大学院連合農学研究科生物資源・環境科学留学生特別プログラム(博士後期課程)編入学生(私費留学生)募集要項(案)について</li> <li>・鳥取大学国際交流基金特別奨学金申請について</li> <li>・客員教授の称号付与について</li> <li>・専任教員の選考日程について</li> </ul>

### 第3章 平成25年度 連合農学研究科教員

#### 1 有資格教員（教授・准教授・講師・助教）一覽

平成26年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学			島根大学			山口大学		
		教授	准教授	助教	教授	准教授	助教	教授	准教授	助教
生物生産科学専攻	農業生産学	中田 昇 ※田村 文男○ ◆福田 普通○ 山口 武規 ◆許 東河	板井 章浩 田中 裕之 △近藤 謙介		小葉田 亨 板村 裕之○ 青木 宣明○ 浅尾 俊樹○ 小林 伸雄	松本 真吾 中務 明 松本 敏一 江角 智也 小林 和広 山岸 主門		山内 直樹○ ◎山本 晴彦○ 高橋 肇○ 執行 正義○	細井 栄嗣 荒木 英樹	丹野 研一
	森林資源学	山本 福壽○ 長澤 良太○ ◎日置 佳之○	市原 恒一 芳賀 弘和 藤本 高明		小池浩一郎○ 伊藤 勝久○	川口 英之 山下 多聞 米 康充 久保満佐子	藤巻 玲路			
	経済・経営学	小林 一○ ◎能美 誠○ 古塚 秀夫○ 松田 敏信○	万 里 安延 久美		内田 和義 伊藤 康宏	石田 章 赤沢 克洋 森 佳子 井上 憲一				
生物環境科学専攻	生産環境工学	山名 伸樹 猪迫 耕二	緒方 英彦○		野中 資博 ◎喜多威知郎○ 武田 育郎 長東 勇 谷野 章	青柳 里果○ 石井 将幸 宗村 広昭		深田 三夫		
	環境科学	中島 廣光○ ★前川 二郎○ 児玉基一郎○ 會見 忠則○ 松本 晃幸 中桐 昭 石原 亨○ 霜村 典宏○		早乙女 梢	※荒瀬 榮 佐藤 利夫○ 國井 秀伸○ ◎井藤 和人 荒西 太士○ 宮永 龍一○	木原 淳一 巢山 弘介 山口 啓子 堀之内正博 上野 誠 桑原 智之	泉 洋平	伊藤 真一○ 横山 和平 田中 秀平 竹松 葉子	藤間 充	
生物資源科学専攻	生物機能科学	☆東 政明○ 森 信寛○ ◆小杉 昭彦	有馬 二朗○ 上中 弘典 岡 真理子	中 秀司	澤 嘉弘 尾添 嘉久○ 川向 誠○ ◎中川 強 石川 孝博○ 松崎 貴○ 赤間 一仁	秋吉 英雄 西川 彰男 林 蘇娟 石田 秀樹 池田 泉 戒能 智宏 児玉 有紀	松尾 安浩 古田賢次郎 丸田 隆典	小林 淳 真野 純一○	阿座上弘行	高坂 智之
	資源利用化学	山崎 良平○ 渡邊 文雄○ ◆中原 和彦 河野 強	一柳 剛 藪田 行哲	岩崎 崇	横田 一成○ 山本 達之○	地阪 光生	西村 浩二 吉清 恵介	赤壁 善彦 ◎右田たい子 小崎 紳一	藤井 克彦 井内 良仁	
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	北村 義信○ 藤山 英保○ 辻本 壽○ 恒川 篤史○ 篠田 雅人 ◎山中 典和○ 山本 定博○ 国末 達也	安田 裕 木村 玲二 藤巻 晴行 山田 智 安 萍 西原 英治 明石 欣也 ◆成岡 道男 △清水 克之 △齊藤 忠臣		一戸 俊義○ 増永 二之○	佐藤 邦明 宋 相憲	荊木 康臣	鈴木 賢士		
		計	37	24	3	31	31	9	15	7
合計		159								

(注) ★は研究科長, ☆は副研究科長, ※は学部長, ◎は代議委員, ◆は連携教員, ○は主指導教員, △は講師を示す。

## 2 担当教員を補助する教員（助教）一覧

平成26年3月1日現在

専攻	連合講座	鳥取大学	島根大学	山口大学
生物生産科学	農業生産学			丹野 研一
	森林資源学			
	経済・経営学			
生物環境科学	生産環境工学	兵藤 正浩	佐藤 裕和	
	環境科学		高島 育雄 泉 洋平	
生物資源科学	生物機能科学		松尾 安浩 丸田 隆典 高坂 智之	
	資源利用化学	岩崎 崇		
国際乾燥地科学	国際乾燥地科学	Eltayeb Habora Amin Elsadig		
計		3人	6人	1人
合計		10人		

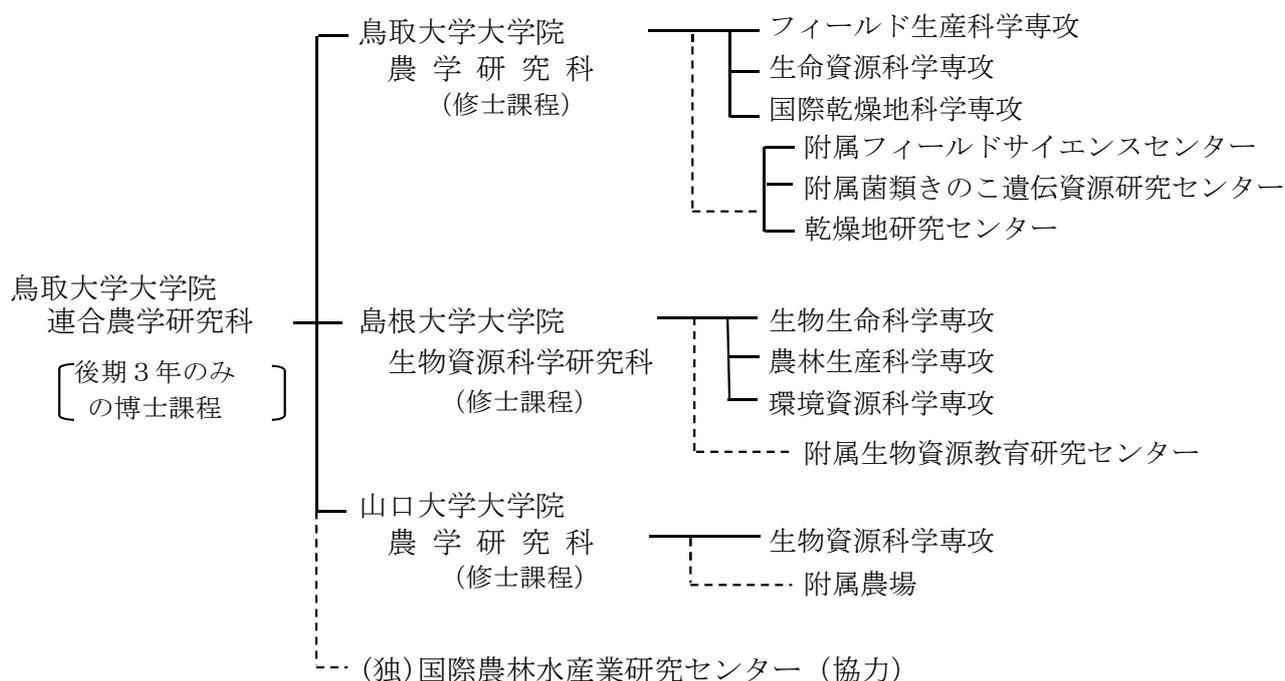
## 第4章 その他

### 1 組織

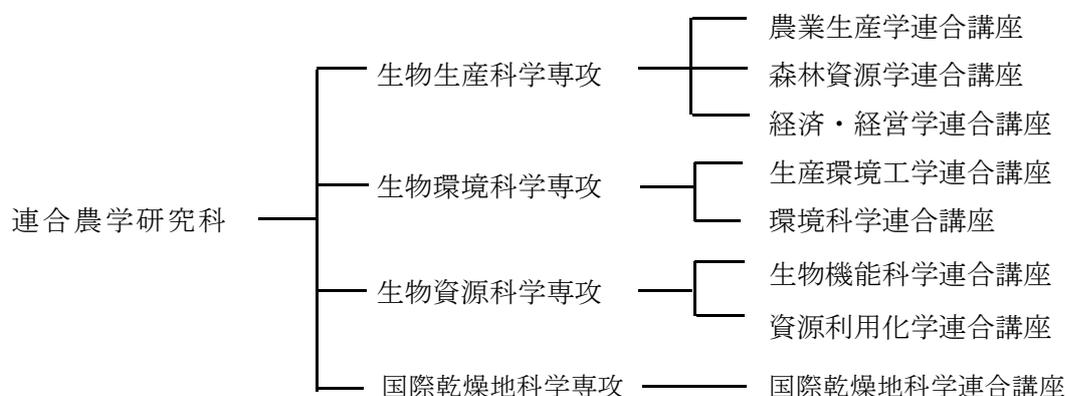
本連合農学研究科は、鳥取大学大学院農学研究科、島根大学大学院生物資源科学研究科及び山口大学大学院農学研究科の修士課程の講座と附属施設を母体として編成されている。

各大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されているが、それぞれの研究科（修士課程）とは別の独立した研究科である。

#### 連合農学研究科の母体組織



本研究科には、生物生産科学、生物環境科学、生物資源科学、国際乾燥地科学の4専攻の下に8連合講座を置いている。



\* 生物機能科学連合講座は平成23年度新設、国際乾燥地科学専攻は平成21年度新設

## 2 予 算 規 模

(千円)

事 項	配 分 額	内 訳		
		鳥取大学	島根大学	山口大学
当 初 予 算 配 分	133,074	※58,982	48,425	25,667
ティーチング・アシスタント経費	10,715	5,225	3,928	1,562
リサーチ・アシスタント経費	8,097	4,314	2,441	1,342

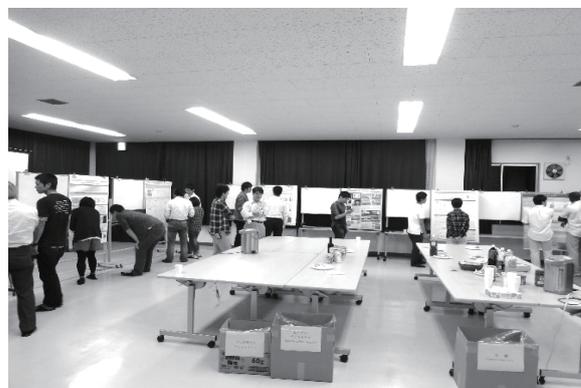
※3大学に配分される，研究科長裁量経費 7,000 千円含む。

### 3 行 事

年 月 日 (曜日)	行 事
25年 4月12日 (金)	入学式、オリエンテーション
〃	第293回代議委員会
4月18日 (木)	第294回代議委員会 (TV 会議)
5月24日 (金)	第295回代議委員会 (於：山口大学)
6月 3日 (月)	第296回代議委員会 (TV 会議)
6月10日 (月)	学位論文審査申請受付 (6/18 まで、前期修了予定者)
〃	学生募集要項発表 (後期入学)
6月19日 (水)	農学特論 I (日本語) (6/21 まで)
6月24日 (月)	出願資格認定申請受付 (後期入学) (6/28 まで)
7月 5日 (金)	第297回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
7月16日 (火)	入学願書受付 (後期入学) (7/19 まで)
7月18日 (木)	第298回代議委員会 (TV 会議)
7月30日 (火)	各専攻特論 (8/2 まで)
8月 9日 (金)	入試委員会 (持ち回り)
8月23日 (金)	入学者選抜試験 (後期入学)
〃	第299回代議委員会
〃	第69回研究科委員会
8月30日 (金)	合格者発表 (後期入学)
9月13日 (金)	学位記授与式
10月 4日 (金)	入学式、オリエンテーション
〃	第300回代議委員会
10月10日 (木)	科学コミュニケーション (10/11 まで) (於：大山)
10月18日 (金)	第301回代議委員会
11月 5日 (火)	第302回代議委員会 (TV 会議)
〃	学生募集要項発表
11月13日 (水)	農学特論 II (英語) (11/15 まで)
12月 6日 (金)	第303回代議委員会 (於：島根大学)
12月 9日 (月)	学位論文審査申請受付 (12/16 まで、後期終了予定者)
〃	出願資格認定申請受付 (12/16 まで)
12月17日 (火)	第304回代議委員会 (TV 会議)
26年 1月 8日 (水)	第305回代議委員会
〃	教員資格審査委員会
1月14日 (火)	入学願書受付 (1/17 まで)
1月31日 (金)	入試委員会
2月13日 (木)	入学者選抜試験 (2/14 まで)
2月14日 (金)	第306回代議委員会
〃	第70回 研究科委員会
2月24日 (月)	合格者発表
2月27日 (木)	第307回代議委員会 (TV 会議)
3月14日 (金)	学位記授与式
〃	第308回代議委員会

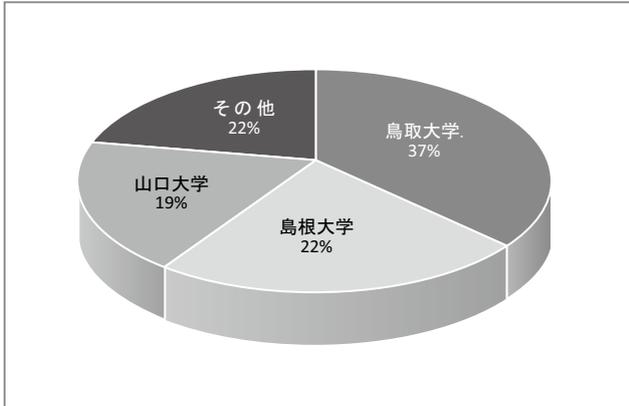
## 第4部 在学生へのアンケート

科学コミュニケーション  
(平成25年10月10日～11日)において実施



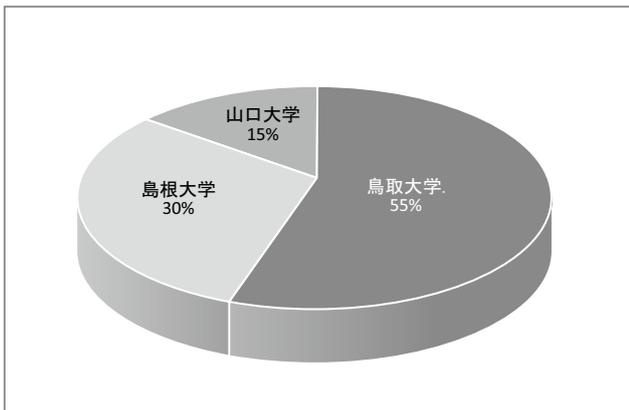
## 1. あなた自身についてお答え下さい

### (1) 修士課程の出身大学



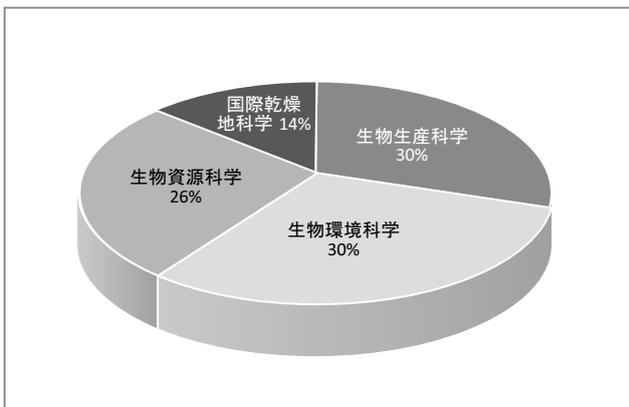
鳥取大学	10
島根大学	6
山口大学	5
その他	6
	27

### (2) 現在の配属大学



鳥取大学	15
島根大学	8
山口大学	4
	27

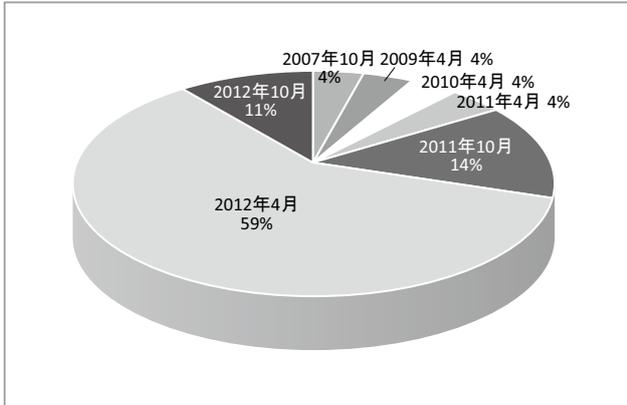
### (3) 専攻



生物生産科学	8
生物環境科学	8
生物資源科学	7
国際乾燥地科学	4
	27

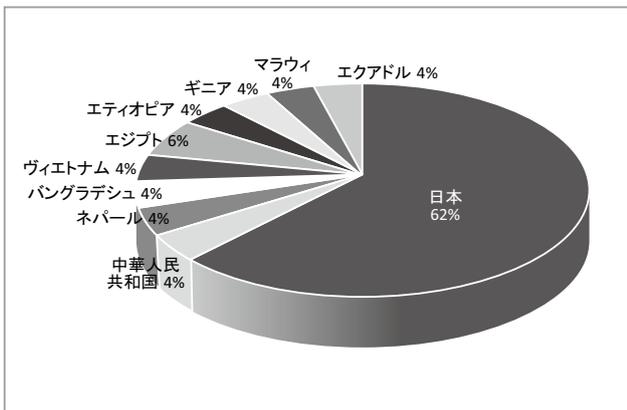
## 1. あなた自身についてお答え下さい

### (4) 入学年月



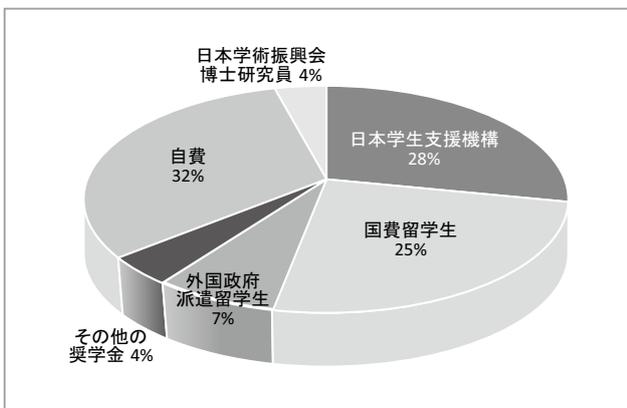
2007年10月	1
2009年4月	1
2010年4月	1
2011年4月	1
2011年10月	4
2012年4月	16
2012年10月	3
	27

### (5) 国籍



日本	17
中華人民共和国	1
ネパール	1
バングラデシュ	1
ベトナム	1
エジプト	2
エチオピア	1
ギニア	1
マラウイ	1
エケアドル	1
	27

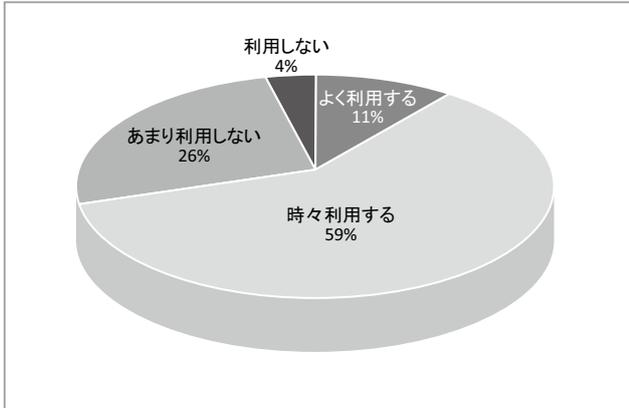
### (6) 奨学金受給状況



日本学生支援機構	8
国費留学生	7
外国政府派遣留学生	2
その他の奨学金	1
自費	9
日本学術振興会 博士研究員	1
	28

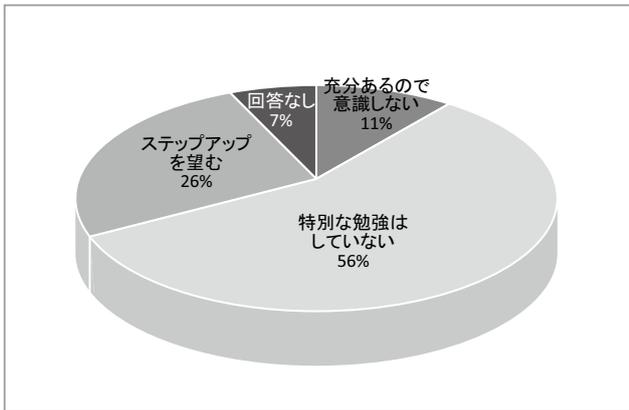
## 1. あなた自身についてお答え下さい

### (7) 連大ホームページ利用状況



よく利用する	3
時々利用する	16
あまり利用しない	7
利用しない	1
	27

### (8) 英語力の維持・上達を行っていますか？

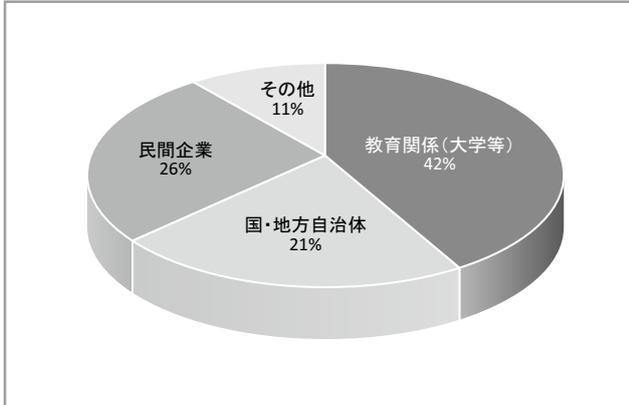


充分あるので意識しない	3
特別な勉強はしていない	15
ステップアップを望む	7
必要性を感じない	
その他	
回答なし	2
	27

コメント：Because I am not native English person. / Reading English Publications, Books, watching English Programs TV / アカデミックな英語プレゼンテーションの練習などがあるといいと思いました。(レクチャー形式の) / 英語力は向上させたいが、使う機会が少なく、いざ必要な時に困る。→日本語で事が済む環境にいる。もっと英語を使いたい・・・ / 所属学会の英語論文を読むように努力している / 論文を読むなどはなんとかできますが、英語での会話が苦手です

## 2. あなたの将来の志望についてお尋ねします

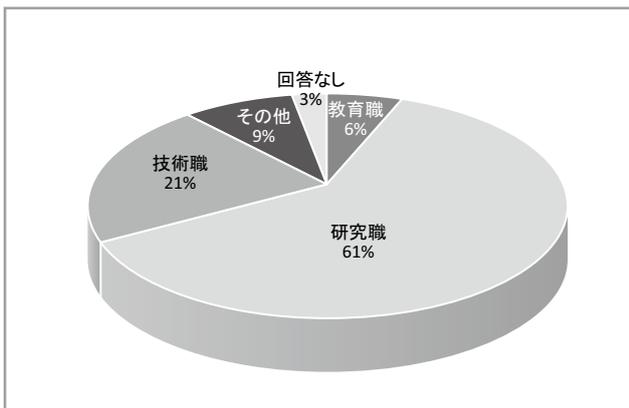
### (1) 希望職種（複数回答可）



教育関係（大学等）	16
国・地方自治体	8
民間企業	10
団体関係	
その他	4
	38

その他：起業あるいはそれに近い働き方／ Did not think yet／現在、公設の研究所に勤務中です／社会人なので回答できません

### (2) 希望する職務内容（複数回答可）

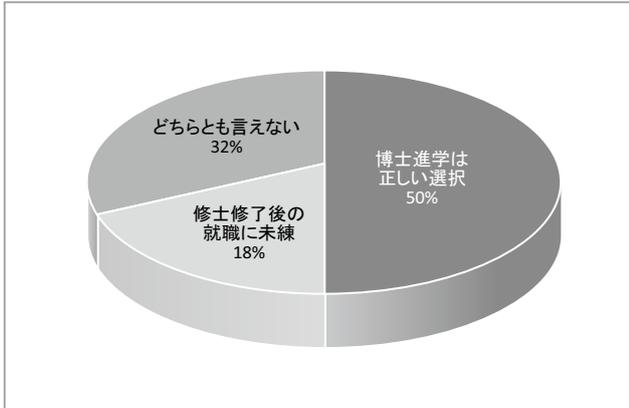


教育職	2
研究職	20
技術職	7
その他	3
回答なし	1
	33

その他：コーディネーター／海外営業／ Head of Government of Ministry

### 3. 鳥取連大の研究指導・教育についてお尋ねします

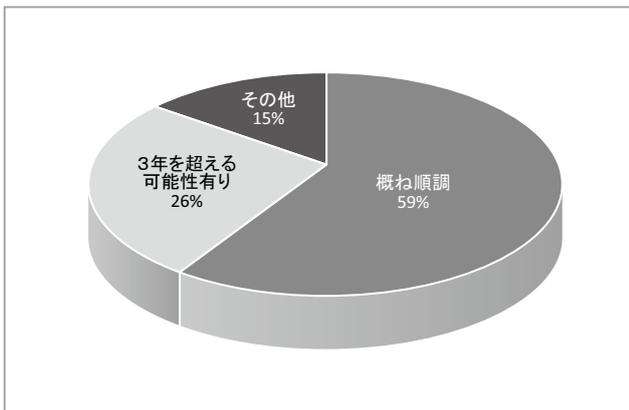
#### (1) 第一印象としての素直な気持ちは？



博士進学は正しい選択	14
修士修了後の就職に未練	5
どちらとも言えない	9
	28

どちらとも言えない：進路として社会人に指導いただき、ありがたいです

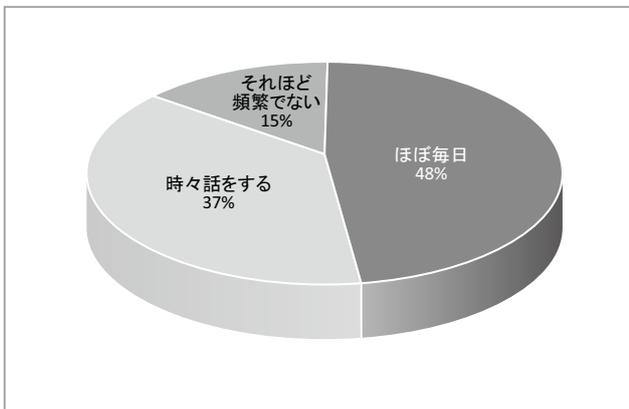
#### (2) 研究の進展は順調ですか？



概ね順調	16
3年を超える可能性有り	7
見通しが立たない	
その他	4
	27

その他：very good / 概ね順調ですが、社会人ゆえ、不安定な面があります / 大幅なテーマ変更をしました / 3年をすでに超えている

#### (3) 主指導教員と日常的に意思疎通できていますか？

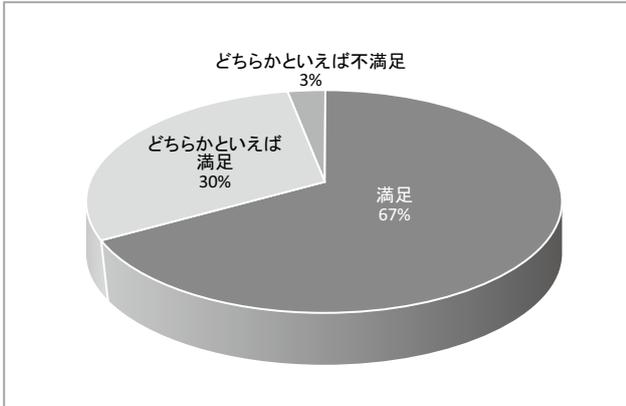


ほぼ毎日	13
時々話をする	10
それほど頻繁でない	4
ほとんどない	
	27

時々話をする：必要なことは必ずすぐに対応していただいている

### 3. 鳥取連大の研究指導・教育についてお尋ねします

#### (4) 主指導教員の指導に満足ですか？



満足	18
どちらかといえば満足	8
どちらかといえば不満足	1
不満足	
	27

■満足 : Because he provide many comments and core about my research / Because if I have any problem in my research we talk about that and found any solution / Because, he guide me and listen my opinion also / easy to talk My Prof. has good skill and knowledge in my area / He always checks on what am going and allow me to my ideas / He is very kind and helpful and very expert in his own field / some field, variable advices / 学生とのコミュニケーションに熱心 / 学生の質問に、親切に、丁寧に対応して下さる。学生を伸ばすための配慮が素晴らしい / 研究や生活、さらに将来についても熱い言葉をいただけ、常に積極的でいられるから / 非常にきめ細かく、情熱を持ってご指導いただいています / ほぼ毎日話をするので、その時に実験や手法に関する疑問点をお聞きすることができるため / わがままを受けとめて頂いています

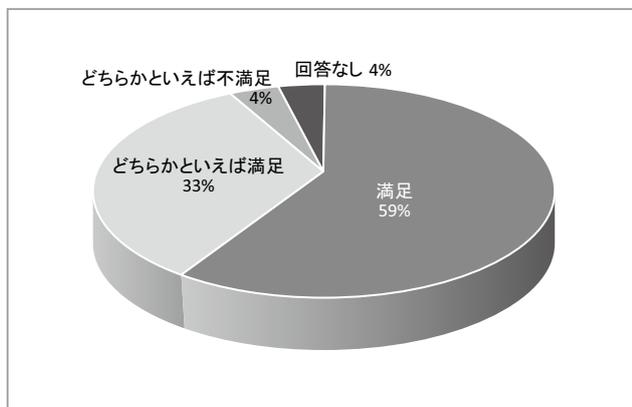
■どちらかといえば満足 : he support me from time to time. I have allot of dreams and I want to do more but communication is the big problem / お互いにいつでも連絡（電話、メール）を取り合う関係にあるため / 研究についてしっかり議論できているため / 仕事により頻繁に大学に通えていないが、状況を理解し、指導して頂いている / 自由に研究をさせてくれる / 主体性を尊重した指導を行って下さっている / 丁寧に指導して下さいが、意に反することを言うとすぐに怒るので、素直な意見が言いにくい / 日々の業務で多忙の中、研究の進行具合の相談に乗ってくれる

■どちらかといえば不満足 : 現在の私の研究テーマに対する知識が不足しているように感じられ、適切な提案や研究計画があまり得られないから

◎主指導教員へのお願い : His guidance is necessary to continue my work in my opinion which I expect from him. Please give me comments good or bad both / I want to go for a advance research level and many thanks for your kindly support / what do you think about my research Progress? / 今まで通りの指導をお願いします / 感謝しかありません / 進路相談など / まず、こちらの話をよく聞いて、機嫌を悪くせず、時間がかかっても構わないので、考えていただきたい / 満足しています / より広い寛容な心を持って下さい

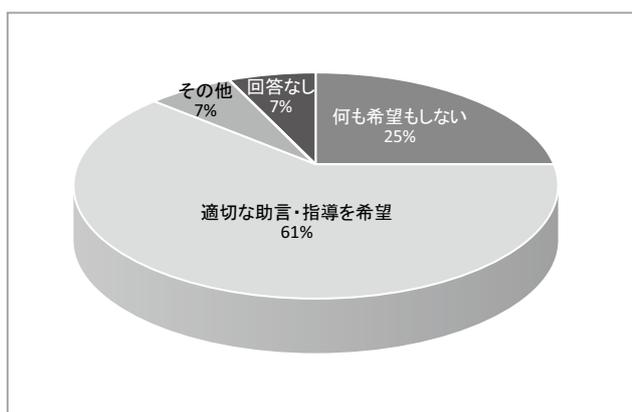
### 3. 鳥取連大の研究指導・教育についてお尋ねします

#### (5) 副指導教員の指導に満足ですか？



満足	16
どちらかといえば満足	9
どちらかといえば不満足	1
不満足	
回答なし	1
	27

#### (6) 副指導教員に何を希望しますか？



何も希望もしない	7
適切な助言・指導を希望	17
その他	2
回答なし	2
	28

適切な助言・指導を希望：これからも継続して／ actually I have my direct supervisor. I have never incontact with the major supervisor / 指導教員の専門から外れている研究に重要な点を指摘して頂ければと思います / 助言を受けやすくありがたいと思っている

その他：気軽に意見交換ができればよいです。

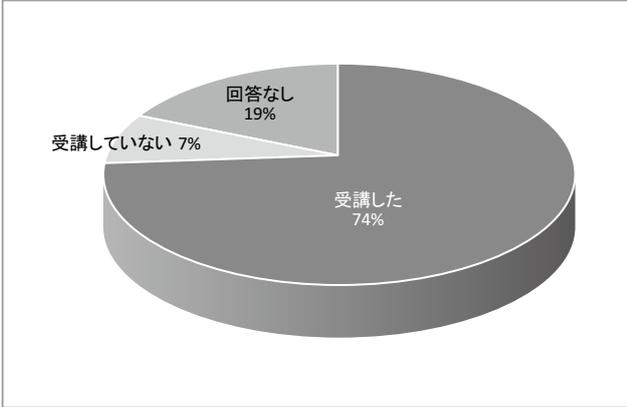
#### (7) 教員の指導で改善してほしい点

comments on good and bad both / It is better to consider the detail during entrance background of the students to goes with the experience of the supervisor / The communication is the most important between supervisor and student / We need more exchange but mean labs like in use They have lab rotation for 6 month, I think this will improve our lab skills

#### 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

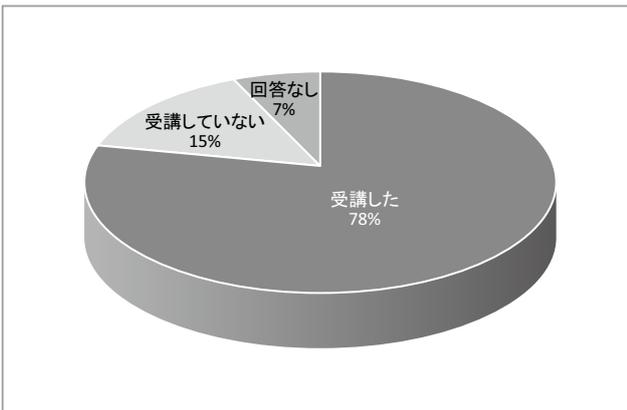
##### (1) 既に農学特論を受講しましたか

###### ・農学特論Ⅰ（日本語）



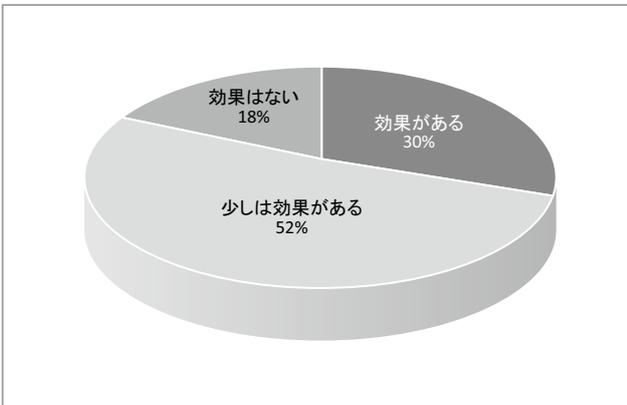
受講した	20
受講していない	2
回答なし	5
	27

###### ・農学特論Ⅱ（英語）



受講した	21
受講していない	4
回答なし	2
	27

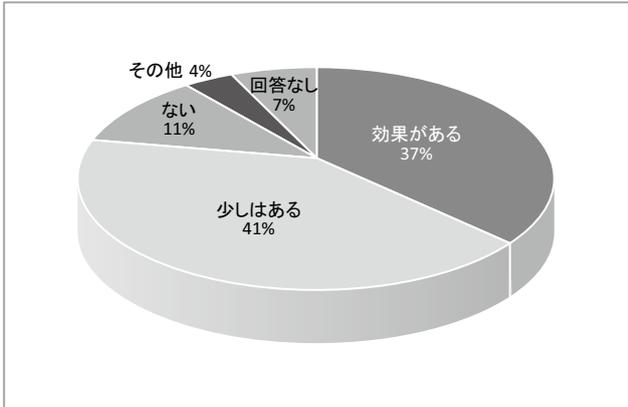
##### (2) 農学特論は研究に効果があると思いますか



効果がある	8
少しは効果がある	14
効果はない	5
	27

#### 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

##### (3) 専攻特論はあなたの素養や能力を高める上で効果があると思いますか？



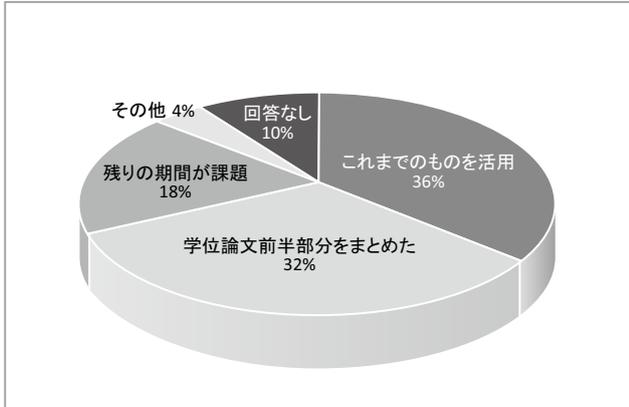
効果がある	10
少しはある	11
ない	3
その他	1
回答なし	2
	27

##### (4) 農学特論 I・II、および各専攻特論の開講・運営方法について要望や改善策があれば書いてください

1 コマが長い・1日～2日で長時間なので、もう少し分けて行えるといい／ Courses that are given for Phd students should be related with their field otherwise they are taken just to full fill the requirments. My suggestion in this regard is the course curriculum should be revised / I think it is effective and continue some program in coming year / In the opening time, it would better if everybody has a good chance to introduce each other, "about introduction" in order to know their major or will or for practice English skill in front of many people / Most Seminars are difficult to my research interests and it's difficult to jet ideas for my study. You should try to include lectures on all the branches of United Graduate School during the Seminars / Provide lectures related to all courses(Bioproducton, Bioresources, etc.) in order to give a chance to all student / The time is too long / We need some kind of specialization related to the study area / サテライト授業だと他大学の講義の音声聞き取りにくかったり、質問しにくかったりする／事前配布資料に課題も掲載してほしい／社会人を受け入れる意志が少ないカリキュラムに感じました。受け入れて頂き感謝していますが、平日の日中に組まれるカリキュラムでは社会人は歓迎されていないと感じました／資料の配布時期をもう少し早めてほしい（予習する時間がないため）／専門外の分野の講義は非常に有意義だと感じるが、課題が大変である。各分属やコースで分けてみては？／要望ではなく意見なのですが、他大学（他連大）の先生の研究についてお話を聞けるのはいいと思います

#### 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

##### (5) 科学コミュニケーションにおけるみなさん自身の中間発表の自己評価をお願いします。



これまでのものを活用	10
学位論文前半部分をまとめた	9
残りの期間が課題	5
見通しが立たない	
その他	1
回答なし	3
	28

これまでのものを活用：口頭発表よりもポスター発表の方が活発なディスカッションができるのでいい。口頭発表をやめてポスターの時間をもっとつくれば、色々な意見も聞けるのでいいと思った。

その他：I have submitted one paper and wishing for renew and I am working on Second paper

##### (6) 特別講義の感想や印象をお願いします

###### ◆許 東河 先生

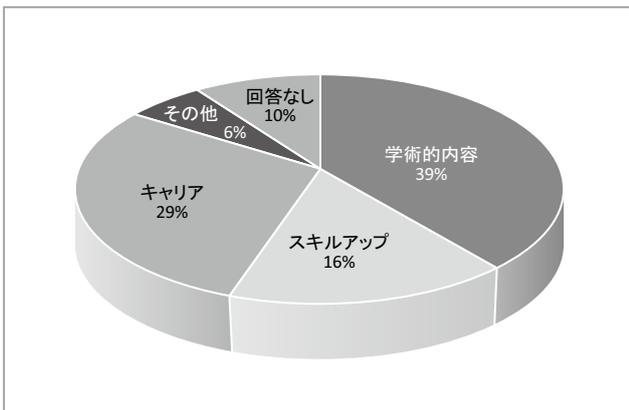
Good / Good work on soy. The soy is one of the most important crops season the world and the new technology to improve new and salty resistant uarieties can help to new region with this kind of problems / I could relate to some of the contents in his prectivtstion. He Simplified it so test anyone important knowledge in genetics could understand it / I like his presentation especially the way he introduce his organizational activities. In addition though my background is completely different his research is interesting / It very impressive and open gate for future / JIRCAS について聞けたことが主に良かった / JIRCAS の活動内容や塩害などのストレス耐性植物の育種方法、解析方法など大変興味深かった / The theme of tope is very interesting. However during presentation, he is limit to gengei talked too fast and I couldn't jollcre it / 遺伝子資源を保存することの重要性を感じました。新品种の育成をするとともに食味評価もお願いしたいです / 英語が得意でないので、内容の理解が語学を理由にあまりできなかったのが残念。VTR があったのはよかった / 結果だけでなく、データを取得するまでの過程にも焦点を当てて説明してほしかった / 今後の世界の食糧問題を考えること。ダイズなどの品種は大事であると思った / 自分の英語の聞き取り力のなさを痛感した / 自分の研究テーマにも通じるどころがあり、大変勉強になった / 自分の少ない英語力と知識でも、大部分は興味を持って聞くことができました / 専門外の先生で、大学とはまた違う施設・機関で働いている背景もあり、新鮮でした。応用例などについてもお聞きできれば、より理解が深まったと思います / 専門分野であったので分かり易かった / 専門用語が分からず理解できない箇所も多かったが、所属する独法の紹介はおもしろかった / 独法の取り組み、特に国際規模の実績がわかりやすく理解できました。サイエンスによる貢献を理解できました / 内容は畑違いかつ英語であったため理解するのが非常に難しかった。しかし、プレゼンのやり方がとても上手だと感じ、今後の参考にしたいと思いました / 非常に分かりやすく楽しく聞けました

#### 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

##### ◆早川 洋一 先生

Easy understanding funny / Good to know about the field of study and lecture was effective / He was very interesting but too scientific and some parts were difficult to understand / I like his presentation approach and it is well organized, flow of the research is attractive. He is a wonderful Scientist / The immuno systems of the insect can help to understand other way to reduce the infection or attack on faems, and I think useful topic /あまりなじみのない分野の研究だったので理解は乏しいですが発表の言いまわしやスライドデザインが参考になりました/興味深いお話を分かりやすくして下さった。今後の研究についても興味がある/昆虫の免疫システムについて興味深い話を聞くことができた。研究の進め方・考え方など大変参考になった/自分の専門性に関連して、ペプチドの精密解析のアプローチがわかりやすく理解できました/自分は全く異なる分野だったので理解するのは難しかったが、他の分野の研究内容を知るいい機会となった/先生のたずさわる分野にはなじみのない学生のために丁寧に解説して下さいだったのでわかりやすかった/専門分野外であったが、理解しようと努めた/専門用語が分からず理解できない箇所も多かったが、資料もあり、ゆっくりと話して下さい良かった/内容そのものは難しかったのですが、興味のあることに突き進んでいくことが重要であると感じました/日本人らしい英語の発音で比較的内容が理解できて安心した。内容は興味深く、スライド写真例がもっと見てみたかった/ハイレベルな講義でしたが、感染について興味が出てきました/非常にわかりやすいプレゼンで、内容を理解することができた。おもしろい分野だと思った/分野が近かったので、興味深かったのですが、実験についての背景説明があまりなかったのもう少しその辺りを説明して頂けると専門外の方にも分かりやすくなるのではないかと思います/分野が似ているということもあり、興味をもって聴くことができました/難しいジャンルだったけど、わかりやすい英語で平易に説明して下さいだったので内容を理解しやすかった/私は聞き取りやすく、はじめにお話頂いて、英語の入口として助かりました

##### (7) 今後、セミナーなどの特別講義として聞いてみたい話題は何ですか？

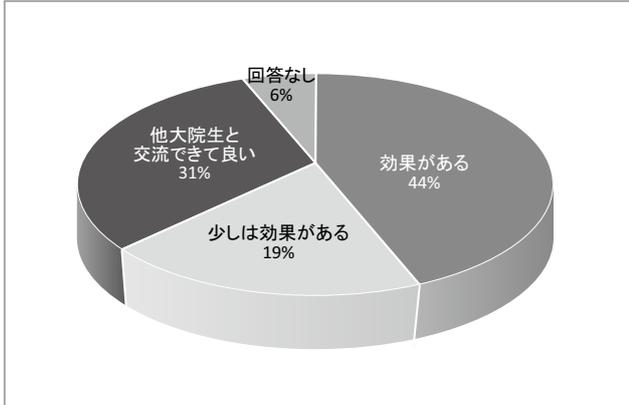


学術的内容	12
スキルアップ	5
キャリア	9
その他	2
回答なし	3
	31

その他：プレゼンテーション方法/論文の書き方・投稿の仕方（コツ）

#### 4. 鳥取連大の共通科目についてお尋ねします

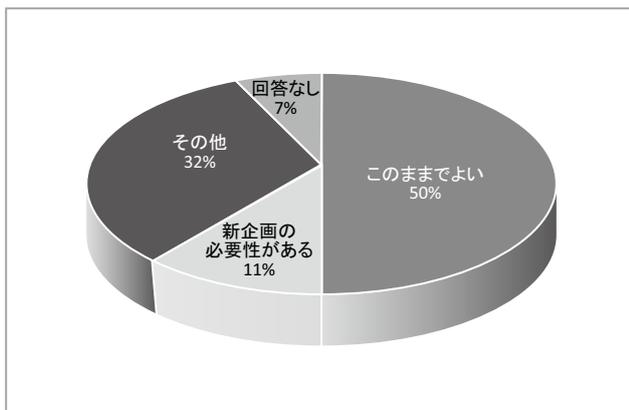
(8) 科学コミュニケーションは、あなたの研究にとって効果があると思いますか？



効果がある	14
少しは効果がある	6
効果はない	
他大院生と交流できて良い	10
回答なし	2
	32

#### 5. 科学コミュニケーション（研究セミナー）についてお尋ねします

内容や運営方法（研修所の設備を含む）についてさらなる改善策があれば書いて下さい



このままでよい	14
新企画の必要性がある	3
講師の選択に工夫がほしい	
その他、具体的に	9
回答なし	2
計	28

～意見～

■新企画の必要性：学生同士が今後のキャリアについて話し合える機会がほしい／日程はともかく場所を変更した方がよいのでは／ポスター発表グループを3グループ以上にする（同じグループの発表が見れない）

■その他：費用の問題があるかもしれませんが、わざわざ大山で開催するのではなくて、もっと都市部で行ってもよいのではないかと感じました／ポスターコアタイム①のスタート以外、開始と終了の合図がなかったの、学生側はとまどった。所属大学によって旅費の負担額に大きな格差があるのは公平ではないので考慮した解決策を検討いただきたい／研修設備を新しくした方がよいのでは？廊下の物音がうるさくて夜は殆ど寝れなかった。飲み会の後にポスター発表という順番はおかしいと思う／ Selection of appropriate lecture In order to study the glcill of presentation of academic report, it would better to select the content of lecture which is not too difficult and detail for the audiences. We just want to study have to give a presentation well / 1泊2日のポスタープレゼンテーションのみでいいと思います／天候不良時を想定したカリキュラムを望みます。2名の若い先生方によるキャリアの話は、社会人とし

でも役に立ちました。次年度以降も継続してほしいです／中間発表は各研究室でやるので、研究紹介くらいのボリュームで1年次後期などにやった方が、2, 3年次に活かし易いのではないかと日程を1泊2日にし、学術セミナーを減らす方がよい。中間発表であるので、それを中心に行うべき。セミナーは中継でもできる／交通の便が悪く、また平日に日程が組まれている為、実験スケジュールに影響が生じる点が悩みでした。また、毎年、仕事のスケジュールとぴったり重なる日程だった為苦勞しました。年度によって日程にバラつきがある方が助かります

## 6. コメント（自由記入項目）

今回のセミナーで、実際の先生方が学生時代にどのように考えどのような進路に進まれたのかお聞きできて非常に参考になりました。また、激励もいただいたことでこれからも研究を続けていくための大きな励みとなりました。ありがとうございました／持参品の項目があいまいなのでもっとはっきり書いて欲しいです／社会人への対応を考えて頂けるなら、土日等の活用を考えて頂けたらと思いました。もう少し交通の便が良い場所、スムーズな運営が出来る場所で実施していただければよかったですと思いました／社会人をもっと受け入れるようにしてほしいです／就職に関するサポートなど。特に女性が研究職を希望する際のキャリアプランなどについてのアドバイス／仕業があり、平日に科学コミュニケーションの為に3日間休みを取るのに苦勞した。日程は休日の活用なども考えて頂くと社会人としてはありがたいと思う／日程変更等はもう少し早めに連絡してほしい／ポスドクや教員募集などのお知らせを頻繁にしてほしい／やはり、他大学とのコミュニケーションの機会がこの講義だけなのは、さみしく感じてしまうので、毎年行っても良い気がしました

## 「学生及び教員の研究活動」の掲載基準

### 学生の研究活動

1. 平成25年度に在籍した学生の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの研究活動を掲載した。
2. 公表論文  
著書，学会誌，大学・国公立研究機関の学術報告等に公表したものを掲載した。  
なお，複数の連大学生による共著論文は，それぞれの学生が1編として掲載した。
3. 学会発表  
国際及び国内学会等で口頭発表したものを掲載した。連名の場合は発表者に\*印を付した。  
なお，複数の連大学生による連名での発表は，それぞれの学生が1件として掲載した。
4. 学会等招待講演  
国内及び国際学会等主催の講演会，シンポジウム等で招待講演したものを掲載した。連名の場合は発表者に\*印を付した。
5. その他  
上記項目以外で特筆すべきものがあれば掲載した。

### 教員の研究活動

1. 平成25年度における有資格教員の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの研究活動を掲載した。  
なお，平成25年度に退職及び転出した教員の一部については除外した。
2. 公表論文  
著書，論文，その他に区分し，連合講座ごとに著者のアルファベット順にまとめて掲載した。共著論文の場合には，関係教員をアンダーラインで示した。  
なお，複数の連大教員による共著論文は，まとめて1編とした。
3. 招待講演  
国際及び国内学会等における講演会，シンポジウム等での招待講演を連合講座ごとに講演者のアルファベット順にまとめて掲載した。連名での講演には，関係教員をアンダーラインで示した。連名の場合は，発表者に\*印を付した。  
なお，複数の連大教員による連名での講演は，まとめて1件とした。
4. 学術賞等の受賞  
受賞者，賞の名称，受賞年月日を掲載した。
5. 研究助成金  
科学研究費補助金は，研究代表者のみ掲載した。奨学寄附金等（奨学寄附金，受託研究，民間等との共同研究）は，受入教員名とその件数を記載した。

年 報 平成 2 5 年度

---

平成 2 6 年 1 2 月 発行

編 集 鳥取大学大学院連合農学研究科  
編 集 委 員 会

発 行 鳥取大学大学院連合農学研究科

〒 680-8553 鳥取市湖山町南 4 丁目 101

☎ 0857-31-5445

---



